

Clavinova®

CLP-380

取扱説明書

組み立て説明については巻末をご参照ください。

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

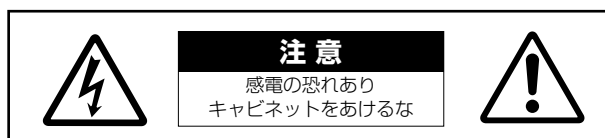
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	-----------	---

	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	-----------	--

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。」

警告

電源 / 電源コード



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。
他の電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

必ず実行



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

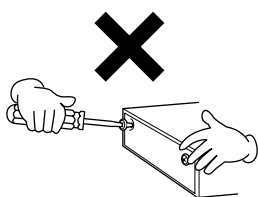
禁止

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

注意

電源 / 電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



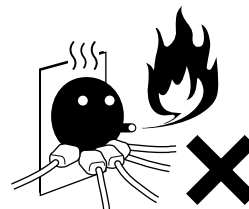
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



組み立て



組み立てる前に、必ず本書の組み立て方の説明をよくお読みください。
手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

必ず実行

設置



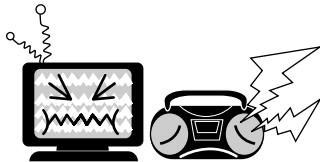
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

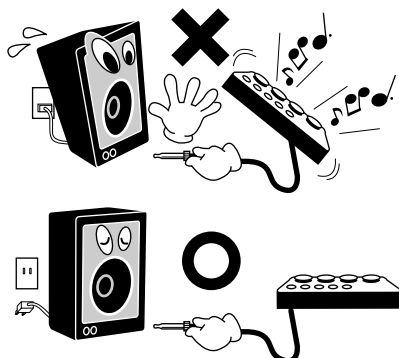
本体を壁につけない。
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。壁から3cm以上離してください。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。
感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



必ず実行

本体のほこりや汚れは、柔らかい布で軽く拭き取る。
強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

キーカバーで指などをはさまないように注意する。また、キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



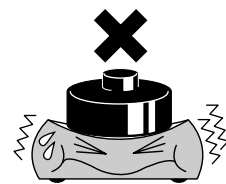
禁止

本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てない。
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



イス



禁止

不安定な場所に置かない。
イスが転倒して、お客様や他の方々がけがをする原因になります。



禁止

イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。
このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



禁止

イスには二人以上ですわらない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



禁止

イスにすわったままでイスの高さを調節しない。
イスにすわったままイスの高さを調節すると、高低調節機構に無理な力が加わり、高低調節機構がこわれたりお客様がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

イスのネジを定期的に締め直す。
イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



必ず実行

イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。
イスの脚でフローリングの床やたたみを傷つけることがあります。イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。



禁止

イスを手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

カレントメモリーのデータ(38ページ)は電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータは、楽器本体(41ページ)やUSB記憶装置/コンピューターなどの外部機器に保存してください。

また、楽器本体に保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB記憶装置やコンピューターなどの外部機器に保存してください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

* この製品は、JIS C 61000-3-2 に適合しています。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このたびは、ヤマハクラビノーバCLP-380をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。
CLP-380の優れた機能を十分に生かして演奏をお楽しみいただくため、本書をお読みください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

取扱説明書について

下記のように構成されています。

■ 本書

準備編

最初にお読みください。

基本編

クラビノーバの基本的な機能の使い方と操作を詳しく説明しています。

詳細設定編

クラビノーバを、さらに便利に使いこなすための細かい設定を説明しています。必要に応じてご覧ください。

付録

パネル音色のご紹介などの資料を掲載しています。

■ データリスト

エフェクトやMIDIに関する資料が、ヤマハのウェブサイトからダウンロードできます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名(「CLP-380」など)を入力して「検索」ボタンを押します。

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

表記上の決まり

- [].....パネル上にあるボタン類を示します。たとえば、マスターボリュームのダイヤルは、文章中で
[MASTER VOLUME]ダイヤルと表記します。
「」.....パネル中央の画面中の表示を示します。

*この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

*本文中では、CLP-380を「クラビノーバ」または「CLP」と表記することがあります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、MIDIデータなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。この製品には、XGフォーマット以外の音楽/サウンドデータを扱う機能があります。その際、元のデータをこの製品に最適化して動作させるため、オリジナルデータ(音楽/サウンドデータ)制作者の意図どおりには再生されない場合があります。ご了承のうえ、ご使用ください。

AVE-TCP® 本製品はTCP/IPプロトコルスタック技術として、株式会社ACCESSのAVE-TCP®を搭載しています。
Copyright © 1986~2008 ACCESS CO., LTD.

AVE-SSL 本製品は暗号モジュール技術として、株式会社ACCESSのAVE®-SSLを搭載しています。
Copyright © 1997~2008 ACCESS CO., LTD.

ACCESS™

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

付属品(お確かめください)

- 保証書
- 取扱説明書(本書)
- アクセサリー CD-ROM
- インストールガイド(別冊)
- ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)
- ヘッドフォン
- 電源コード
- 高低自在イス
- ユーザー登録のご案内*

*ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。

調律について

クラビノーバでは、調律は必要ありません。

お引っ越しの際は

通常の荷物と一緒に運びいただけます。組み立てた状態でも、組み立てる前の部品に分解した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。

クラビノーバを移動したあとでiAFC機能(90ページ)の効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

- クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
- iAFCの自動調整を行なってください(91ページ)。

特長

自然な鍵盤タッチ ナチュラルウッド(NW)鍵盤 象牙調仕上げ

象牙調仕上げ鍵盤は、象牙に近い適度な吸湿性があるので、指が滑りにくく、しなやかなタッチ感が得られます。また、あたたかい色合いも魅力です。
白鍵の内側にはアコースティックピアノの鍵盤と同様に木材を使用しているため、従来の電子ピアノを越えるグランドピアノのような重量感のある弾き心地を楽しめます。
グランドピアノと同様に、ペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

フルコンサートグランドピアノの音をデジタルで録音 (AWMダイナミックステレオサンプリング)

CLP-380は、ヤマハ独自のサンプリング音源システム「AWMダイナミックステレオサンプリング」による豊かな音色を備えた電子ピアノです。「AWM」とは、楽器そのものの音をデジタル録音し、精度の高いデジタルフィルター技術を加え、リアルに再現するヤマハのサンプリング方式です。
GRAND PIANO1の音色は、フルコンサートグランドピアノから新たにサンプリングしました。サンプリングされた音は、音の良さをそのまま電子ピアノで再現できるよう、一音一音丁寧に調整されています。これにより、立ち上がりが高く輪郭がはっきりした音になり、弾きごたえが増えています。この音色では、鍵盤を弾く強さに応じて複数の波形をサンプリングしており(ダイナミックサンプリング)、さらに、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴音をサンプリングした「サステインサンプリング」、鍵盤を離れたときの微妙な発音をサンプリングした「キーオフサンプリング」を採用し、ぜいたくな音作りを行なっています。

トライ・アンプシステム

トライ・アンプシステムとは、高、中、低域のスピーカーにひとつずつアンプを搭載するシステムです。これにより、各スピーカーから出る音がクリアになると同時に、音域ごとの音量バランスがより最適に調整され、厚みと広がりのあるサウンドをお楽しみいただけます。

グランドピアノのような豊かな響き(iAFC)

クラビノーバから出る音に奥行き感がある立体的な響きを持たせる機能として、iAFC (Instrumental Active Field Control)が搭載されています。iAFCにより、まるでステージ上で演奏しているような音の広がりやアコースティック楽器特有の自然な響き(スペシャルエフェクト)、ダンパーペダルを使ったときの弦の共鳴効果(ダイナミックダンパーエフェクト)などが得られます。

インターネットダイレクト接続機能

CLP-380を直接インターネットに接続することで、専用サイトの曲データをご利用いただくことができます。さまざまなジャンルのたくさんの曲データをお楽しみください。

目次

準備編	6
取扱説明書について	6
付属品(お確かめください)	7
特長	8
各部の名前と機能	10
この楽器の基本的な操作	12
ご使用前の準備	14
キーカバーについて	14
譜面立てについて	14
譜面止めについて	14
電源を入れる	15
画面の明るさを調整する	15
音量(ボリューム)を調節する	16
ヘッドフォンを使う	16
iAFCの自動調整をする	16

基本編 17

デモ曲を聞く	17
ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く	19
ピアノ50曲を再生する	19
ピアノ50曲の片手練習をする	21
ピアノ50曲の繰り返し練習をする	22
音色を楽しむ	23
音色を選ぶ	23
ペダルを使う	24
音に変化を付ける(プリリアンス/リバーブ/コーラス)	25
2つの音色を混ぜて弾く(デュアル)	26
鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)	27
メトロノームを使う	29
演奏を録音(記録)する	30
録音の方法	30
録音パートを指定せずに録音する	31
録音パートを指定して多重録音する	34
そのほかの録音方法とテクニック	35
曲を削除するなどのファイル操作をする	38
[FILE/SONG SETTING]	38
ファイル画面の基本操作	40
録音した曲を保存する「Save」	41
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する「Delete」	42
曲名を変更する「Rename」	42
曲をコピーする「Copy」	43
曲を移動する「Move」	44
USB記憶装置にフォルダーを作る「MakeDir」	44
USB記憶装置をフォーマットする「Format」	45
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする「SongAutoOpen」	45
表示文字の種類を切り替える「CharacterCode」	46
録音した曲や市販のミュージックデータを再生する	47
再生する	47
各パートの再生をオン/オフする	49
再生できる曲データの種類	49

インターネットダイレクト接続機能	50
楽器をインターネットに接続する	50
インターネット設定(アクセスポイントに関する設定)について	54
インターネット設定について	58
接続情報を画面に表示する	61
接続情報ファイルを書き出す	62
インターネット設定を初期設定に戻す	63
メッセージ一覧(インターネットダイレクト接続機能)	64
エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)	65
用語集(インターネットダイレクト接続機能)	66
困ったときは(インターネットダイレクト接続機能)	67
インターネットの曲を聞く	68
他の機器と接続する	70
端子について	70
USB記憶装置を接続する	72
コンピューターと接続する	73

詳細設定編 75

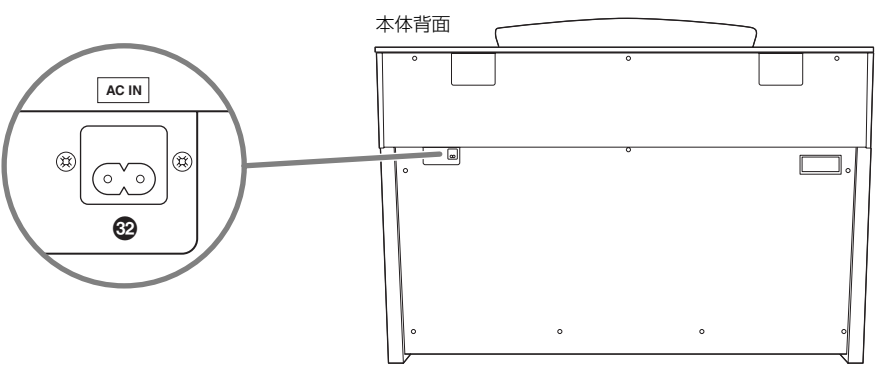
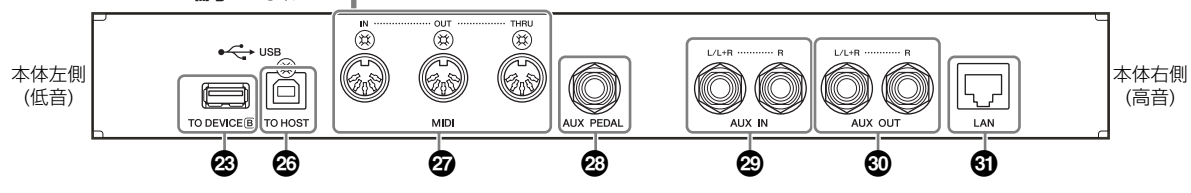
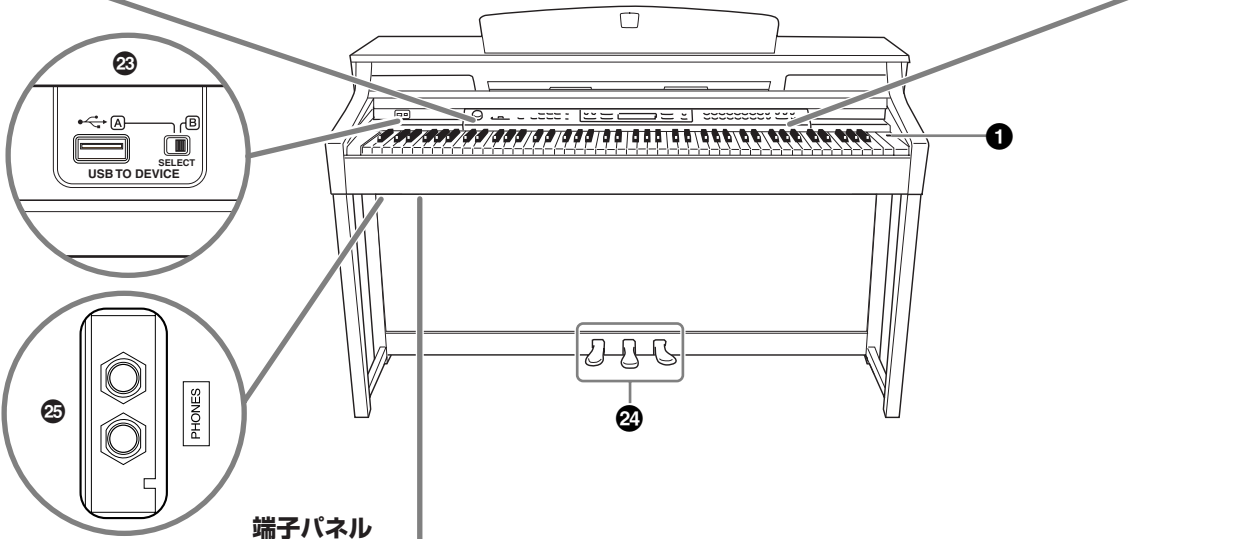
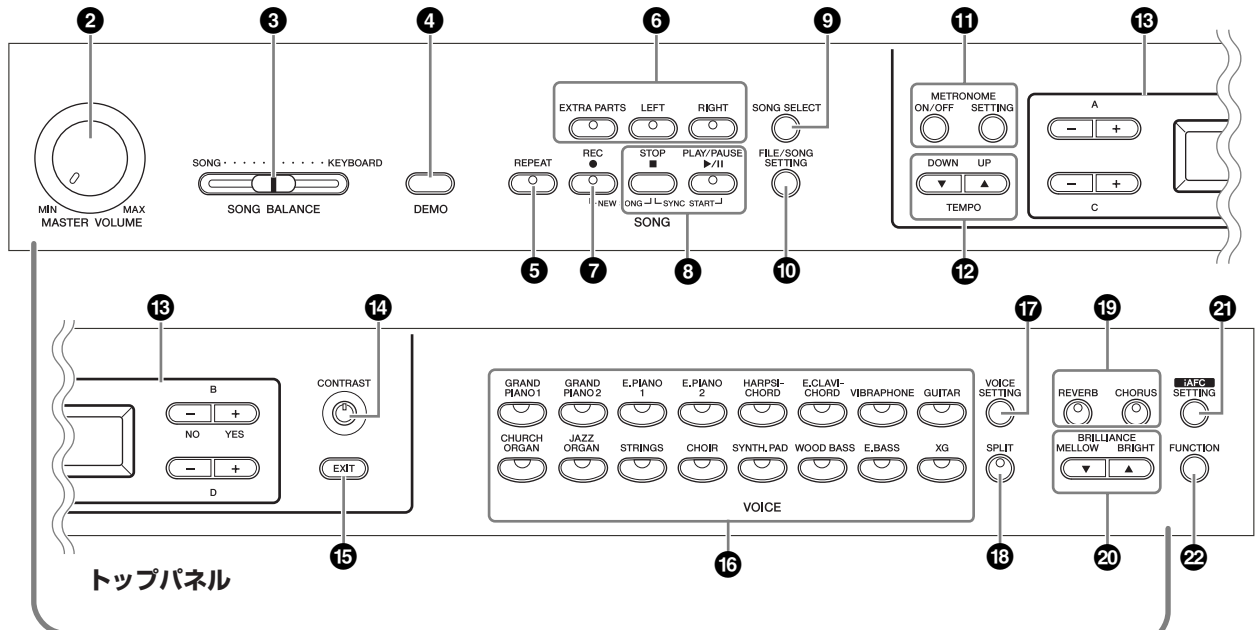
詳細設定について	75
設定項目の一覧表	75
詳細設定の操作	78
曲の録音/再生に関する詳細設定	
[FILE/SONG SETTING]	80
メトロノームに関する詳細設定	
METRONOME [SETTING]	83
音色に関する詳細設定[VOICE SETTING]	84
iAFCに関する詳細設定[iAFC SETTING]	90
その他の詳細設定[FUNCTION]	92
メッセージ一覧	101
操作や機能についての疑問がわいたら	106

付録 108

困ったときは	108
データの互換性について	110
別売ミュージックデータのご紹介	112
初期設定一覧	113
パネル音色のご紹介	116
2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)	118
XG音色一覧	119
XGドラムキット一覧	123
エフェクトタイプ一覧	125
仕様	127
組み立て方	129
USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意	133
USB記憶装置の取り扱いについて	133
フロッピーディスクの取り扱いについて	134
フロッピーディスクドライブ(別売)の取り付け方	135
別売品のご紹介	136
用語集	137
索引	139

各部の名前と機能

準備編



- ① ^{パワー} [POWER]スイッチ 15ページ
- ② ^{マスターボリューム} [MASTER VOLUME]ダイヤル 16ページ
音量を調節できます。
- ③ ^{ソングバランス} [SONG BALANCE]スライダー 37ページ
曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調整できます。
- ④ ^{デモ} [DEMO]ボタン 17ページ
音色ごとのデモ曲を聞くことができます。
- ⑤ ^{リピート} [REPEAT]ボタン 22ページ
1曲を繰り返し再生したり、指定の範囲を繰り返し再生したりできます。
- ⑥ ^{ライト} [RIGHT]、^{レフト} [LEFT]、^{エキストラパーツ} [EXTRA PARTS]ボタン 21、30、34ページ
曲の特定のパートを再生オフにし、再生オフにしたパートをご自身で練習できます。
- ⑦ ^{レコード} [REC]ボタン 31ページ
ご自身の演奏を録音できます。
- ⑧ ^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE]、^{ストップ} [STOP]ボタン 19、48、69ページ
楽器本体に入っているピアノ50曲、市販のミュージックデータ、およびインターネットの曲などを再生できます。
- ⑨ ^{ソングセレクト} [SONG SELECT]ボタン 19、47ページ
再生や編集する曲を選べます。
- ⑩ ^{ファイル/ソングセッティング} [FILE/SONG SETTING]ボタン 38、75、80ページ
録音した曲を保存したり、その他のファイルに関する設定ができます。また、曲の録音や再生に関する詳細設定もできます。
- ⑪ ^{メトロノーム} [METRONOME] ^{オン/オフ} [ON/OFF]、^{メトロノーム} [METRONOME] ^{セッティング} [SETTING]ボタン 29、75、83ページ
メトロノームの機能を利用できます。
- ⑫ ^{テンポ} [TEMPO] ^{アップ} [UP] ^{ダウン} [DOWN]ボタン 29ページ
曲やメトロノームのテンポ(速さ)を変えることができます。
- ⑬ A~D [-][+]ボタン、画面 12ページ
画面を見ながら、確実な操作ができます。
- ⑭ ^{コントラスト} [CONTRAST]つまみ 15ページ
画面の明るさを調整できます。
- ⑮ ^{エグジット} [EXIT]ボタン 13ページ
基本画面(電源を入れたときに最初に表示される画面)に戻ることができます。
- ⑯ ^{音色グループ} ボタン 23ページ
グランドピアノをはじめとした16グループの音色をお楽しみいただけます。また、2つの音色を混ぜて使うこともできます。
- ⑰ ^{ボイスセッティング} [VOICE SETTING]ボタン 76、84ページ
音色や効果に関する詳細設定ができます。
- ⑱ ^{スプリット} [SPLIT]ボタン 27ページ
鍵盤を左右の領域に分けて、別々の音色で演奏できます。
- ⑲ ^{リバーブ} [REVERB]、^{コーラス} [CHORUS]ボタン 25、26ページ
音に残響(リバーブ)や広がり感(コーラス)を付けることができます。
- ⑳ ^{ブリリアンス} [BRILLIANCE] ^{メロウ} [MELOU] ^{ブライト} [BRIGHT]ボタン 25ページ
音の明るさを調節できます。
- ㉑ ^{アイエーエフシー セッティング} [iAFC SETTING]ボタン 76、90ページ
iAFCとは、クラビノーバから出る音に生楽器のような奥行き感を持たせる機能です。ここでiAFCをオン/オフしたり、iAFCに関する詳細設定をしたりします。

iAFCの効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

- クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
- クラビノーバの電源を初めて入れたときとクラビノーバを移動したあとは、自動調整を行なってください(91ページ)。

- ㉒ ^{ファンクション} [FUNCTION]ボタン 77、92ページ
タッチ感や音の高さの微調整(チューニング)、MIDIの設定などの詳細設定ができます。
- ㉓ ^{ユーエスピー トゥー デバイス} [USB [TO DEVICE]端子] 70ページ
USB記憶装置を接続して、録音した曲を保存したり、記憶装置に入っているデータを楽器本体で再生したりできます。USB [TO DEVICE]端子は、A(トップパネルの左)とB(端子パネル)の2つがあります。A端子の右に付いているSELECT(セレクト)スイッチで、使う端子を切り替えます。
- ㉔ ^{左のペダル(ソフトペダル)、まん中のペダル(ソステヌートペダル)、右のペダル(ダンパーペダル)} 24ページ
主にピアノ演奏で使います。いろいろな機能を割り当てて使うこともできます。
- ㉕ ^{フォンス} [PHONES]端子 16ページ
ヘッドフォンで練習できます。
- ㉖ ^{ユーエスピー トゥー ホスト} [USB [TO HOST]端子] 70ページ
コンピューターと接続して、コンピューターとクラビノーバの間でMIDIデータをやり取りできます。
- ㉗ ^{ミディ イン アウト スルー} [MIDI [IN][OUT][THRU]端子] 70ページ
MIDI機器を接続して、MIDIを活用できます。
- ㉘ ^{エーユーエックスペダル} [AUX PEDAL]端子 70ページ
別売りのペダルを接続し、いろいろな機能を割り当てて使うことができます。
- ㉙ ^{エーユーエックスイン} [AUX IN [L/L+R][R]端子] 71ページ
外部機器の音をクラビノーバから出すことができます。
- ㉚ ^{エーユーエックスアウト} [AUX OUT [L/L+R][R]端子] 71ページ
クラビノーバにアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出すことができます。
- ㉛ ^{ラン} [LAN]端子 71ページ
楽器を直接インターネットに接続することで、専用サイトの曲データをご利用いただくことができます。
- ㉜ ^{エーシーイン} [AC IN]端子 15ページ
電源コードを接続するときにプラグを差し込みます。

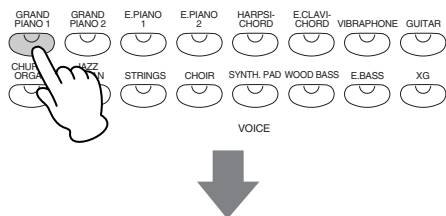
この楽器の基本的な操作

この楽器にはいろいろなボタンが付いていますが、基本的な使い方がわかれば操作は簡単です。

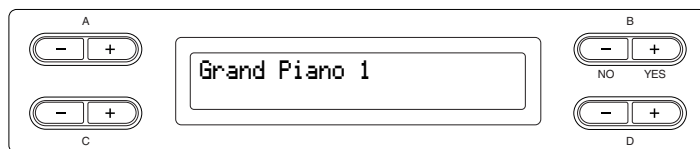
使いたい機能のボタンを押してみましょう。

音色を変えたいければパネル右側の音色グループボタンを、内蔵曲を聞きたければパネル左側の[SONG SELECT]^{ソングセレクト}ボタンを押しましょう。ボタンは、機能の入り口になっています。

どのボタンにどんな機能が割り当てられているかについては、10ページの「各部の名前と機能」をご覧ください。



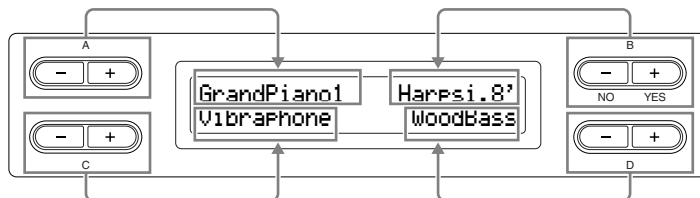
ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられた機能が画面に表示されます。音色グループボタンを押せば音色名、[SONG SELECT]ボタンを押せば曲名が表示されます。ボタンを押したあとは、画面の表示を見てみましょう。



画面の横にあるボタンで、値や項目を選んでみましょう。

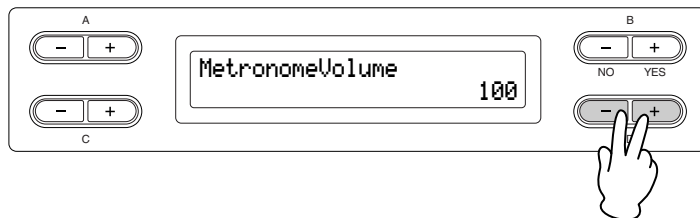
ひとつの機能の中にはたくさんの項目が用意されています。

項目を選ぶには、画面の横にあるA [-][+]~D [-][+]ボタンを使います。画面の表示位置とA [-][+]~D [-][+]ボタンの位置が対応しているので、どの項目をどのボタンで選ぶかひと目でわかります。



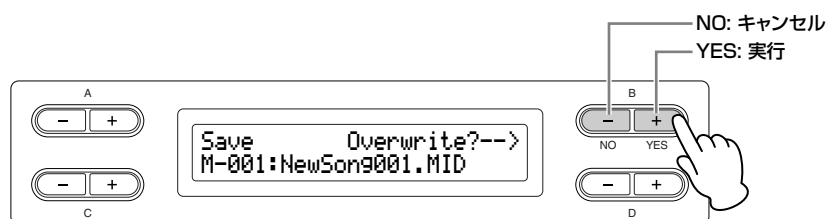
値を元に戻したいときは、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押しましょう。

いろいろ値を変えてみたけど、元の値がよかったな…そんなときは、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押しましょう。元の値に戻ります。



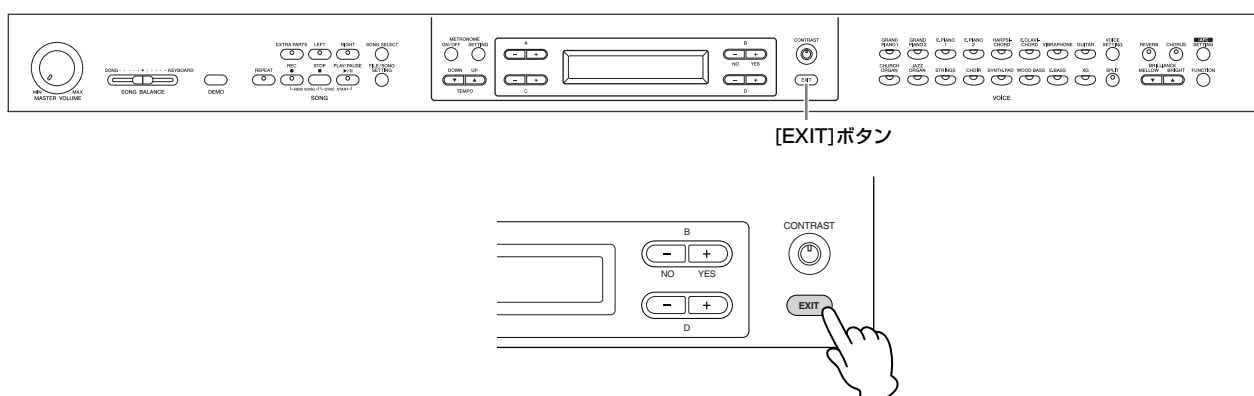
A [-][+]~D [-][+]ボタンのほかに、TEMPOボタンやBRILLIANCEボタンも同じ形をしていますね。この形のボタンは、左右同時に押すと元の値に戻せます。

操作を実行/キャンセルするときは、B [+ (YES)]/B [- (NO)]ボタンを押しましょう。
画面右上に質問形式の表示が出たら、B [+ (YES)]/B [- (NO)]ボタンで操作を実行/キャンセルしましょう。



エグジット
選んだ機能を抜きたいときは、[EXIT]ボタンを押しましょう。

いろいろな音色を楽しんだ、いろいろな曲を鳴らしてみた、そろそろこの機能を抜きたいな、と思ったときは[EXIT]ボタンを押しましょう。[EXIT]ボタンは、機能の出口です。



ご使用前の準備

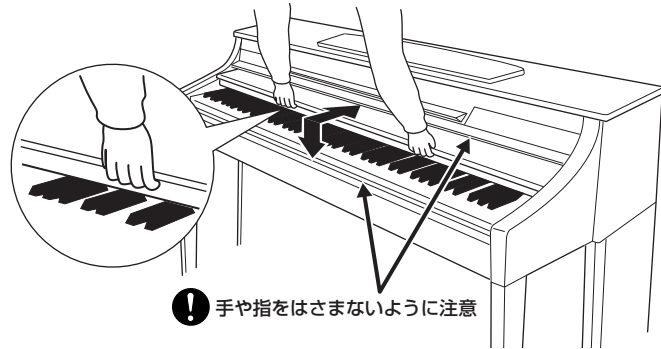
キーカバーについて

開けるとき

少し持ち上げて、奥へ押し込みます。

閉めるとき

手前に引いて、静かに降ろします。

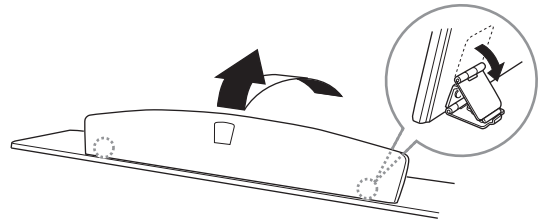


- ❗ キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの縁と本体の間に手や指をはさまないようにご注意ください。
- ⊘ キーカバーを開けるとき、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ち取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。
- ❗ USB [TO DEVICE]端子Aに別売のUSB記憶装置を接続している場合は、キーカバーを閉める前に外してください。USB記憶装置を接続したままキーカバーを閉じると、記憶装置がキーカバーに当たって破損するおそれがあります。

譜面立てについて

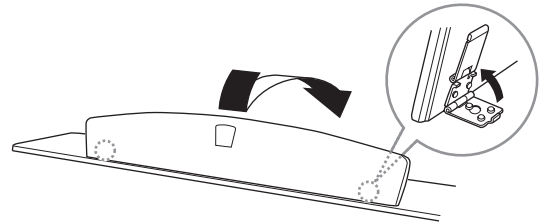
立てるとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を下ろします。
3. 金具が固定される位置まで、譜面立てを戻します。



倒すとき

1. 譜面立てを、止まるまで手前に起こします。
2. 譜面立て裏にある左右2つの金具を上げます。
3. 譜面立てに手を添えて、ゆっくり戻します。

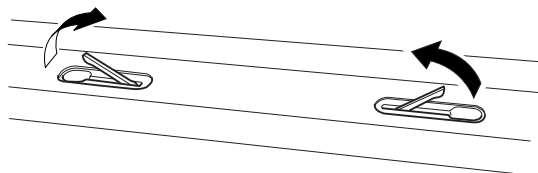


- ⊘ 譜面立ては、金具が固定されない位置で使用または放置しないでください。また、譜面立てを倒すときは、途中で手を離さないでください。

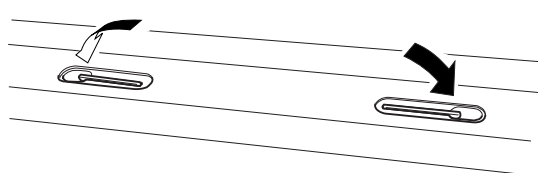
譜面止めについて

譜面立てに置いた楽譜のページを止めることができます。

上げるとき



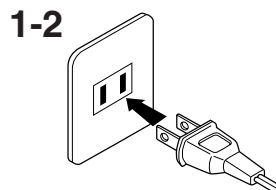
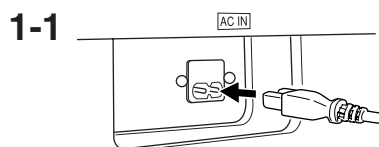
下げるとき



電源を入れる

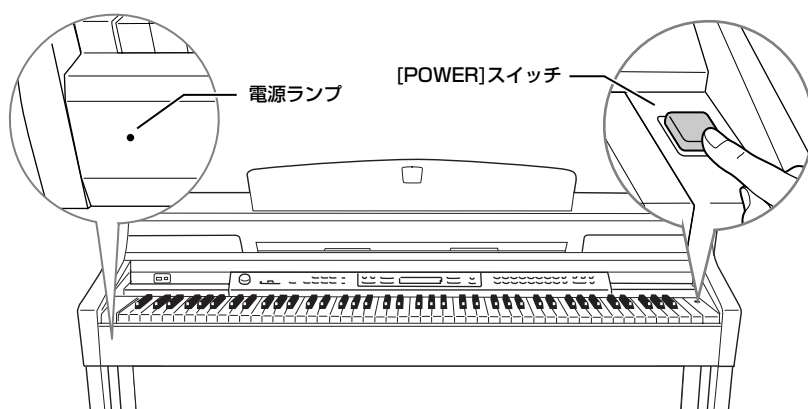
1. 電源コードを接続する

最初に本体側のプラグを差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。^{エーシーイン}[AC IN]端子の位置は、「各部の名前と機能」(10ページ)でご確認ください。

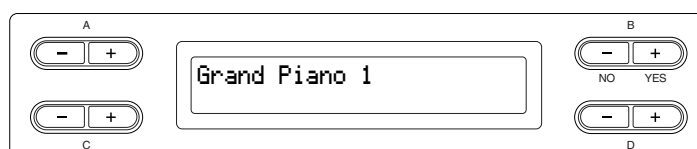


2. 電源を入れる

鍵盤の右にある^{パワー}[POWER]スイッチを押すと、電源が入ります。本体パネル中央の画面に表示が現れます。また、クラビノーバ前面左の電源ランプが点灯します。



電源を入れたときは音色名が表示されます。



電源を切るときは、もう一度[POWER]スイッチを押します。画面の表示が消え、クラビノーバ前面左の電源ランプも消灯します。

POWER(パワー) = 電源

電源ランプについて

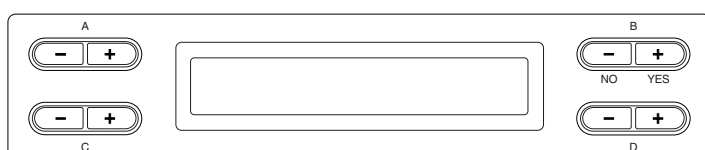
クラビノーバのご使用后、電源を切り忘れてキーカバーを閉めてしまった場合、電源ランプの点灯が、電源が入ったままであることを知らせてくれます。



[POWER]スイッチを切った状態でも微電流が流れています。楽器を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

画面の明るさを調整する

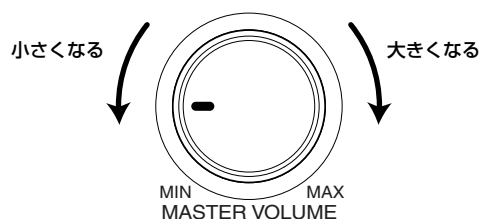
本体パネル中央の画面の右横にある^{コントラスト}[CONTRAST]つまみを回して、画面の明るさを調整します。



CONTRAST(コントラスト)
=明暗

音量(ボリューム)を調節する

本体パネル左の[MASTER VOLUME]^{マスターボリューム}ダイヤルで調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。



MASTER VOLUME (マスターボリューム)=全体の音量

[MASTER VOLUME]ダイヤルで、PHONES (フォーンズ)の出力レベルやAUX OUTの出力レベルも調節できます。

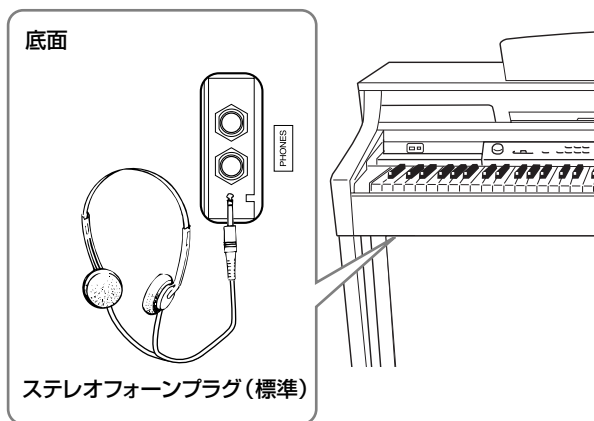
大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

ヘッドフォンを使う

ヘッドフォンを[PHONES]^{フォーンズ}端子に接続して使います。[PHONES]端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

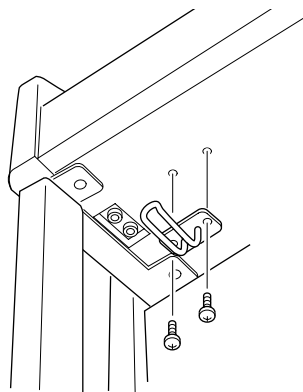
別売ヘッドフォン
ヤマハヘッドフォン HPE-160



ヘッドフォンハンガー

ヘッドフォンハンガーを取り付けると、クラビノーバにヘッドフォンを掛けることができます。付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付けてください。

ヘッドフォンハンガーにヘッドフォン以外のものを掛けないでください。本体またはヘッドフォンハンガーが破損する場合があります。



iAFCの自動調整をする

iAFC (Instrumental Active Field Control=インストゥルメンタルアクティブフィールドコントロール)とは、本体の背面に付いているスピーカーから音を出して音の響きや広がり感を演出させることができる機能です。

iAFC機能の効果を最適にするために、自動調整(91ページ)を行なってください。

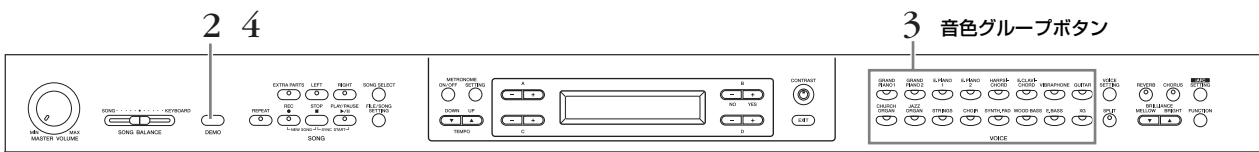
デモ曲を聞く

クラビノーバには、音色グループごとに1曲ずつ、特徴がよくわかる音色紹介用のデモ曲が入っています。下記の一覧表を参考にして、音色ごとのデモ曲を聞いてみましょう。

デモ曲

音色グループ	曲名	作曲者
GRAND PIANO1 (グランドピアノ1)	抒情小品集 第4集 アルバムの綴り op.47-2	E. H. グリーグ
HARPSICHORD (ハープシコード)	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV.1058	J. S. バッハ
CHURCH ORGAN (チャーチオルガン)	オルガン小曲集 「神のひとり子なる主キリスト」 BWV.601	J. S. バッハ

上記デモ曲は、原曲から編集/抜粋されています。
上記音色グループ以外の曲は、オリジナル曲です。(© 2008 Yamaha Corporation)



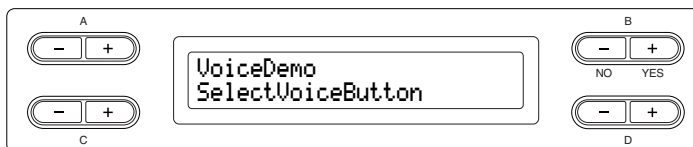
1. 電源を入れる

(まだ電源を入れていない場合) [POWER]スイッチをオンにします。

音量はデモ曲を再生しながらでも調節できますが、[MASTER VOLUME]ダイヤルを中程まで上げておいてください。

2. デモ曲モードに入る

[DEMO]ボタンを押します。



音色グループボタンのランプが順次点滅します。

3. 選曲する/再生をスタートさせる

聞きたいデモ曲の音色グループボタンを押します。

押した音色グループボタンのランプが点灯し、デモ曲の再生がスタートします。
そのあと、再生をストップするまで、音色グループボタンの左上から順にデモ曲が連続して再生されます。

4. 再生をストップしてデモ曲モードを抜ける

もう一度[DEMO]ボタンを押します。

モードとは
ある機能を実行できる状態を意味します。ここでは、デモ曲を再生できる状態のことを「デモ曲モード」と呼んでいます。

[SONG BALANCE]スライダー(37ページ)で曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調整することもできます。

[EXIT]ボタンまたは[STOP]ボタンを押して、デモ曲モードを抜けることもできます。

ピアノデモ(各サンプリング技術)やiAFCを聞き比べる

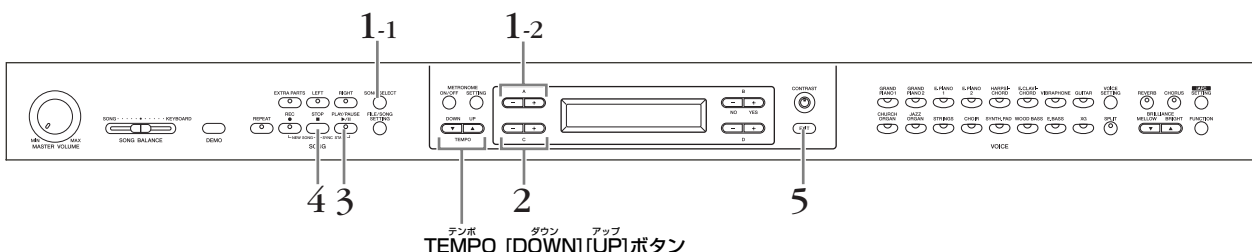
[^{デモ}DEMO]ボタンを押してから、A [+]^{ピアノデモ}ボタンを押して「PianoDemo」を画面に表示させると、ピアノデモの有効/無効やiAFCの有効/無効を聞き比べることができます。デモ曲は、下記のように音色グループボタンに割り当てられています。

	サンプリング技術/iAFC	音色グループボタン
ピアノデモ	ステレオサンプリング	GRAND PIANO1
	モノサンプリング	GRAND PIANO2
	サステインサンプル	
	有効	E.PIANO1
	無効	E.PIANO2
	キーオフサンプル	
	有効	HARPSICHORD
	無効	E.CLAVICHORD
	ストリングレゾナンス	
	有効	VIBRAPHONE
無効	GUITAR	
iAFCデモ	iAFC	
	有効	CHURCH ORGAN
	無効	JAZZ ORGAN

ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く

クラビノーバには、ピアノ50曲の演奏データが入っています。これらは、鑑賞することもできますし、ご自身で練習することもできます(21ページ)。付属の「ピアノで弾く名曲50選」の楽譜集には、ピアノ50曲の楽譜が掲載されていますので、ご活用ください。

ピアノ50曲を再生する

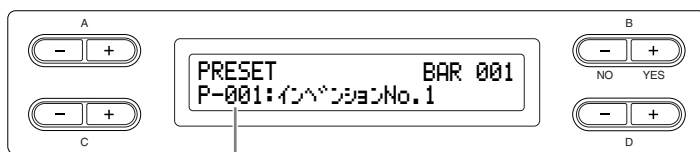


1. 選曲画面を表示させる

1-1 ソングセレクト [SONG SELECT] ボタンを押します。

1-2 A [-][+] ボタンを押して、「PRESET」を選びます。

選曲画面



画面に表示されている番号が、ピアノ50曲に対応する番号です。

PRESET

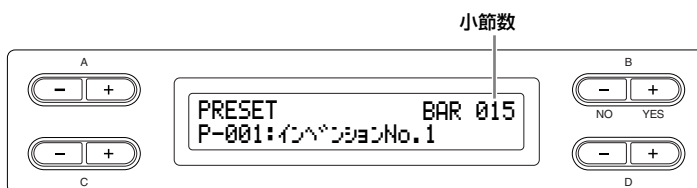
プリセットソングメモリーです。ピアノ50曲(プリセットソング)が入っています。

2. 選曲する

C [-][+] ボタンで、「P-001～P-050」から曲を選びます。

3. 再生をスタートさせる

プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE] ボタンを押して、再生をスタートさせます。



SONG(ソング)とは

クラビノーバでは、演奏データを総称して「ソング」と呼んでいます。デモ曲やピアノ曲もソングです。

「-----: NewSong」は、ご自身の演奏を録音するために用意されている空のソングです(31ページ)。

[REPEAT] ボタン(22ページ)で、1曲だけの繰り返し再生や曲中のフレーズを指定した繰り返し再生ができます。また、[FILE/SONG SETTING]の「SongRepeat」(80ページ)で、全曲連続再生もできます。

曲名が画面の表示範囲を超えている場合、D [+] ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-] ボタンを押します。

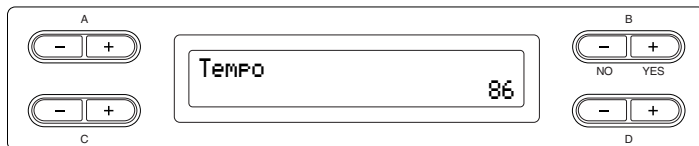
再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くこともできます。手弾き音の音色も変えられます。

BAR (バー) = 小節

テンポを調節する

ピアノ曲ごとに固有のテンポが設定されていますが、^{テンポ} TEMPO [DOWN][UP]ボタンを押し、^{ダウン} [DOWN]ボタンを押し、^{アップ} [UP]ボタンを同時に押し、曲固有のテンポに戻ります。

^{ソングセレクト} [SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。



テンポの画面でD [-][+]ボタンを押してもテンポを変更できます。

テンポのリセット(再設定)
新しい曲を選ぶと、テンポは自動的にその曲の固有のテンポがセットされます。

4. 再生をストップする

再生が終了すると自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。途中でストップする場合は^{ストップ} [STOP]ボタンを押します。^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、一時停止します。

早送り/巻き戻しなどの操作

選曲画面で以下の操作ができます。

- B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで小節を進めたり(早送り)、戻したり(巻き戻し)することができます。曲の再生中でもストップ中でもできます。
- 曲の再生中にC [-]ボタンを押すと、前の曲の再生がスタートします。
- 曲の再生中にC [+]ボタンを押すと、次の曲の再生がスタートします。
- 曲の再生中/一時停止中にB [- (NO)][+ (YES)]ボタンを同時に押すか[STOP]ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。

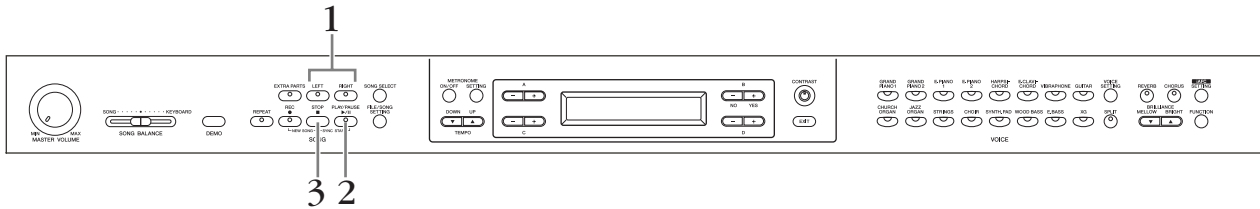
5. 基本画面に戻る

^{エグジット} [EXIT]ボタンを押します。

基本画面とは
電源を入れた直後の画面のことで、音色を選択(23ページ)する画面です。

ピアノ50曲の片手練習をする

ピアノ50曲では、右手パートと左手パートに分かれています。それぞれの再生をオン/オフし、再生をオフにしたパートをご自身で練習することができます。右手パートが[RIGHT]ボタンに、左手パートが[LEFT]ボタンに入っています。



1. 練習するパートの再生をオフにする

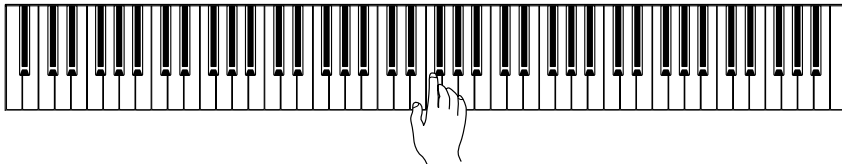
練習する曲を選んだあと、再生をオフにしたいパート([RIGHT]/ [LEFT] ボタンのどちらか)を押します。

選曲した時点では、[RIGHT]/[LEFT]ボタンのランプが両方とも点灯し、再生がオンになっています。ここでどちらかのパートのボタンを押すと、そのパートのランプが消灯し、再生がオフになります。それぞれのパートは、押すごとに再生のオン/オフが切り替わります。

再生中でも、パートごとの再生オン/オフを切り替えることができます。

2. 再生をスタートさせる/演奏する

[PLAY/PAUSE]ボタンを押して、再生をスタートさせます。
再生をオフにしたパートを演奏してください。



弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)させることができます。

[STOP]ボタンを押したまま[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、[PLAY/PAUSE]ボタンのランプが点滅し、シンクロスタート待機状態になります。

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

待機状態で[STOP]ボタンを押すと、シンクロスタートは解除されます。

シンクロとは
同時の、同時に起こる

3. 再生をストップする

再生が終了すると、自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。

再生途中でストップする場合は[STOP]ボタンを押します。

[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、一時停止します。

パート再生のリセット(再設定)
新しい曲を選ぶと、自動的に両パートとも再生オンにリセットされます。

ピアノ50曲の繰り返し練習をする

繰り返し再生を使って、1曲または曲内のある範囲を繰り返し再生できます。難しいフレーズを繰り返して練習するときなどに便利です。

1曲を繰り返し再生する

1. 繰り返し再生をオンにする

練習する曲を選んだあと、[REPEAT]^{リピート}ボタンを押します。

2. 繰り返し再生をスタートさせる

[PLAY/PAUSE]^{プレイ/ポーズ}ボタンを押して、繰り返し再生をスタートさせます。

3. 繰り返し再生をオフにして通常の演奏状態に戻る

[STOP]^{ストップ}ボタンを押して曲をストップさせてから、もう一度[REPEAT]^{リピート}ボタンを押します。

ピアノ50曲やUSB記憶装置に入っている曲を連続再生させることもできます(80ページ)。

指定の範囲を繰り返し再生する(ABリピート)

1. 繰り返し再生したい曲をスタートさせる

[PLAY/PAUSE]ボタンを押して、曲の再生をスタートさせます。

2. 繰り返し範囲を指定する

繰り返し再生の開始位置(A点)にしたい所で[REPEAT]ボタンを押します。繰り返し再生の終了位置(B点)にしたい所で、もう一度[REPEAT]ボタンを押します。

曲に合わせたカウントが入ったあと、A点からB点までが繰り返し再生されます。

A点から曲の最後まで繰り返しA点だけを指定します。A点だけを指定すると曲の終了位置が自動的にB点になり、A点から曲の最後までが繰り返し再生されます。

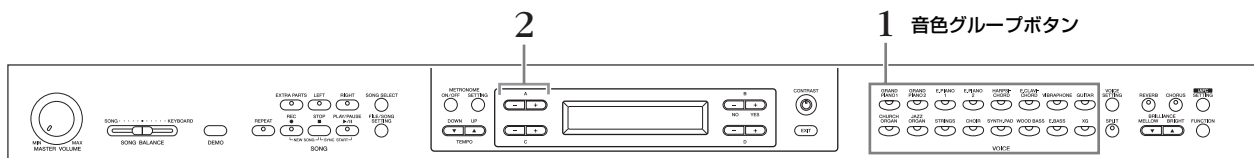
3. 繰り返し範囲を解除して通常の演奏状態に戻る

もう一度[REPEAT]ボタンを押します。

新しい曲を選ぶと、指定した繰り返し範囲は自動的に解除され、リピートモードもオフになります。

音色を楽しむ

音色を選ぶ



1. 音色グループを選ぶ

音色グループボタンを押します。

2. 音色を選ぶ

A [-][+]ボタンで音色を選びます。

音色グループ	音色名	
GRAND PIANO 1 (グランドピアノ1)	Grand Piano 1	グランドピアノ1
	Mellow Piano	メローピアノ
	Rock Piano	ロックピアノ
	HonkyTonk Piano	ホンキートンクピアノ
GRAND PIANO 2 (グランドピアノ2)	Grand Piano 2	グランドピアノ2
	Bright Piano	ブライトピアノ
E.PIANO 1 (エレクトリックピアノ1)	E.Piano 1	エレクトリックピアノ1
	Synth Piano	シンセピアノ
E.PIANO 2 (エレクトリックピアノ2)	E.Piano 2	エレクトリックピアノ2
	Vintage E.Piano	ビンテージエレクトリックピアノ
HARPSICHORD (ハープシコード)	Harpsichord 8'	ハープシコード8'
	Harpsichord 8'+4'	ハープシコード8'+4'
E.CLAVICHORD (エレクトリッククラビコード)	E.Clavichord	エレクトリッククラビコード
	Wah Clavi.	ワウクラビ
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	Vibraphone	ビブラフォン
	Marimba	マリンバ
	Celesta	チェレスタ
GUITAR (ギター)	Nylon Guitar	ナイロンギター
	Steel Guitar	スチールギター
CHURCH ORGAN (チャーチオルガン)	Pipe Organ Principal	パイプオルガンプリンシパル
	Pipe Organ Tutti	パイプオルガントットティ
	Pipe Organ Flute 1	パイプオルガンフルート1
	Pipe Organ Flute 2	パイプオルガンフルート2
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	Jazz Organ	ジャズオルガン
	Rotary Organ	ロータリーオルガン
	Mellow Organ	メローオルガン
STRINGS (ストリングス)	Strings	ストリングス
	Synth Strings	シンセストリングス
	Slow Strings	スローストリングス
CHOIR (クワイア)	Choir	クワイア
	Slow Choir	スロークワイア
	Scat	スカット
SYNTH.PAD (シンセパッド)	Synth Pad 1	シンセパッド1
	Synth Pad 2	シンセパッド2
WOOD BASS (ウッドベース)	Wood Bass	ウッドベース
	Bass & Cymbal	ベース&シンバル
E.BASS (エレクトリックベース)	Electric Bass	エレクトリックベース
	Fretless Bass	フレットレスベース
XG	XG音色	XG音色

*XG音色については119ページの「XG音色一覧」をご覧ください。

VOICE (ボイス)の意味

音色グループボタンの下に印刷されている「VOICE」は、「声」や「音」などの意味があります。

音色グループボタンを押して、同じグループの中の音色を切り替えることもできます。

音色の特徴をつかむには

音色グループごとのデモ曲を聞いてみてください(17ページ)。116ページの「パネル音色のご紹介」では、各音色の特徴を説明しています。

タッチによる音の強弱

タッチにより音の強弱を付けることができますが、音色によっては、その本来の楽器の特性上、音の強弱が付かないものがあります。116ページの「パネル音色のご紹介」をご覧ください。

XGを選んだ場合

XG音色は、XGの音色グループごとのフォルダーに入っています。音色グループを選んでから音色を選ぶには、下記のように操作します。

2-1 XG音色名が表示されている隣の画面ボタン[-][+]を同時に押して、XG音色を選ぶ画面を表示させます。

2-2 A [-][+]ボタンでXG音色グループを選びます。

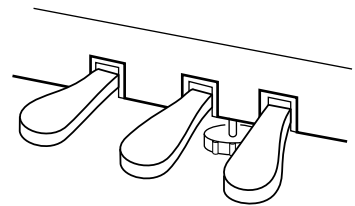
2-3 C [-][+]ボタンでXG音色を選びます。

XG (エックスジー)

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

ペダルを使う

ペダルには、右のペダル(ダンパーペダル)、まん中のペダル(ソステヌートペダル)、左のペダル(ソフトペダル)があります。これらは、主にピアノ演奏で使われます。

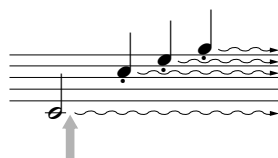


右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。

グランドピアノ1

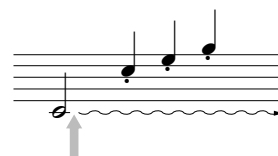
「Grand Piano 1」の音色で、ダンパーペダルを踏むと、踏んだときの響板や弦の共鳴効果(サステインサンプリング)が加わります。ダンパーペダルはハーフペダル機能に対応しています。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけた音を弾く直前に踏みます。)

ピブラフォン

ジャズオルガン

メローオルガン

ただし、「Vibraphone」、「Jazz Organ」と「Mellow Organ」の音色では、音が揺れる効果のオン/オフや速さの切り替えに使われます(94ページ)。

ダンパーペダルが効かない、または踏んでいないのに音が長く響いてしまう

ペダルコードのプラグが[PEDAL]端子に差し込まれていないと思われるかもしれません。確実に差し込んでください(131ページ)。あるいは[FUNCTION]の「RPedalFunc」の設定がオフになっていないか確認してください(94ページ)。

ハーフペダル機能とは

ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)機能です。

[FUNCTION]の「HalfPedalPoint」で、右ペダルをどのくらい踏み込めばダンパー効果が効き始めるのかを設定することができます(96ページ)。

[FUNCTION]の「SustainSamplingDepth」で、ダンパーペダルの共鳴効果(サステインサンプリング)の深さを調節できます(96ページ)。

[FUNCTION]の「RPedalFunc」/「CPedalFunc」/「LPedalFunc」でそれぞれのペダルの機能を変更することができます(94ページ)。

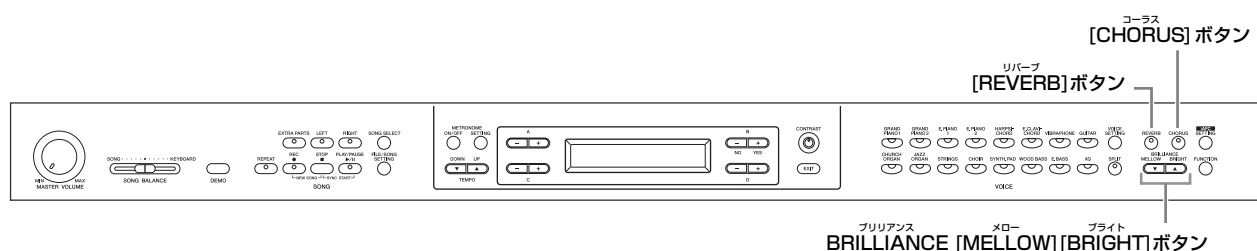
まん中のペダルと左のペダルのスタート/ストップ機能切り替え

[FUNCTION]の「PedalPlay/Pause」で、まん中のペダルか左のペダルをパネルの[PLAY/PAUSE]ボタンと同じ機能に切り替えることができます(96ページ)。

ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などで買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

音に変化を付ける(ブリリアンス/リバーブ/コーラス)

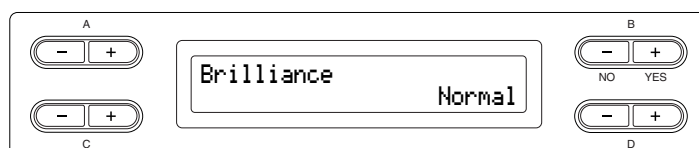
EFFECT (エフェクト=効果)は音の表情を変えることができる機能です。ブリリアンス/リバーブ/コーラスの3つのエフェクトがあります。



ブリリアンス

音の明るさを調節します。自分の好みの音の感じに変えて演奏することができます。

ブリリアンス メロー ブライト
BRILLIANCE [MELLOW] [BRIGHT] ボタンのどちらかを押して、音質のタイプを選びます。



Mellow1~3 (メロー 1~3)

柔らかくまろやかな音になります。1、2、3の順で音の柔らかさが増します。

Normal (ノーマル)

標準的な音質です。

Bright1~3 (ブライト1~3)

明るい音になります。1、2、3の順で音の明るさが増します。

エグジット

[EXIT] ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

リバーブ

音に残響を付け加えます。コンサートホールなどで演奏しているような臨場感を味わうことができます。

リバーブ
[REVERB] ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。

グラントピアノ1 グラントピアノ2
 「Grand Piano 1」と「Grand Piano 2」の音色では、リバーブがオフの場合でもピアノの響板の響き(サウンドボードリバーブ)を残すようになっています。

[BRILLIANCE] ボタンを押したあと、D [-][+] ボタンで音質のタイプを選ぶこともできます。

初期設定：Normal (ノーマル)

初期設定とは

本書では、はじめて電源を入れたときの設定(工場出荷時の設定)のことを「初期設定」と呼んでいます。

音がひずむ場合は

「Bright 1/2/3」を設定すると、音量が少し大きくなります。マスターボリュームが大きくなっている状態では音がひずむことがありますので、音量を少し下げてください。

[VOICE SETTING] ボタンの「ReverbType」でリバーブのタイプを、「ReverbSend」でリバーブの深さ(かかり具合)を音色ごとに設定することができます(86ページ)。

初期設定：オン

コーラス

音に広がり感を付け加えます。

コーラス
[CHORUS]ボタンを押すごとにオン/オフが切り替わります。

コーラスのオン/オフは、パネルの[CHORUS]ボタンでの設定と、ボイスセッティング
ボタンの「ChorusOnOff」(87ページ)での設定があります。パネルの[CHORUS]ボ
コーラス オン オフ
タンでの設定は、一時的な設定で、別の音色が選ばれると無効になります。
「ChorusOnOff」での設定は音色ごとに記憶される設定で、その音色が選ばれると、
設定に従って自動的にコーラスのオン/オフも切り替わります。

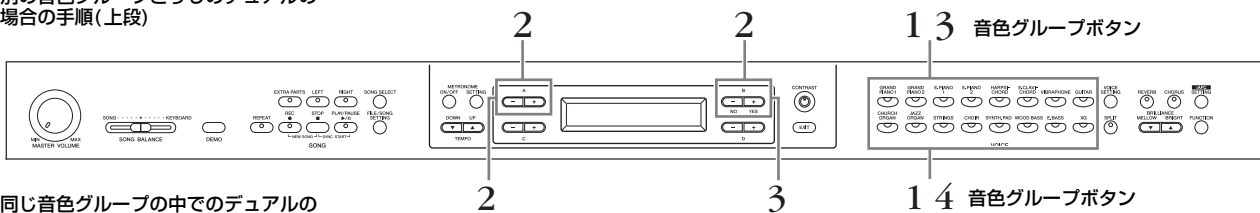
[VOICE SETTING]ボタンの「ChorusType」でコーラスのタイプを、「ChorusSend」でコーラスの深さ(かかり具合)を、「ChorusOnOff」でコーラスのオン/オフを音色ごとに設定することができます(86ページ)。

初期設定:
音色ごとにコーラスのオン/オフが設定されています。

2つの音色を混ぜて弾く(デュアル)

2つの音色を混ぜて弾くことができます。2つの音色でメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出したりすることができます。効果的な音色の組み合わせを118ページの「2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)」でご紹介しています。

別の音色グループどうしのデュアルの場合の手順(上段)

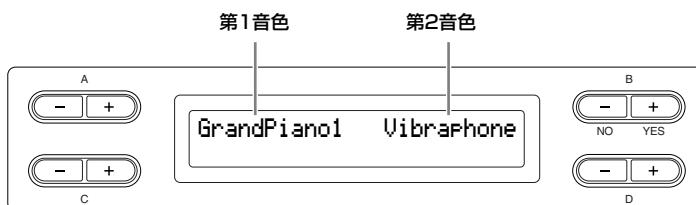


同じ音色グループの中でのデュアルの場合の手順(下段)

別の音色グループどうしのデュアル

1. デュアルモードに入る

音色グループボタンを2つ同時に押します。



2. 音色を選ぶ

A [-][+]ボタンと B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで音色を選びます。

116ページの「パネル音色のご紹介」の上の方の音色を第1音色、下の方の音色を第2音色と呼びます。

3. デュアルモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

新たに音色グループボタンを1つ押します。

デュアル=2つの

鍵盤全体を左右の領域に分けたとき(27ページ)に、左の領域をデュアルモードにするには、[SPLIT]ボタンを押したまま2つの音色グループボタンを同時に押します。

XG音色の選び方については、24ページをご覧ください。

同じ音色グループの中でのデュアル

1. 音色グループを選ぶ

通常の演奏状態で、音色グループボタンを押します。

2. 音色を選ぶ

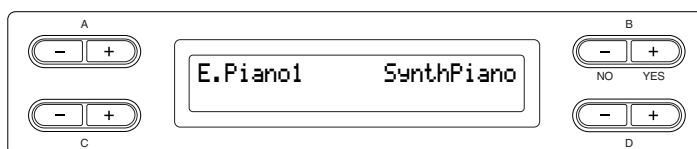
A [-][+]ボタンで音色を選びます。

3. もう一つの音色を選ぶ

B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで同じ音色グループの中からもう一方の音色を選びます。

B [- (NO)][+ (YES)]ボタンを1回だけ押すと、同じ音色どうしのデュアルになります。

B [- (NO)][+ (YES)]ボタンを何回か押すと、同じ音色グループの他の音色とのデュアルになります。



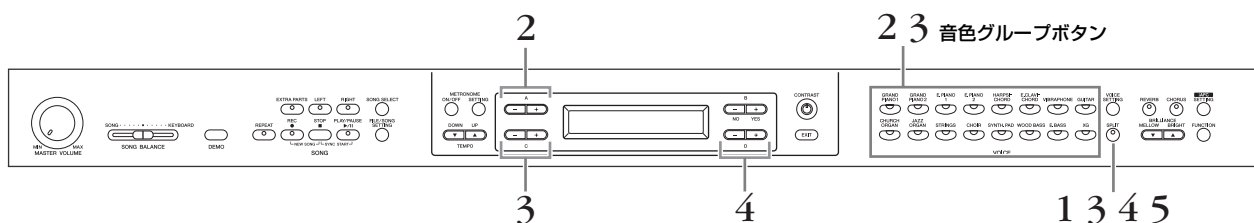
鍵盤全体を左右の領域に分けたとき(27ページ)に、左の領域をデュアルモードにするには、D [-][+]ボタンを押します。

4. デュアルモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

新たに音色グループボタンを1つ押します。

鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)

鍵盤全体を左右の領域に分け、別々の音色で演奏することができます。左の領域で「WOOD BASS」や「E.BASS」などの音色でベースパートを、右の領域でメロディーパートを演奏したりすることができます。効果的な音の組み合わせを、118ページの「2つの音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)」でご紹介しています。



1. スプリットモードに入る

スプリット
[SPLIT]ボタンを押します。

スプリット=分ける

2. 右側の音色を決める

音色グループボタンとA [-][+]ボタンで右の領域の音色を選びます。

3. 左側の音色を決める

^{スプリット}
[SPLIT]ボタンを押したまま音色グループボタンを押して、左の領域の音色グループを選びます。

音色を選ぶには、C [-][+]ボタンを押します。

4. スプリットポイント(領域の境め)を決める

スプリットポイントは「F#2」が初期設定になっています。

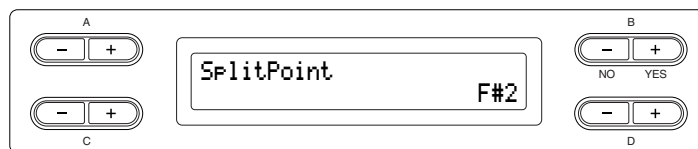


スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変えたい場合に次の操作を行います。

4-1 [SPLIT]ボタンを押したまま、D [-][+]ボタンでスプリットポイントを選びます。

または[SPLIT]ボタンを押したままスプリットポイントにしたい鍵盤を押します。

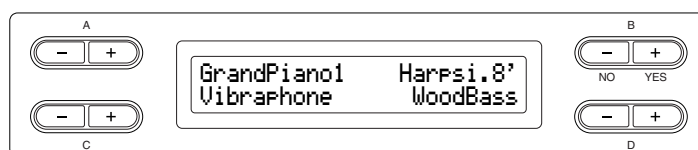


4-2 [SPLIT]ボタンを離すと基本画面に戻ります。

5. スプリットモードを抜けて通常の演奏状態に戻る

[SPLIT]ボタンを押します。

スプリットモードの、右の領域/左の領域それぞれでデュアル(26ページ)を利用することができます。



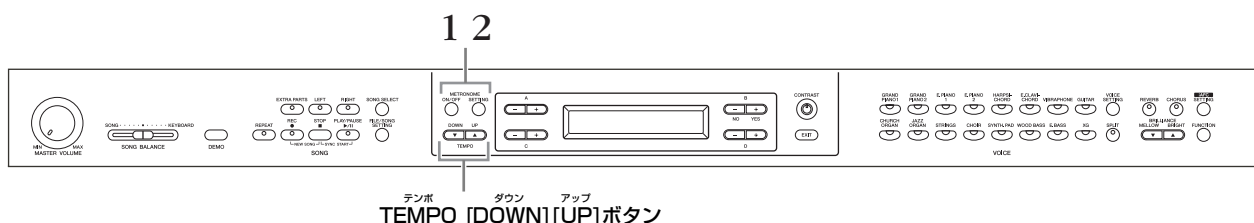
XG音色の選び方については、24ページをご覧ください。

スプリットポイントの鍵盤は左側に含まれます。

スプリットポイントは[FUNCTION]の「SplitPoint」で設定することもできます(94ページ)。

メトロノームを使う

クラビノーバは、メトロノーム(ピアノの練習でよく使われる正確なテンポを刻む道具)を備えています。ご利用ください。

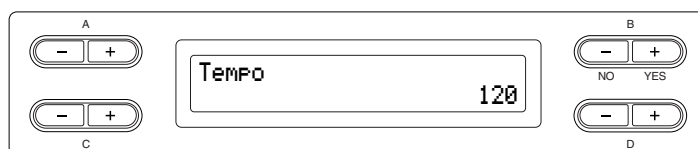


1. メトロノームを鳴らす

メトロノーム
METRONOME [ON/OFF]ボタンを押します。

テンポを調節する

テンポ ダウン アップ
TEMPO [DOWN][UP]ボタンのどちらかを押します。



TEMPO [DOWN][UP]ボタンまたはD [-][+]ボタンでテンポ(5~500: 1分間の拍数)を調節します。[DOWN][UP]ボタンを同時に押すか、D [-][+]ボタンを同時に押すと初期設定のテンポに戻ります。

エグジット
[EXIT]ボタンを押すと基本画面に戻ります。

初期設定：120
(ただし曲が選ばれているときは、その曲の固有のテンポになります。)

METRONOME [SETTING]ボタンで、拍子、メトロノームの音量、メトロノームの音色を設定することができます(83ページ)。

2. メトロノームを止める

METRONOME [ON/OFF]ボタンを押します。

演奏を録音(記録)する

クラビノーバの録音機能を使ってご自身の演奏を録音する方法を説明します。

練習の中で、ご自身の演奏を録音して聞いてみたり、左手(右手)パートだけ録音しておいて、再生しながら右手(左手)パートを練習したりすることもできます。

また、16の録音パートに別々に録音できますので、右手パートと左手パートを分けて録音したり、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させたりすることもできます。

別の録音方法

[AUX OUT]端子を使ってカセットテープレコーダーなどに接続し、オーディオ録音することもできます(71ページ)。

「録音」と「記録」

カセットテープに録音するのとクラビノーバの録音機能を使って録音(記録)するのでは、録音されるデータの形式が異なります。

カセットテープでは音そのものが「録音」されますが、クラビノーバの録音機能では音そのものではなく、「どの音をどのタイミングで弾き、音色はこれで、テンポはいくつで」という情報が「記録」されます。再生の際は記録された情報どおりに「音源」部が鳴ります。

クラビノーバの録音機能を使った「録音」は、本来「記録」というべきですが、広義に捉えて、本書では一般的に理解しやすい「録音」という言葉を使います。ただし、特に区別してご理解いただきたい場合は、「記録」という場合もあります。

操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、101ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。

録音の方法

録音パートを指定せずに簡単に録音する方法と、録音パートを指定して多重録音する方法があります。用途に合った方法で録音してみましょう。

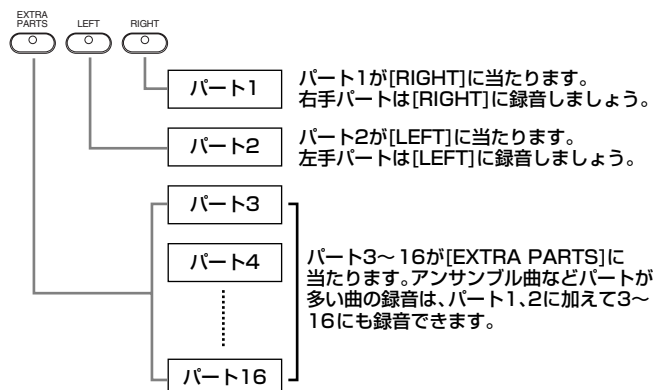
録音パートを指定せずに録音する 31ページ

練習中のピアノ曲を録音して聞いてみるなど、録音パートを指定せずに手軽に録音する方法です。

この方法では、自動的に[RIGHT] (パート1)に録音されます。

録音パートを指定して多重録音する 34ページ

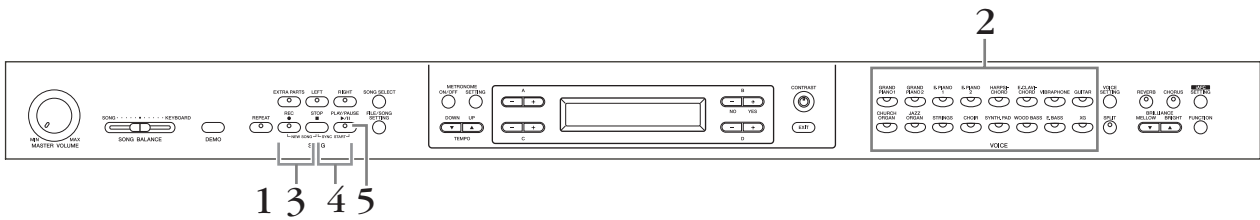
右手(RIGHT)、左手(LEFT)、その他(EXTRA PARTS)のパートを選んで、各パートを別々に録音する方法です。右手パートを再生させながら左手パートを録音できますので、連弾曲を1パートずつ録音するのに便利です。この楽器では16パートまで録音できますので、アンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させたりすることもできます。



この楽器では、[RIGHT]、[LEFT]に対して曲中の適切なチャンネル(パート)が自動的に割り当てられます。したがって、[RIGHT]にチャンネル1以外、[LEFT]にチャンネル2以外が割り当てられることがあります。

録音後に「MemoryFull (メモリーフル) (保存用メモリーの容量が足りません)」、「SystemLimit (システムリミット) (保存されているファイル数が制限を超えています)」が表示されたときには、「録音した曲を保存する「Save (セーブ)」(41ページ)を参照してください。

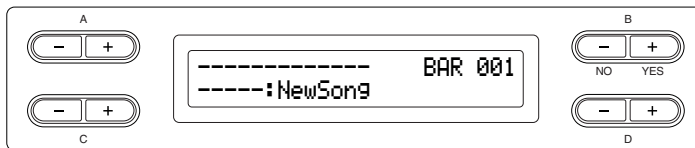
録音パートを指定せずに録音する



1. ニューソング「NewSong (新しい曲)」を選ぶ

レコード [REC] ボタンと ストップ [STOP] ボタンを同時に押します。

「NewSong」の画面



❗ ここで「-----:NewSong」以外の曲を選んでデータがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

2. 録音する音色を選ぶ

録音に使う音色を選びます(23ページ)。

必要に応じてそのほかの設定(リバーブやコーラス、ソングバランスなど)も選んでください。

マスターボリューム [MASTER VOLUME] は、弾きやすい音量に設定してください。再生のときにも [MASTER VOLUME] で音量を調節することができます。

設定が終わったら ソングセレクト [SONG SELECT] ボタンを押して「NewSong」の画面に戻ります。

テンポを設定する場合は手順3で行なってください。

デュアル/スプリットを使った録音については、37ページをご覧ください。

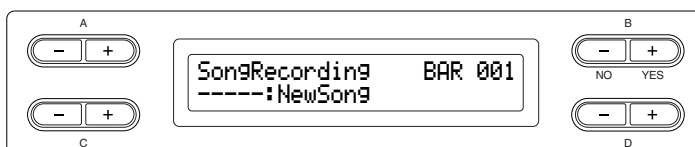
3. 録音モードに入る

[REC] ボタンを押します。

[REC] ボタンと ライト [RIGHT] ボタンのランプが赤く点滅します。

(録音を中止する場合は、もう一度 [REC] ボタンまたは [STOP] ボタンを押します。)

録音待機画面



テンポを設定する場合は、ここで行ないます。

テンポを設定したときや、録音待機画面が表示されていないときは、[SONG SELECT] ボタンを1回押します。

4. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始めると、自動的に録音が始まります。

曲の始めに空白の小節を録音したいときは、^{プレイ/ポーズ} [PLAY/PAUSE] ボタンを押して録音をスタートします。

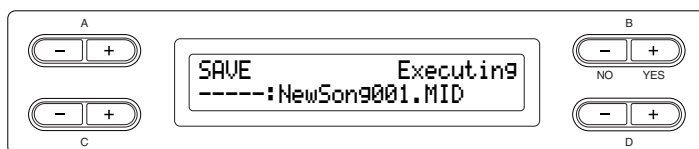
録音画面では、録音中の小節番号が表示されます。

録音画面



^{ストップ} [STOP] を押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

録音モードが解除され、曲が自動的に保存されます。保存が終わると、保存用メモリー (38ページ) の画面が表示されます。



5. 録音した演奏を再生する

[PLAY/PAUSE] ボタンを押して、今録音した演奏を再生します。

再生が終了すると自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。途中でストップする場合は [STOP] ボタンを押します。[PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、押した位置で一時停止します。

曲を部分的に録音し直す

曲を部分的に録音し直したい場合の手順を説明します。

1. 録音の仕方を選ぶ

^{ファイル / ソングセッティング} 1-1 [FILE/SONG SETTING] ボタンを押します。

1-2 A [-][+] ボタンを押して、^{レックススタート} 「RecStart (録音開始方法)」 / ^{レックエンド} 「RecEnd (録音終了方法)」 を表示させます。

1-3 D [-][+] ボタンを押して、録音開始/終了方法を選びます。

録音開始方法

Normal (ノーマル): 録音開始以降のデータを消す

FirstKeyOn (ファーストキーオン):

録音開始しても最初に鍵盤を弾く前のデータは消さない

録音終了方法

Replace (リプレース): 録音終了以降にあった元のデータを消す

PunchOut (パンチアウト): 録音終了以降にあった元のデータを残す

メトロノームを使う

[METRONOME] を使って録音することもできます。ただし、メトロノームの音は録音されません。

録音途中で [PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、一時停止となります。再度押すか押鍵で録音を再開します。

録音中に [REC] ボタンを押すと録音がストップし、押した位置にとどまります。曲を先頭に戻すときは、[STOP] ボタンを押してください。

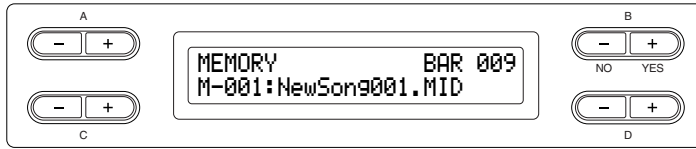
曲の名前を変更する

録音した曲は自動的に名前が付けられますが、ご自分で名前を付け直すことができます (42ページ)。

2. 録音し直したい場所で一時停止する

再生画面のB [- (NO)] [+ (YES)] ボタンで小節を移動するか、録音した演奏を再生して、録音し直したい場所の少し手前で[PLAY/PAUSE] ボタンを押します。

再生画面が表示されていないときは、[SONG SELECT] ボタンを押してください。



3. 必要に応じて、録音する音色を選び直す

31 ページの手順2と同様です。先に録音したときと設定を変えたい場合に行なってください。

4. 録音モードに入る

[REC] ボタンを押します。

(録音を中止する場合は、もう一度[REC]または[STOP] ボタンを押します。RecStart がNormalの場合<32ページ>は、曲を上書きするかどうかの確認が表示されますので、B [- (NO)] ボタンを押して中止してください。)

5. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始める、または[PLAY/PAUSE] ボタンを押すと、録音がスタートします。

[STOP] ボタンを押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

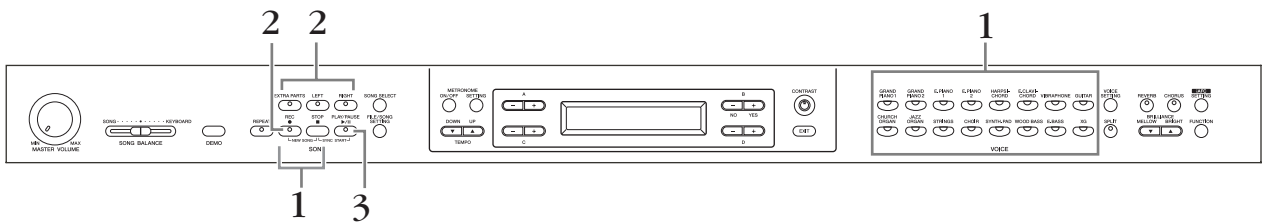
6. 録音した曲を保存する

録音をストップすると、上書き保存するかどうかの確認が表示されます。B [+ (YES)] ボタンを押して、上書き保存します。

保存を中止するときはB [- (NO)] ボタンを押します。

「Overwrite?-->」 = 上書きしますか？

録音パートを指定して多重録音する



1. 「NewSong(新しい曲)」を選び、録音する音色を選ぶ

「録音パートを指定せずに録音する」での操作と同様です。31ページの手順1~2をご覧ください。

2. 録音パートを指定し、録音モードに入る

右手/左手パート(パート1/2)に録音する場合

[REC]ボタンを押したまま[RIGHT](右手)/[LEFT](左手)ボタンを押します。

その他パート(パート3~16)に録音する場合

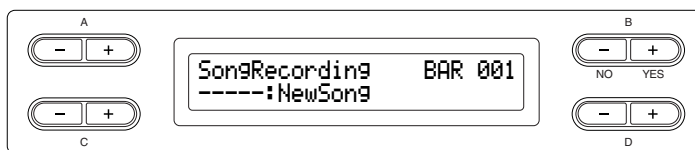
[FILE/SONG SETTING]ボタンを押してからA [-][+]ボタンを押して、
「RecExtraPartsCh」を表示させます。D [-][+]ボタンを押して録音パートを選びます。ここで選んだパートは、[EXTRA PARTS]ボタンに割り当てられます。

[EXTRA PARTS]ボタンに録音パートを割り当てたあとで、[REC]ボタンを押したまま[EXTRA PARTS]ボタンを押します。

録音パートを指定すると、[REC]ボタンと指定したパートのランプが、赤く点滅します。

(録音を中止する場合は、もう一度[REC]ボタンまたは[STOP]ボタンを押します。)

録音待機画面



テンポを設定する場合は、ここで行ないます。

テンポを設定したときや、録音待機画面が表示されていないときは、[SONG SELECT]ボタンを押します。

右手/左手パートの再生をオフにしておきたいときは、[RIGHT]/[LEFT]ボタンを押して緑のランプを消灯させます。

3. 録音をスタートし、ストップする

演奏を始めるまたは[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、録音がスタートします。

[STOP]ボタンを押すと録音がストップし、曲の先頭に戻ります。

録音モードが解除され、曲が自動的に保存されます。

保存が終わると、保存用メモリー(38ページ)の画面が表示されます。

テンポを設定する場合は手順2で行なってください。

デュアル/スプリットを使った録音については、37ページをご覧ください。

そのほかの録音方法とテクニック

既存の曲に追加/上書き録音する

ここまで「ニューソング----:NewSong」を選んで新規に録音する方法を説明してきましたが、P-001～P-050までのピアノ50曲(プリセットソング)や市販のミュージックデータ、ご自身ですでに録音して保存してある曲(30ページ)などの既存の曲に、追加録音や上書き録音して保存することもできます。

1. 追加/上書き録音する曲を選ぶ

内蔵のピアノ曲に追加/上書き録音する場合

[ソングセレクトSONG SELECT]ボタンを押してからA [-][+]ボタンで「プリセットPRESET」を表示させ、C [-][+]ボタンで曲を選びます。

ここで録音した曲は、保存用メモリー (38ページ)に自動保存されます。

市販のミュージックデータやすでに録音/保存してある曲を選ぶ場合

[SONG SELECT]ボタンを押してから、A [-][+]ボタンで「メモリーMEMORY」または「USB1」を表示させ、C [-][+]ボタンで曲を選びます。

ここで録音した曲は、録音をストップしたときに上書き保存するかどうかの確認が表示されます。B [- (NO)]ボタンを押して上書き保存してください。

このあとは、31ページから33ページまでで説明している「録音パートを指定せずに録音する」と同様の方法で録音します。

! データがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

録音後に音色やテンポなどを変更する

録音を終えたあとでも、曲の音色やテンポなどを変更することができます。録音したあとで音色を変更して違った雰囲気曲にしたり、曲を適切なテンポに調節したりすることができます。曲の途中での変更もできます。

1. 変更する曲を選びます。

選曲方法は、「既存の曲に追加/上書き録音する」(35ページ)と同様です。

2. 曲の途中から変更したい場合は、再生画面のB [-(NO)][+(YES)]ボタンで小節を移動するか、録音した演奏を再生して、設定を変更したい場所の少し手前で[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。

再生画面が表示されていないときは、[SONG SELECT]ボタンを押してください。

3. 変更したい内容(音色やリバーブなど)を設定します。

たとえば、録音した「E.PIANO 1」の音色を^{エレクトリックピアノ}「E.PIANO2」に変更したい場合は、音色グループボタンとA [-(+)]ボタンで「E.PIANO2」を選びます。

設定が終わったら、^{ソングセレクト}[SONG SELECT]ボタンを押して、選曲画面に戻ります。

❗ この時点でのパネル設定が、次の手順4の操作を行なった時点で書き込まれ、元に戻すことができなくなります。ご注意ください。

4. ^{レコード}[REC]ボタンを押したまま値を変更するパートを選びます。

選ばれたパートのランプが赤く点滅します。

テンポを変更する場合はここで行ないます。

❗ ここで、鍵盤や[PLAY/PAUSE]ボタンを押さないように注意してください。録音がスタートしてしまい、録音済みのデータが消えてしまいます。

5. ^{ストップ}[STOP]または[REC]ボタンを押して、録音モードを抜けます。

上書き保存するかどうかの確認が表示されますので、B [+(YES)]ボタンを押して上書き保存します。

音色やテンポを変更する前に、録音開始方法が「Normal (ノーマル)」(32ページ)になっていることを確認してください。録音開始方法が「FirstKeyOn (ファーストキーオン)」のままだとここで音色やテンポを変更することができません。

音色やテンポのほかに変更できる内容について詳しくは、106ページの「録音(記録)されるデータの種類は」をご覧ください。

テンポを変更する場合は、手順4で行なってください。

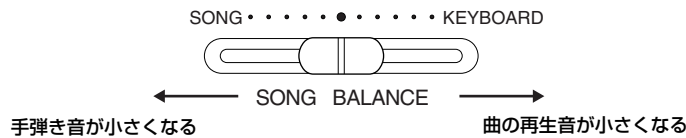
曲の再生音と手弾き音の音量バランスを調節する

ソング バランス

[SONG BALANCE]

複数のパートを重ねて録音していくときに、録音済みのパートの再生音と録音する手弾き音との音量バランスを調節することができます。

1. [SONG BALANCE]スライダーを左右に動かして調節します。



市販のミュージックデータの中には、非常に大音量のデータがあります。そのようなデータを使用する場合、ソングバランスを調節してください。

デュアルやスプリットを使って録音する

デュアルやスプリットを使って録音する場合は、自動的に音色ごとに別々のパートに録音されます。パートの割り当ては次表のようになります。

❗ データがあるパートに録音すると、それまでのデータは消えてしまいますので、ご注意ください。

それぞれ指定した録音パートが1、2、EXTRA PART^{エキストラパート}n の場合を示します。

指定した 録音パート	デュアル			スプリット			スプリットデュアル		
	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)	RIGHT (パート1)	LEFT (パート2)	EXTRA PARTn (パートn)
実際に録音に 使われるパート	MAIN (第1音色)	パート1	パート2	パートn	パート1	パートn	パート1	パートn	
	LEFT (第1音色)				パート2	パートn+1	パート2	パートn+1	
	MAIN (第2音色)	パート3	パート4	パートn+2			パート3	パートn+2	
	LEFT (第2音色)						パート4	パートn+3	

パートn=パート3~パート16

「n+1」「n+2」「n+3」が16を超える場合は折り返してパート1、2、3が使われます。

曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されません。

曲を削除するなどのファイル操作をする

[FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

ファイル/ソングセッティング

[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して表示される一連の画面(ファイル画面)では、曲の削除や曲名変更などの曲ファイルに関する操作ができます。USB記憶装置の取り扱いについては、133ページを参照してください。

項目	表示		ページ
録音した曲を保存する	Save	セーブ	41
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する	Delete	デリート	42
曲名を変更する	Rename	リネーム	42
曲をコピーする	Copy	コピー	43
曲を移動する	Move	ムーブ	44
USB記憶装置にフォルダーを作る	MakeDir	メイクディレクトリ	44
USB記憶装置をフォーマットする	Format	フォーマット	45
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	SongAutoOpen	ソング オートオープン	45
表示文字の種類を切り替える	CharacterCode	キャラクターコード	46

❗ コピー機能は、個人的な使用の範囲でのみご利用ください。

クラビノーバのメモリーについて

クラビノーバの内部には、3つのメモリーがあります。

カレントメモリー

再生したり録音したりするために現在選ばれている曲を置いておく作業領域としてのメモリー

プリセットソングメモリー

ピアノ50曲(プリセットソング)を保存してある固定領域としてのメモリー

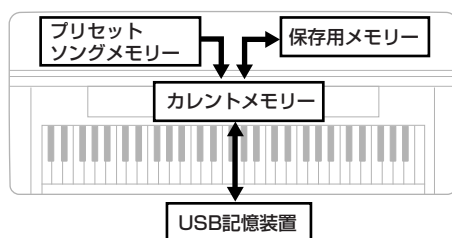
保存用メモリー

録音した曲などを保存しておく保存場所としてのメモリー

選曲画面で曲を選ぶ操作をすると、実際にはそのつど選んだ曲が、曲が入っていたメモリーから、カレントメモリーに読み込まれます。

再生したり録音したりするのは、常にカレントメモリーにある曲になります。

プリセットソングメモリーや保存用メモリーの曲は、電源を切っても消えませんが、カレントメモリーの曲は、電源を切ると消えてしまいます。ただし、録音した曲は、録音後にカレントメモリーから保存用メモリーに自動保存されます。



以降、カレントメモリーにある曲のことを「カレントソング」、保存用メモリーにある曲のことを「メモリーソング」、USB記憶装置に入っている曲のことを「USBソング」と呼びます。

ファイルとは

あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものです。曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。

セーブ=保存する

デリート=削除する

リネーム=名前を付け替える

キャラクターコード=文字の種類

メモリーとは

クラビノーバ内部の、データを保存したり作業をしたりする場所のことです。

カレント=現在

プリセット=あらかじめセットされた

曲の種類

この楽器では、いろいろな種類の曲が扱われます。曲名の左に、曲の種類を示すアルファベットと曲番号が表示されます。曲の種類を示すアルファベットの意味とファイル操作の制限は、下記のとおりです。

プリセット ソングメモリー	P	プリセットソング
保存用メモリー	M	メモリーソング
	MP	メモリーソングで、プリセットソングを保存用メモリーにコピーしたものやDOC (ディスクオーケストラコレクション)、ピアノプレーヤ用の曲。
	MS、Ms	プロテクトがかかったメモリーソング
USB記憶装置	U1	USBソング
	U1P	USBソングで、DOC (ディスクオーケストラコレクション)、ピアノプレーヤ用の曲。
	U1S、U1s	プロテクトがかかったUSBソング

ファイル操作の制限

	曲の種類			
	P	M、U1	MP、U1P	MS、Ms、 U1S、U1s
Save	○*1	○	○*1	×
Delete	×	○	○*2	○
Rename	×	○	○*2	○
Copy	○*1	○	○*1	×
Move	×	○	×	○*3

*1 保存用メモリーへのみ可能

*2 MPのみ可能

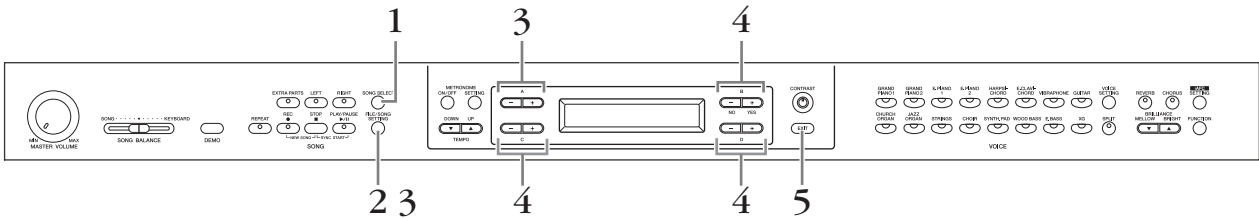
*3 保存用メモリーとUSB記憶装置間の移動が可能

U1Sの曲で拡張子が「.SME」のものは、Deleteのみができます。

ファイル画面の基本操作

操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、101ページの「メッセージ一覧」をご覧ください。

USBソングのファイル操作を行なう場合には、USB記憶装置が楽器に接続されているのを確認してから、操作を始めてください。



1. ファイル操作の準備をする

下記のとおりファイル操作の準備をします。

リネーム コピー ムーブ
Rename, Copy, Moveの場合:

[SONG SELECT]ボタンから対象となる曲を選択します。選曲方法については、「ピアノ50曲(プリセットソング)を聞く」(19ページ)や「録音した曲や市販のミュージックデータを再生する」(47ページ)を参照してください。

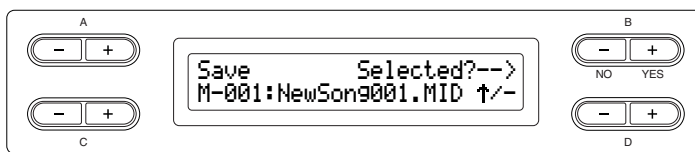
メイクディレクトリ
MakeDirの場合:

[SONG SELECT]ボタンからUSB記憶装置を選択します。選択方法については「録音した曲や市販のミュージックデータを再生する」(47ページ)を参照してください。

セーブ デリート フォーマット ソングオートオープン キャラクターコード
Save, Delete, Format, SongAutoOpen, CharacterCodeの場合:
ここでの操作は不要です。

2. ファイル操作モードに入る

ファイル/ソングセッティング
[FILE/SONG SETTING]ボタンを押します。



これ以降操作を中止する場合には[EXIT]ボタンを1回、操作を中止して操作モードを抜けるには[EXIT]ボタンを2回押します。

3. 項目を選ぶ

[FILE/SONG SETTING]ボタンまたはA [-][+]ボタンを何度か押して、設定したい項目を選びます。

4. 設定または実行する

B [- (NO)][+ (YES)]/C [-][+]/ D [-][+]ボタンで設定/実行します。

この操作について詳しくは、それぞれ該当する項目を参照してください。

5. ファイル操作モードを抜ける

[EXIT]ボタンを押します。

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

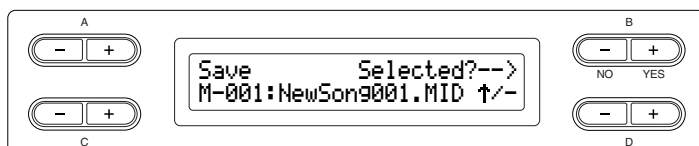


保存/コピー/削除などデータのアクセス中に、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディア(フロッピーディスクなど)を取り出したり、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

「Overwrite?-->」=上書きしますか?
「Execute?-->」=実行しますか?
「Sure?-->」=いいですか?
「Executing」=実行中
「Completed」=完了しました

録音した曲を保存する「Save (セーブ)」

録音した曲は自動的に保存用メモリーに保存されますので、通常はこの画面での保存の作業は不要です。ただし、録音後に「MemoryFull (保存用メモリーの容量が足りません)」、^{メモリーフル}「SystemLimit (保存されているファイル数が制限を超えています)」^{システムリミット}が表示されたときなどに、この画面からUSB記憶装置に保存します。



⊗ 曲の保存が完了する前に電源を切らないでください。保存前の曲は、電源を切ると消えてしまいます。

基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 保存先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?→」^{ドライブセレクト}を表示させてから、C [-][+]ボタンを押して保存先を選びます。

保存先を選んだら、B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。そのあと「Selected?→」^{セレクト}が表示されますので、B [+ (YES)]ボタンを押します。

4-2 曲名を付ける

C [-][+]ボタンでカーソル(下線)を移動します。
同時押しでスペースが挿入されます。

D [-][+]ボタンでカーソルの位置の文字を選択します。
同時押しで文字が削除されます。
最大全角で23文字、半角で46文字までの曲名が付けられます。画面からはみだした文字は、C [-][+]ボタンでカーソルを移動し、順次表示させることができます。

4-3 実行する

「Execute?→」^{エグゼキュー}の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

あとは画面の指示に従って操作します。
曲番号は自動で付けられます。

⊗ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

曲名表示について

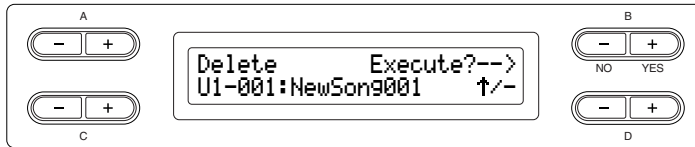
「CharCode (キャラクターコード)」で、表示文字の種類を切り替えることができます。

この楽器で録音した曲は、SMF (フォーマット0)の形式で保存されます。

曲の保存先にすでにいくつか曲ファイルがあった場合、新たに曲を保存すると、自動的に全曲アルファベット/アイウエオ順などに分類されて、番号が付け直されます。

保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する「Delete (デリート)」

メモリーソングやUSBソングを削除します。プリセットソングやカレントソングは削除できません。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 削除する曲を選ぶ

C [-][+]ボタンで削除する曲を選びます。

4-2 実行する

エグゼキュート
「Execute?→」の隣にある B [+ (YES)] を押します。
あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

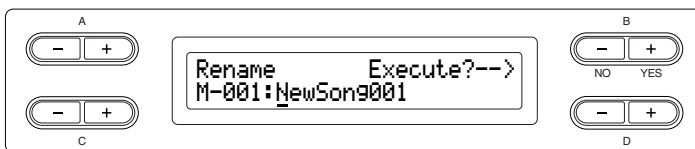
画面右下に「↑」や「↓」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

削除後、残った曲の番号は自動的に詰められます。

フォルダーを削除すると、フォルダーの中のファイルがすべて削除されます。

曲名を変更する「Rename (リネーム)」

曲名を変更します。プリセットソングと「ニューソング----: NewSong」は変更できません。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4. セーブ 「Save」の場合と同様の操作(41ページ)で曲名を付け、実行します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

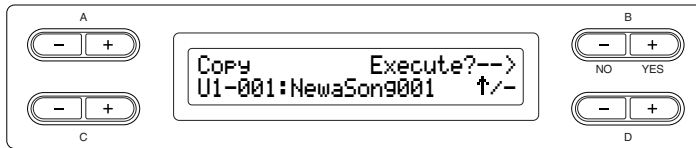
フォルダー名を変更する場合

フォルダー名を変更する場合は、「Rename」を選んでから[SONG SELECT]ボタン、C [-][+]ボタンを押してフォルダーを選びます。(フォルダー名は、「DIR:」のあとに表示されます。)別の階層を選ぶ場合は、この画面でD [-][+]ボタンを押します。(画面右下に「↑/↓」が表示されているときに別の階層が選べます。)そのあと、もう一度「Rename」を選び直してから、フォルダー名を変更します。

曲名変更後、自動的に全曲アルバム番号/アイウエオ順などに分類されて、番号が付け直されます。

曲をコピーする「Copy (コピー)」

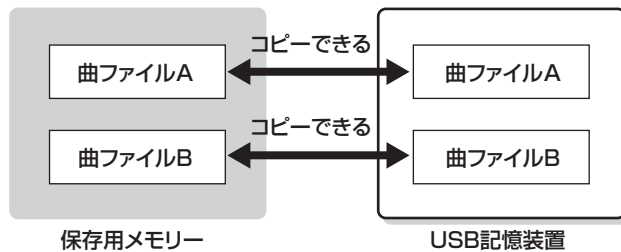
曲をコピーすることができます。ただし、同一ルート上や同じフォルダー内には選択した曲をコピーすることはできません。



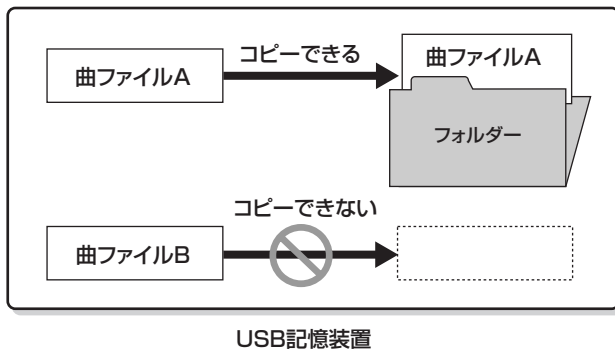
ルートとは
階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。

コピーできる範囲

曲ファイルを保存用メモリー/USB記憶装置間でコピーできます。



曲ファイルを別のフォルダーにコピーすることはできますが、同一ルート上ではコピーできません。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置の接続を確認する

USB記憶装置にコピーする場合は、USB記憶装置が楽器に接続されていることを確認します。

4-2 コピー先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?-->」を表示させてから、C [-][+]ボタンを押してコピー先(保存用メモリーかUSB記憶装置)を選びます。コピー先を選んだらB [+ (YES)]ボタンを押して決定します。

4-3 実行する

「Execute?->」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。
あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

プロテクトがかかった曲はコピーできません。

市販のミュージックデータは著作権で保護されていますので、コピー機能は個人で楽しむ範囲でご利用ください。

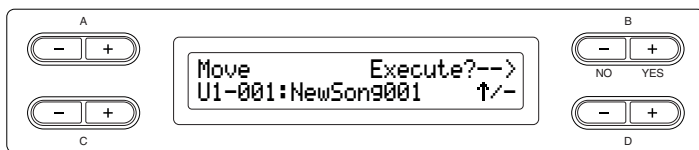
この楽器で録音した曲をメディアにコピーするとSMF(フォーマット0)の形式で保存されます。

この楽器でフォルダーごとコピーすることはできません。

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

曲を移動する「Move (ムーブ)」

曲を移動(カット&ペースト)することができます。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置の接続を確認する

USB記憶装置に移動する場合は、USB記憶装置が楽器に接続されていることを確認します。

4-2 移動先を選ぶ

D [-]ボタンを押して「DriveSelected?-->」を表示させてから、C [-][+]ボタンを押して移動先(保存用メモリーかUSB記憶装置)を選びます。移動先を選んだら B [+ (YES)]ボタンを押して決定します。

4-3 実行する

[Execute?→]の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。
あとは画面の指示に従って操作します。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

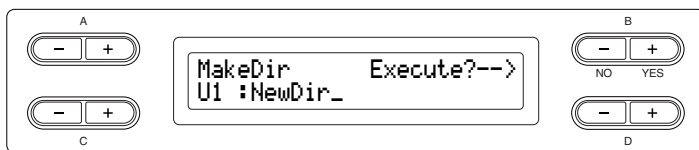
プリセットソングと、プロテクトがかかった曲の一部は移動できません。

フォルダーは移動できません。

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

USB記憶装置にフォルダーを作る「MakeDir (メイクディレクトリ)」

曲を保存するためのフォルダーを作ることができます。この楽器では、USB記憶装置のみにフォルダーを作ることができます。プリセットソングメモリーと保存用メモリーにはフォルダーを作ることができません。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4 「Save」の場合と同様の操作(41ページ)でフォルダー名を付け、実行します。

フォルダーは、USB1 (U1と表示されます)の中のルートに作成されます。

⊘ 「Executing (エグゼキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

ドライブや階層を選んでフォルダーを作る場合

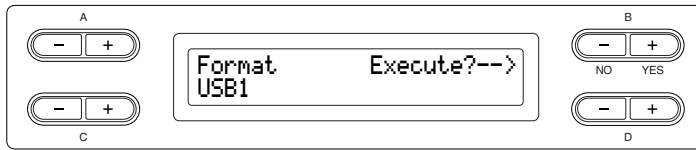
ドライブや階層を選んでフォルダーを作る場合は、「MakeDir」を選んでから[SONG SELECT]ボタンを押して「USB」を選びます。この画面で、別のUSB機器を選ぶ場合はA [-][+]ボタンを押します。階層を選ぶ場合は、D [-][+]ボタンを押します。そのあと、もう一度「MakeDir」を選び直してから、左記手順4に従ってフォルダーを作ります。

ルートとは

階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。

USB記憶装置をフォーマットする「Format (フォーマット)」

楽器で使用するメディアをクラビノーバ用にフォーマットします。




基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4-1 USB記憶装置が楽器に複数認識されているときは、C [-][+]ボタンでフォーマットする装置を選びます。

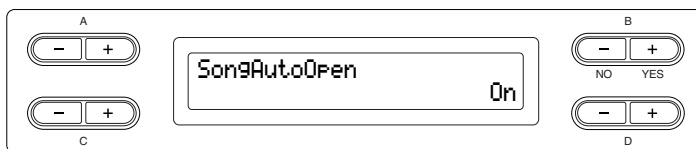
4-2 「Execute?→」の隣にあるB [+ (YES)]ボタンを押します。

あとは画面の指示に従って操作します。

 「Executing (エグセキューティング)」の表示中は、電源を切ったり、メディアを取り出したりしないでください。

メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする「SongAutoOpen (ソングオートオープン)」

メディアを挿入したとき、曲(フォルダーに入っていない曲のみ)を自動呼び出しする/しないを切り替えます。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

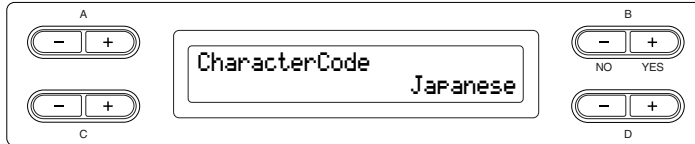
4. D [-][+]ボタンでオン/オフを選びます。

USB記憶装置を楽器に接続した時点では、曲が自動呼び出しされません。ドライブやカードリーダーにメディアを挿入した時点で、曲が自動呼び出しされます。したがって、メディアが不要なUSBフラッシュメモリーや、ハードディスクドライブでは、ソングオートオープン機能が使えません。

表示文字の種類を切り替える 「CharacterCode (キャラクターコード)」

曲名を表示/入力する際の文字の種類を切り替えます。

通常はカタカナ表示/入力ができる「ジャパニーズJapanese」になっていますが、プリセットソング名などを原題で表示させたいときに「インターナショナルInternational」に切り替えてください。



基本操作は、40ページをご覧ください。
手順4の部分は、下記に従って操作します。

4. D [-][+]ボタンで「Japanese」 / 「International」を選びます。

選択範囲:

Japanese、International

文字一覧:

Japanese

0~9	A~Z	a~z	ア~ン	ア~オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	°	°	ー	「	」	,	・	!	#	\$	%	&	'	()	+	,	-	.	;	=	@	[]	^	_	`	{	}	~
-----	-----	-----	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

International

0~9	A~Z	a~z	Ä	Ë	Ï	Ö	Ü	ä	ë	ï	ö	ü	à	è	ì	ò	ù	á	é	í	ó	ú	â	ê	î	ô	û	Ñ	ñ	ß	Ç	ç	°	ı	ı	!	#	\$	%	&	'	()	+	,	-	.	;	=	@	[]	^	_	`	{	}	~
-----	-----	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

録音した曲や市販のミュージックデータを再生する

録音機能(30ページ)を使って録音した曲や市販のミュージックデータを再生します。再生しながら、ご自身で演奏することもできます。

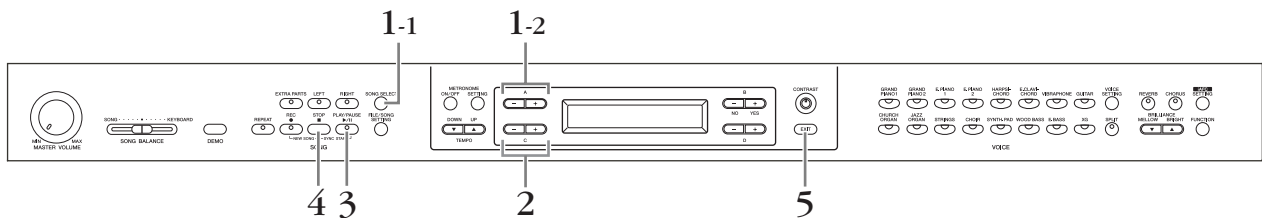
曲データの容量が大きいとクラビノーバ本体に読み込めず、選曲できないことがあります。容量の上限の目安としては、およそ200KB~300KBですが、曲データの内容により異なります。

再生できる曲データの種類については、49ページをご覧ください。

クラビノーバの文字の種類
「CharacterCord (キャラクターコード)」を再生する曲のファイル名に適した種類に設定してください(46ページ)。

再生する

USB記憶装置に入った曲を再生する場合は、USB記憶装置を楽器本体に接続してください。USB記憶装置の取り扱いについては、133ページを参照してください。

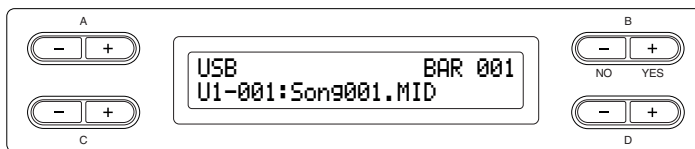


1. 選曲画面を表示させる

1-1 ^{ソングセレクト} [SONG SELECT] ボタンを押します。

1-2 A [-][+] ボタンを押して、^{メモリー} 「MEMORY」 または 「USB1」 を選びます。

選曲画面



MEMORY

保存用メモリーです。この楽器で録音した曲などが保存されています。

USB1

USB記憶装置です。市販のミュージックデータなどを保存します。USB記憶装置が楽器に接続されていない場合は、「USB1」が表示されません。USB記憶装置が複数認識されているときは、「USB1」、「USB2」...のように「USB」のあとに数字が表示されます。この番号は固定されているものではなく、機器を接続したり、外したりする順番によって相対的に変わります。

「連弾や2台のピアノのための曲の一方のパートを録音し、それを再生しながら自分でもう一方のパートを弾く」という方法で、1人でアンサンブルを楽しむこともできます。

[Repeat] (リピート)ボタンで1曲を繰り返し再生させたり(22ページ)、「SongRepeat (ソングリピート)」で全曲を連続再生させたり(80ページ)することもできます。

曲名が画面の表示範囲を超えている場合、D [+]ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-]ボタンを押します。

画面右下に「↓」や「↑」が表示される場合があります。この場合、D [+]ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-]ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりすることができます。

フォルダー

ファイルを種類別に分けて入れておく入れ物です。

フォルダー名が長い場合(13文字以上)、コンピューターであらかじめ短い名称に変更しておくとう便利です。フォルダー名の表示について詳しくは、「困ったときは」(109ページ)を参照してください。

2. 選曲する

C [-][+] ボタンで、曲/フォルダーを選びます。

曲名の左には、曲の種類を示すアルファベットと曲番号、フォルダー名の左には、曲の種類を示すアルファベットとフォルダーであることを示す「DIR」が表示されます。曲の種類を示すアルファベットの意味は、39ページをご覧ください。

3. 再生をスタートさせる

^{プレイ/ポーズ}
[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。

弾くと同時に再生をスタートする(シンクロスタート)

曲を再生させながらご自身も演奏する場合、鍵盤を弾くと同時に再生をスタート(シンクロスタート)させることができます。

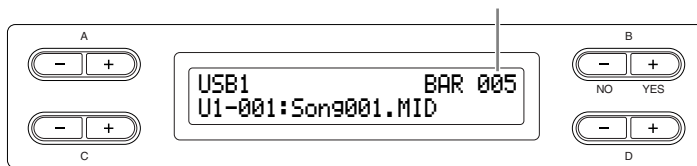
^{ストップ}
[STOP]ボタンを押したまま[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、[PLAY/PAUSE]ボタンのランプが点滅し、シンクロスタート待機状態になります。

このあと鍵盤を弾くと、同時に再生もスタートします。

待機状態で[STOP]ボタンを押すと、シンクロスタートは解除されます。

選曲画面のB [- (NO)][+ (YES)]ボタンで、再生中でもストップ中でも、小節を進めたり(早送り)戻したり(巻き戻し)することができます。

再生中の小節数表示



再生しながら、演奏することもできます。この場合、録音された音色とは違う音色をパネルで選ぶと、再生音と違う音色で演奏することができます。その場合、[SONG BALANCE]^{バランス}スライダーで手弾き音と再生音の音色バランスを調節することができます(37ページ)。

^{ソングセレクト}
[SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。

テンポを調節する

再生スタート前でも再生中でも、^{テンポ} [TEMPO] ^{ダウン} [DOWN] ^{アップ} [UP]ボタンを押してテンポを変更することができます。[DOWN][UP]ボタンを同時に押すと、録音された曲に設定されているテンポに戻ります。

[SONG SELECT]ボタンを押すと、選曲画面に戻ります。

4. 再生をストップする

再生が終了すると、自動的にストップし、曲の先頭に戻ります。

途中でストップする場合は、[STOP]ボタンを押します。[PLAY/PAUSE]ボタンを押すと、押した位置で一時停止します。

5. 基本画面に戻る

^{エグジット}
[EXIT]ボタンを押します。

再生といっしょにメトロノームを使うこともできます。この場合、再生をストップすると、メトロノームも同時に止まります。

曲の再生中に、C [+]ボタンを押すと次の曲、C [-]ボタンを押すと前の曲の再生がスタートします。

各パートの再生をオン/オフする

再生中でも停止中でも、ランプが点灯しているパートのボタンを押すと、ランプが消灯し、そのパートのデータが再生されなくなります。ボタンを押すごとに再生のオン/オフが切り替わります。

再生をオフにしたパートをご自身で弾くこともできます。

[FILE/SONG SETTING] (ファイル/ソングセッティング)の「Song Repeat (ソングリピート)」(80ページ)や「PhraseMark (フレーズマーク)」(80ページ)を使って、部分練習をすることもできます。

この楽器では、[RIGHT]、[LEFT]に対して曲中の適切なチャンネル(パート)が自動的に割り当てられます。したがって、[RIGHT]にチャンネル1以外、[LEFT]にチャンネル2以外が割り当てられることがあります。

再生できる曲データの種類

CLP-380で再生できる曲データの各種フォーマット

CLP-380は、下記の基準に該当する曲データを再生することができます。

シーケンスフォーマット

- SMF (スタンダードMIDIファイル)フォーマット0と1
- ESEQ (イーシーク)

CLP-380で録音した演奏データは、SMF (スタンダードMIDIファイル)フォーマット0で保存されます。

音色配列フォーマット

- XG音色配列
- GMシステムレベル1音色配列
- GMシステムレベル2音色配列
- DOC音色配列

CLP-380のパネルのXG音色を使って録音した演奏データは、XG対応の他の楽器でも再生することができます。XG音色一覧は119ページに掲載されています。

フロッピーディスクのフォーマット

- MS-DOS 720KBフォーマットの3.5インチ2DDディスク
- MS-DOS 1.44MBフォーマットの3.5インチ2HDディスク

各フォーマットについて詳しくは、110ページの「データの互換性について」をご覧ください。

シーケンスフォーマットとは演奏データの記録方式の種類です。

音色配列フォーマットとは音色を指定する番号のつけ方の種類です。

この楽器ではGSフォーマットの曲も再生できます。ただし、元のデータと同じ音色を再現できないことがあります。

ディスクのフォーマットとはデータが書き込まれているディスクの書式の種類です。

インターネットダイレクト接続機能

楽器を直接インターネットに接続することで、専用サイトの曲データをご利用いただくことができます。さまざまなジャンルのたくさんの曲データをお楽しみください。最新のサービス内容については、下記URLをご確認ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/idc/clp/>

ここでは、コンピューターや通信規格に関する用語が出てきます。わからない用語については、「用語集(インターネットダイレクト接続機能)」(66ページ)を参照してください。

操作中、操作をスムーズに導くために、画面に各種のメッセージ(情報や確認など)が表示されることがあります。その意味や対処の方法については、「メッセージ一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(64ページ)や「メッセージ一覧」(101ページ)をご覧ください。

楽器をインターネットに接続する

ブロードバンドルーターまたはルーター機能付きモデムを通して、楽器を常時接続回線(ADSL、光ファイバー、ケーブルテレビインターネット)に接続します。

ブロードバンドルーターやルーター機能付きモデムの設定は楽器上では行なえませんので、楽器を接続する前に、コンピューターで設定をしてください。

また、インターネットで通信を行なうために、あらかじめインターネットプロバイダーと契約をしておく必要があります。

インターネットの契約内容によっては、2台以上の機器(コンピューター、楽器など)に接続できない場合があります。この場合、楽器を接続することはできません。契約内容をご確認ください。

1. お使いのコンピューターの接続環境を下記から選ぶ

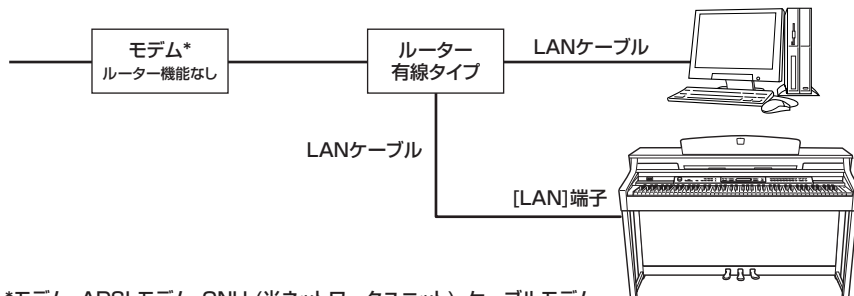
接続環境	参照ページ
有線LAN (DHCP使用)をお使いの場合	51ページ
無線LAN (無線LANイーサネットコンバーター)(DHCP使用)をお使いの場合	52ページ
無線LAN (USB無線LANアダプター)(DHCP使用)をお使いの場合	53ページ
有線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー使用)や無線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー使用)をお使いの場合	58ページ

有線LAN (DHCP使用)をお使いの場合

2. 準備をすすめる

楽器の電源をオフにしたあと、接続例のイラストのとおり接続します。LANケーブルは[LAN]端子に接続してください。接続が終わったら、楽器の電源をオンにします。

接続例: 有線で接続する(ルーター機能のないモデムを使用)



*モデム=ADSLモデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの

LANケーブル

接続例: 有線で接続する(ルーター機能のついているモデムを使用)



*モデム=ADSLモデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの

LANケーブル

3. インターネットに接続する

インターネット設定は不要です。

ブロードバンドルーターまたはルーター機能付きモデムと楽器をLANケーブルで接続するだけでインターネットへの接続が可能です。

インターネット上の曲を再生できます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(68ページ)をご覧ください。

[LAN]端子の位置は、「各部の名前と機能」(10ページ)でご確認ください。

モデムの種類によっては、複数の機器(コンピューターと楽器など)を接続するために、別途イーサネットハブが必要な場合もあります。

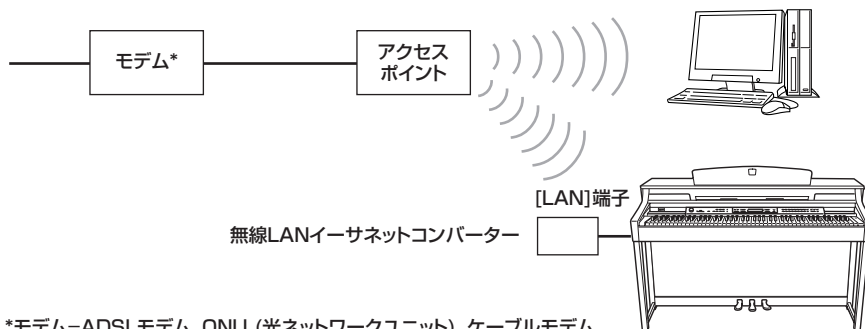
一般的なブロードバンドルーターや一般的なルーター機能付きモデムにはDHCP機能があります。

無線LAN (無線LANイーサネットコンバーター) (DHCP使用)をお使いの場合

2. 準備をすすめる

楽器の電源をオフにしたあと、接続例のイラストのとおり接続します。無線LANイーサネットコンバーターは[LAN]端子に接続してください。接続が終わったら、楽器の電源をオンにします。

接続例: 無線で接続する(無線LANイーサネットコンバーターを使用)



*モデム=ADSLモデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの

無線LANイーサネットコンバーター

3. インターネットに接続する

インターネット設定は不要です。

無線LANイーサネットコンバーターを楽器に接続するだけでインターネットへの接続が可能です。

インターネット上の曲を再生できます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(68ページ)をご覧ください。

[LAN]端子の位置は、「各部の名前と機能」(10ページ)でご確認ください。

無線LANイーサネットコンバーターの動作確認済みリストを確認できます。下記URLをご覧ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/usb>

モデム、アクセスポイントのどちらかにルーター機能が必要です。

無線LANイーサネットコンバーターはアクセスポイントなどの設定が必要です。設定方法については使用される製品の取扱説明書をご覧ください。

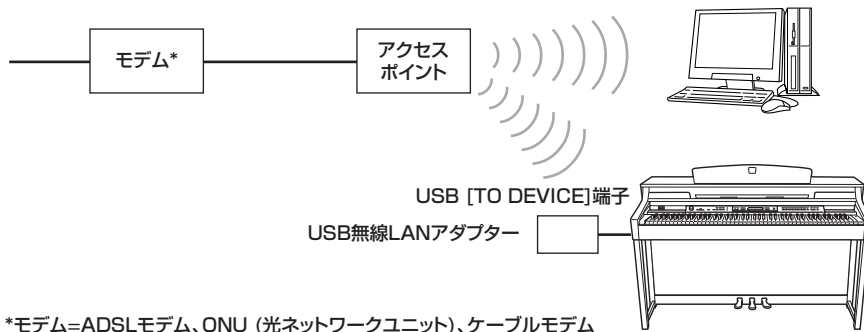
無線LAN (USB無線LANアダプター) (DHCP使用) をお使いの場合

USB [TO DEVICE]端子については、133ページの「USB [TO DEVICE]端子ご使用上の注意」を参照してください。

2. 準備をすすめる

楽器の電源をオフにしたあと、接続例のイラストのとおり接続します。USB無線LANアダプターはUSB [TO DEVICE]端子に接続してください。接続が終わったら、楽器の電源をオンにします。

接続例: 無線で接続する (USB無線LANアダプターを使用)



*モデム=ADSLモデム、ONU (光ネットワークユニット)、ケーブルモデム

ご用意いただくもの	USB無線LANアダプター
-----------	---------------

3. インターネットに接続する

インターネットに接続するためのインターネット設定を行なう必要がありますので、「インターネット設定(アクセスポイントに関する設定)について」(54ページ)の設定を行なってください。

インターネット設定の操作には、いくらか時間がかかる場合があります。

USB [TO DEVICE]端子の位置は、「各部の名前と機能」(10ページ)でご確認ください。

USB無線LANアダプターの動作確認済みリストを確認できます。下記URLをご覧ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/usb>

モデム、アクセスポイントのどちらかにルーター機能が必要です。

この楽器が対応している暗号化方式はWEPのみです。

インターネット設定(アクセスポイントに関する設定)について

はじめてインターネットダイレクト接続機能を利用するときには、楽器上でインターネット設定(アクセスポイントに関する設定)を行ない、その設定を保存します。設定は、アクセスポイント側で設定している内容と同じにしてください。設定した内容はメモをしておく便利です。

アクセスポイント	SSID		
	チャンネル		
暗号化		する	しない
WEPキー			—


有線LAN (DHCP使用)、無線LAN (無線LANイーサネットコンバーター)(DHCP使用)、または有線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー使用)や無線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー使用)をお使いの場合は、ここでの設定は不要です。

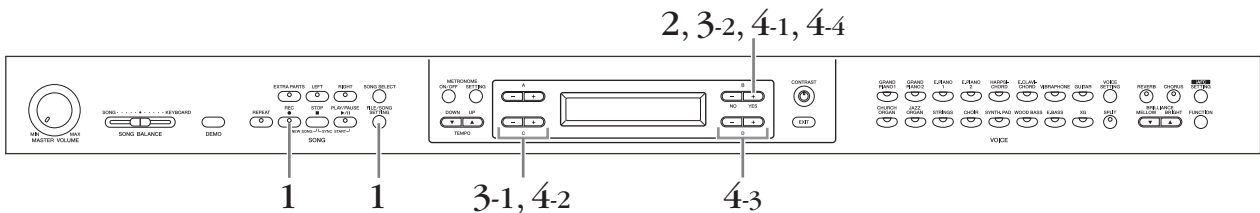
アクセスポイント側の設定の確認や変更については、アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

操作の前にお使いのアクセスポイントの電源をオンにしてください。

アクセスポイントを検索し、選択する

アクセスポイントの検索を行なうことで、楽器の近くにあるアクセスポイントが表示され、SSIDとチャンネルが自動的に設定されます。

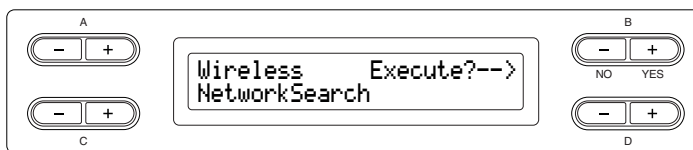
このとき画面に鍵のアイコン「」が表示されている場合は、暗号化する設定になっていますので、WEPキーを入力してください。



1. インターネット設定画面を表示させる

ファイル/ソングセッティング レコード
 [FILE/SONG SETTING] ボタンを押したまま [REC] ボタンを押します。

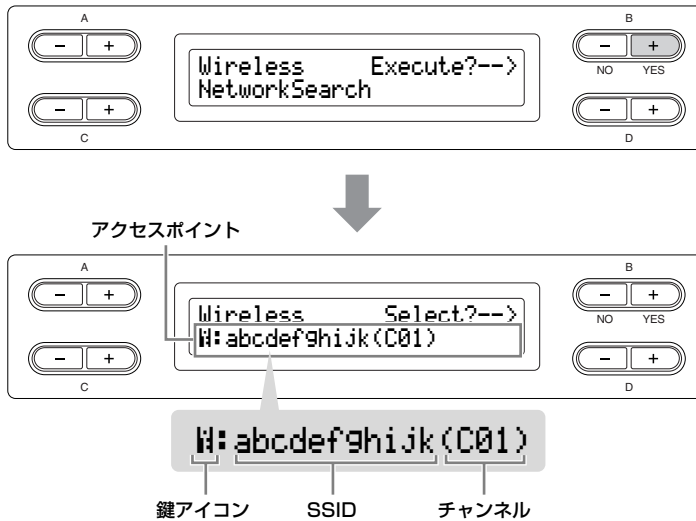
インターネット設定画面



2. アクセスポイントを検索する

B [+ (YES)] ボタンを押して、検索を開始します。

アクセスポイントが画面に表示されます。



アクセスポイントから電波が届かない場合は、表示されません。

3. アクセスポイントを選択する

3-1 C [-][+] ボタンを押して、お使いのアクセスポイントを表示します。

3-2 B [+ (YES)] ボタンで選択します。

鍵アイコンが表示されていない場合

お使いのアクセスポイントは暗号化される設定になっていませんので、アクセスポイントの設定はここで終わりです。「設定内容を保存し、接続を確認する」(57ページ)へ進んでください。

アクセスポイントを暗号化したい場合には、お使いのアクセスポイント側で設定を変更し、あらためて設定してください。

鍵アイコン「W」が表示されている場合

アクセスポイントが暗号化される設定になっていますので、手順4でWEPキーを入力してください。

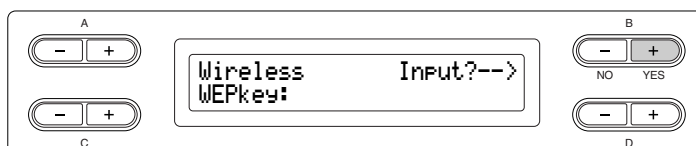
アクセスポイントが画面の表示範囲を超えている場合、D [+] ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。

元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-] ボタンを押します。C [-] と [+] ボタンを同時に押し、アクセスポイントの先頭に戻ります。

4. WEPキーを入力する

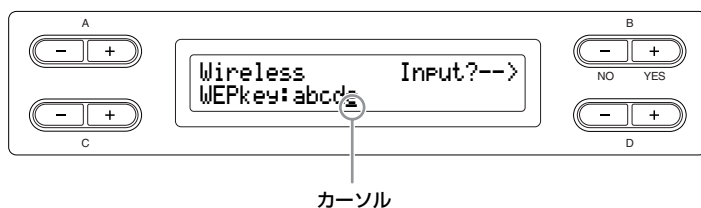
4-1 B [+ (YES)] ボタンを押して、WEPキー設定画面を表示します。

WEPキー設定画面



4-2 C [-][+] ボタンを押して、文字を入力する位置にカーソルを移動します。

4-3 D [-][+]ボタンを押して、カーソル位置に文字を入力します。



スペースの挿入

スペースを入れたい位置にカーソルを合わせ、C [-]と[+]ボタンを同時に押します。

文字の削除

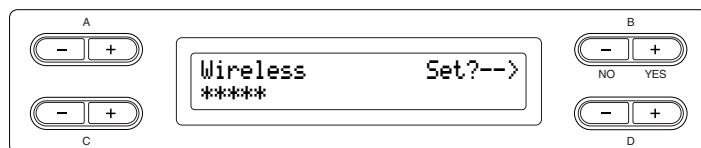
削除したい文字にカーソルを合わせ、D [-]と[+]ボタンを同時に押します。

WEPキー入力時の文字一覧

a~z	A~Z	@	.	-	_	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	/	:	;	<	=	>	?
[¥]	^	`	{		}	~	0~9															

4-4 B [+ (YES)]ボタンを押して、入力した文字を確定します。

WEPキーは「*****」と表示されます。



4-5 B [+ (YES)]ボタンを押して、文字列を確定します。

入力をキャンセルするには、B [- (NO)]ボタンを押してWEPキーの設定画面に戻ります。

入力したWEPキーが正しくない場合は、入力し直してください。

設定内容を保存し、接続を確認する

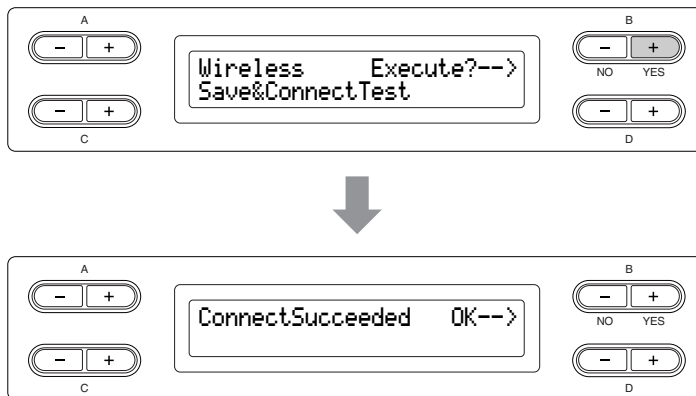
インターネット設定の内容を保存し、接続を確認します。

5. 設定内容の保存と接続の確認を行なう

B [+ (YES)] ボタンを押します。

インターネット設定(アクセスポイントに関する設定)が保存されたあと、自動的に接続確認の結果が画面に表示されます。

設定内容の保存と接続確認画面



保存をせずに電源を切ると、設定した内容は消えてしまいますので、設定や変更をしたあとは必ず保存を行ないます。

6. インターネット設定画面に戻る

B [- (NO)] ボタン、B [+ (YES)] ボタン、または^{エグジット}[EXIT] ボタンを押します。

7. 基本画面に戻る

[EXIT] ボタンを押します。

インターネット上の曲を再生できます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(68ページ)をご覧ください。

有線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー使用) または無線LAN (固定IPアドレス、プロキシサーバー 使用)をお使いの場合

USB記憶装置の取り扱いについては、最初に「USB記憶装置の取り扱いについて」(133ページ)をお読みください。

2. 準備をすすめる

接続方法については、下記URLをご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/idc/clp/>

3. インターネットに接続する

インターネットに接続するためのインターネット設定を行なう必要がありますので、「インターネット設定について」(58ページ)の設定を行なってください。

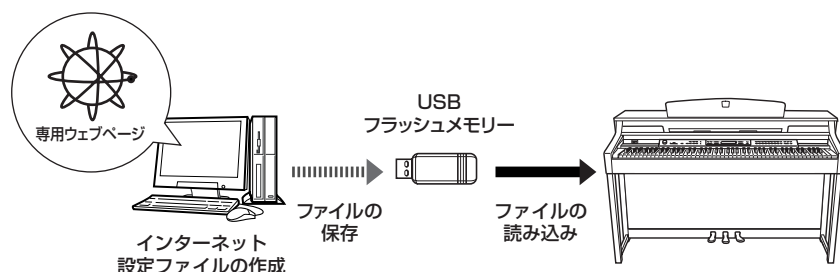
インターネット設定の操作には、いくらか時間がかかる場合があります。

この楽器には、USB [TO DEVICE]端子が2つありますが、2つの端子に接続したUSB記憶装置を同時に使用することはできません。パネル左にある[SELECT]スイッチで使用する端子を選んでください。また、USB記憶装置を2つの端子に接続した状態だと、USB記憶装置の動作が不安定になることがあります。

インターネット設定について

はじめてインターネットダイレクト接続機能を利用するときは、以下の流れでインターネット設定を行ないます。コンピューターで作成した設定ファイルを楽器に読み込むしくみですので、各種設定の入力といった操作を楽器本体で行なう必要はありません。詳しくは、下記URLをご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/idc/clp/>



有線LAN (DHCP使用)、無線LAN (無線LANイーサネットコンバーター)(DHCP使用)、または無線LAN (USB無線LANアダプター)(DHCP使用)をお使いの場合は、ここでの設定は不要です。

インターネット設定ファイルを作成する

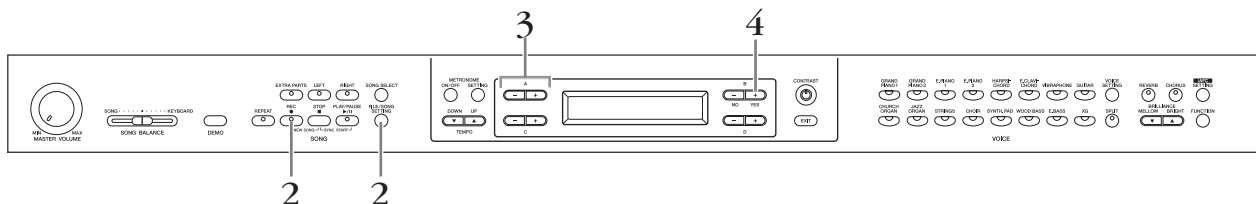
1. 設定ファイルを作成する

コンピューターを使って専用ウェブページでインターネット設定ファイルを作成します。作成方法については、下記URLをご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/idc/clp/>

インターネット設定ファイルを読み込む

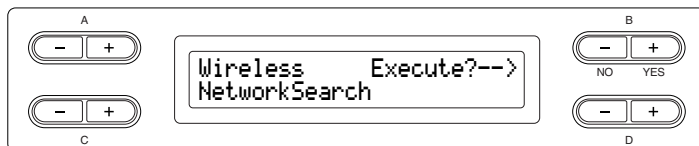
上記で作成したインターネット設定ファイルを楽器に読み込み、インターネット設定を行ないます。



2. インターネット設定画面を表示させる

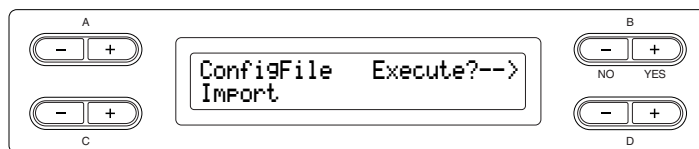
ファイル/ソング設定 ファイル/ソングセッティング [FILE/SONG SETTING] ボタンを押したまま レコード [REC] ボタンを押します。

インターネット設定画面



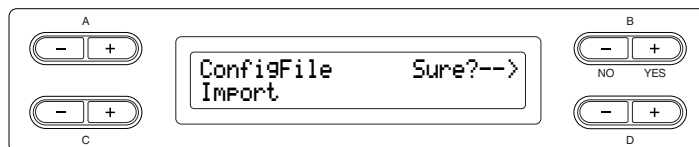
3. 読み込みモードに入る

インターネット設定ファイル「config.n21」が保存されているUSBフラッシュメモリーを楽器に接続したあと、A [-][+] ボタンを押します。



4. 読み込みをスタートする

B [+ (YES)] ボタンを押すと「シュア Sure?-->」(いいですか?)と確認表示が出ます。



もう一度B [+ (YES)] ボタンを押すと「エグゼキューティング Executing」(実行中)の表示になり、データが読み込まれ「コンプリート Completed」(完了)の表示が3秒間出て、接続確認画面になります。「接続を確認する」(60ページ)にすすんでください。

読み込みを中止する場合は「Sure?-->」が表示されたら、B [- (NO)] ボタンを押します。

インターネット設定ファイル「config.n21」は専用ウェブページで作成します(58ページ)。

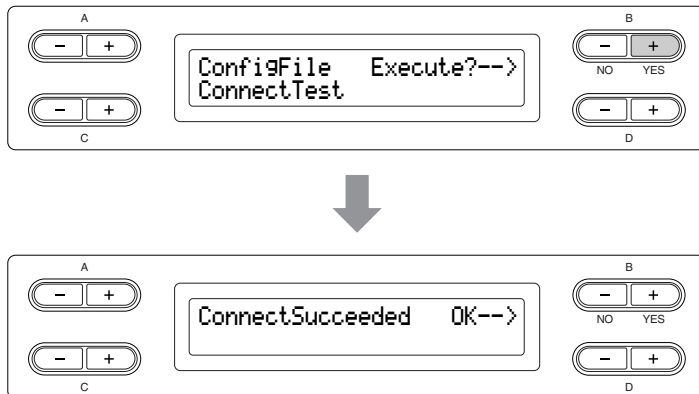
インターネット設定ファイルはバックアップ(100ページ)をとっておくことをおすすめします。

接続を確認する

5. 接続の確認を行なう

B [+ (YES)] ボタンを押します。

接続確認画面



6. インターネット設定画面に戻る

B [- (NO)] ボタン、B [+ (YES)] ボタン、または^{エグジット}[EXIT] ボタンを押します。

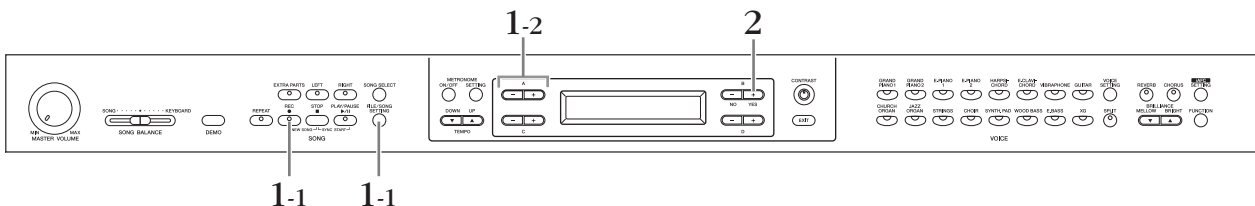
7. 基本画面に戻る

[EXIT] ボタンを押します。

インターネット上の曲を再生できます。再生方法については、「インターネットの曲を聞く」(68ページ)をご覧ください。

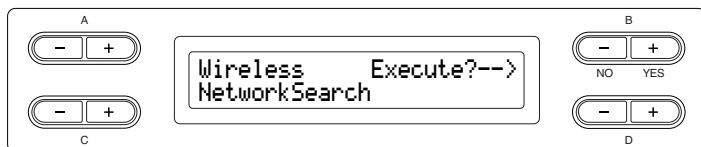
接続情報を画面に表示する

LAN接続環境、IPアドレスの取得状況、時間情報の取得状況、および電波強度(USB無線LANアダプターをお使いの場合)を楽器の画面で表示できます。



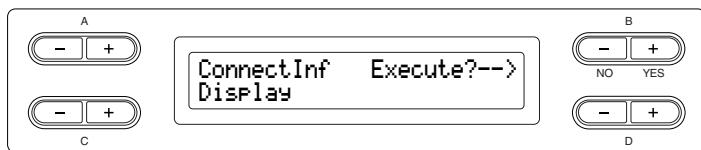
1. 接続情報画面を表示させる

1-1 ファイル / ソングセッティング [FILE/SONG SETTING] ボタンを押したまま レコード [REC] ボタンを押します。



1-2 A [-][+] ボタンを押します。

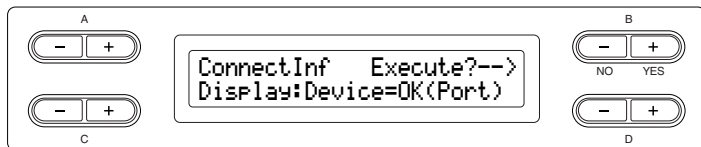
接続情報画面



ディスプレイ 画面左下に「Display」が表示されていないときは、C [-][+] ボタンを押して「Display」を表示させます。

2. 接続情報を表示する

B [+ (YES)] ボタンを押します。



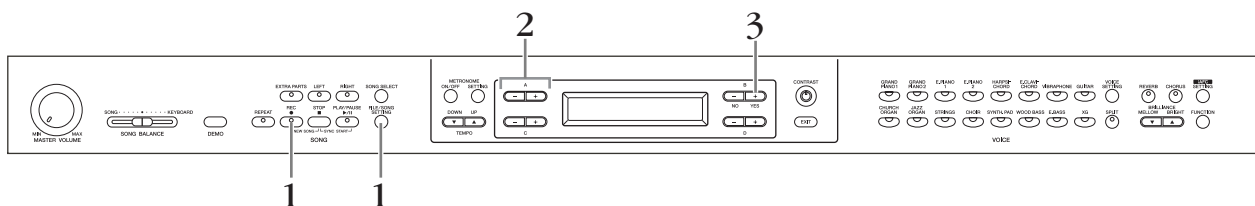
表示	内容
Device=	LAN接続環境
IP=	IPアドレスの取得状況
Time=	時間情報の取得状況
Strength=	電波強度(USB無線LANアダプターをお使いの場合)

接続の状態によっては接続情報は表示されません(画面にNoInfoと表示されます)。

接続情報が画面の表示範囲を超えている場合、D [+]ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻る(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-]ボタンを押します。

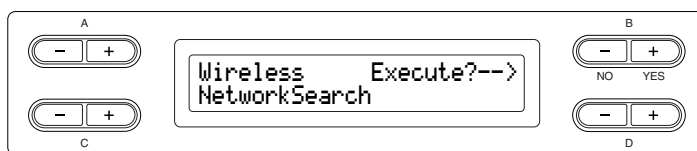
接続情報ファイルを書き出す

現在の接続情報の詳細をテキストファイルとしてUSBフラッシュメモリーに書き出します。書き出した情報はコンピュータで見ることができます。



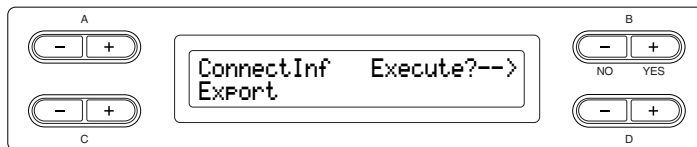
1. 画面を表示させる

ファイル/ソングセッティング レコード
 [FILE/SONG SETTING]ボタンを押したまま [REC]ボタンを押します。



2. 書き出しモードに入る

USBフラッシュメモリーを楽器に接続したあと、A [-][+]ボタンを押します。



エクスポート
 画面左下に「Export」が表示されていないときは、C [-]ボタンを押して「Export」を表示させます。

3. 書き出しをスタートする

B [+ (YES)]ボタンを押します。

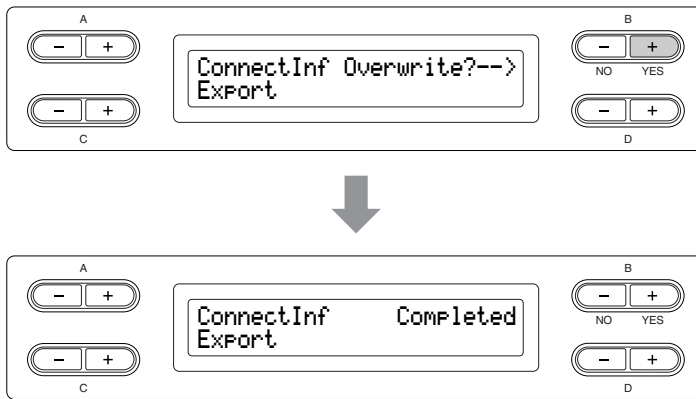
接続情報ファイルの上書き

以前書き出したファイルがUSBフラッシュメモリーに保存されているときには、画面右上に「Overwrite?-->」(上書きしますか?)と表示されます。

もう一度B [+ (YES)]ボタンを押すと、^{オーバーライト}「Executing」(実行中)の表示になり、データが^{エグゼキューティング}上書きされ「Completed」(完了)の表示が3秒間出て、接続情報の書き出し画面に戻ります。

上書きを中止する場合は「Overwrite?-->」のところでB [- (NO)]ボタンを押します。

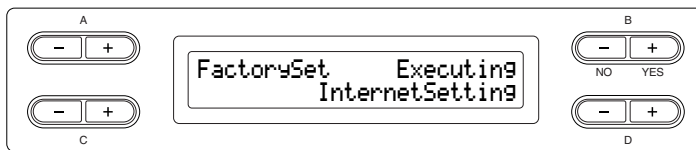
接続情報ファイルを使ってインターネット設定(54、58ページ)はできません。接続情報ファイルは閲覧のみ可能です。



書き出しが完了したあと、USBフラッシュメモリーをコンピューターに接続して、「ConnectionInfo.txt」ファイルを開くと接続情報の詳細が確認できます。

インターネット設定を初期設定に戻す

ファイル/ソングセッティング [FILE/SONG SETTING] ボタンと プレイ/ポーズ [PLAY/PAUSE] ボタンを同時に押しながら、楽器の電源を入れると、インターネット設定が初期設定に戻ります。



! 初期設定に戻すと、インターネット設定で行なったすべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。初期設定に戻す前にインターネット設定のバックアップをとっておくことをおすすめします。バックアップ方法は「データのバックアップ」(100ページ)をご覧ください。

インターネット初期設定一覧

DHCP	使用する
無線LAN	設定なし
プロキシサーバー	設定なし

インターネットダイレクト接続機能のインターネット設定は、「初期設定に戻す」(100ページ)では初期設定に戻りません。

クッキー (Cookie) もあわせて初期設定に戻ります。

メッセージ一覧(インターネットダイレクト接続機能)

ABC順に掲載しています。

メッセージ	内容
CannotOperate Exit-->	<p>「操作ができませんでした」</p> <p>録音した曲が保存されていないため、操作ができませんでした。「録音した曲を保存する「Save (セーブ)」(41ページ)の手順に従い曲を保存してください。</p>
CheckingLANAdaptor	<p>「楽器に接続中のUSB無線LANアダプターが使用可能かどうか確認しています」</p> <p>5分ほどかかる場合もあります。しばらくお待ちください。</p>
Communication Error (xxxx) Exit-->	<p>「インターネットとの通信に失敗しました」</p> <p>「楽器をインターネットに接続する」(50ページ)にて、接続が正しいか確認してください。 *エラーの内容については、「エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(65ページ)を参照してください。</p>
Communication Timeout (xxxx) Exit-->	<p>「通信タイムアウトが発生しました」</p> <p>何回も発生するようであれば、通信が不安定な場合があります。お使いの通信環境を確認してください。</p>
ConnectError (xxxx) Exit-->	<p>「インターネットへの接続確認に失敗しました」</p> <p>「楽器をインターネットに接続する」(50ページ)にて、接続が正しいか確認してください。 *エラーの内容については、「エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(65ページ)を参照してください。</p>
Connecting UnknownLANAdaptor	<p>「動作確認されていないUSB無線LANアダプターでインターネットへ接続中です」</p>
ConnectionError (xxxx) Exit-->	<p>「インターネットへの接続に失敗しました」</p> <p>「楽器をインターネットに接続する」(50ページ)にて、接続が正しいか確認してください。 *エラーの内容については、「エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(65ページ)を参照してください。</p>
ConnectSucceeded OK-->	<p>「インターネットへの接続確認に成功しました」</p>
ErrorOccurred (xxxx) Exit-->	<p>「エラーが発生しました」</p> <p>「エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(65ページ)を参照してください。</p>
Invalid LANAdaptor Exit-->	<p>「楽器に接続中のUSB無線LANアダプターは、動作しません」</p> <p>動作確認済みのUSB無線LANアダプターをお使いください(53ページ)。</p>
InvalidWEPkey	<p>「入力したWEPキーが正しくありません」</p> <p>正しいWEPキーを入力し直してください。</p>
NoWirelessAdaptor	<p>「USB無線LANアダプターを認識できません」</p> <ul style="list-style-type: none"> USB無線LANアダプターが正しく楽器に接続されていることを確認してください。 パネル左にある[SELECT]スイッチで、使用するUSB [TO DEVICE]端子を選んでください。
UnknownLANAdaptor OK-->	<p>「楽器に接続中のUSB無線LANアダプターは、動作確認されていません」</p>
WirelessNetwork NotFound	<p>「ワイヤレスネットワークが見つかりませんでした」</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。また、アクセスポイントの設定が正しいか確認してください。 アクセスポイントの電波が確実に届く位置に設置してください。アクセスポイントとの距離が遠すぎたり、障害物があったりすると、電波が届かないことがあります。

(xxxx)にはエラーコードが表示されます。各エラーコードの内容については、「エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)」(65ページ)を参照してください。

エラーコード一覧(インターネットダイレクト接続機能)

エラーコード	内容
1110	「USB無線LANアダプター、LANケーブル、またはルーターが認識できません」 USB無線LANアダプター、LANケーブル、またはルーターが正しく接続されているか確認してください。また、劣化したケーブルを使用していないか確認してください。
1120	「楽器に接続中のUSB無線LANアダプターは、動作しません」 動作確認済みのUSB無線LANアダプターをお使いください(53ページ)。
1130	「アクセスポイントとの通信に失敗しました」 <ul style="list-style-type: none"> 無線LANの各設定項目が正しいか確認してください。 アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。また、アクセスポイントの設定が正しいか確認してください。 アクセスポイントの電波が確実に届く位置に設置してください。アクセスポイントとの距離が遠すぎたり、障害物があったりすると、電波が届かないことがあります。
1250~1252	「ルーターからのIPアドレスの取得に失敗しました」 <ul style="list-style-type: none"> (有線LANをお使いの場合) LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、劣化したケーブルを使用していないか確認してください。 (無線LANをお使いの場合) 無線LANの各設定項目が正しいか確認してください。 ルーターの電源が入っているか確認してください。また、DHCPが使用できる設定になっているかルーターの設定を確認してください。 一度ルーターの電源を入れ直してお試しください。
1410~1415	「専用サイトとの接続に失敗しました」 <ul style="list-style-type: none"> ルーターの電源が入っているか確認してください。また、ルーターの設定が正しいか確認してください。 (固定IPアドレス、プロキシサーバーをお使いの場合) LANの各設定が正しいか確認してください。 一度ルーターの電源を入れ直してお試しください。
2001	「通信エラーが発生しました」 通信環境を確認してください。しばらく時間をおいてやり直してください。
2042	「通信タイムアウトが発生しました」 <ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、劣化したケーブルを使用していないか確認してください。 ルーターの電源が入っているか確認してください。また、ルーターの設定が正しいか確認してください。 一度ルーターの電源を入れ直してお試しください。
2404	「サーバーが見つかりませんでした」 しばらく時間をおいてやり直してください。
3001	「ファイルへのアクセスエラーです」
3002	「ファイルが読み取れません」
3003	「ファイルに書き込めません」
3004	「メディアの空き容量がありません」
3011	「指定したフォルダーの空き容量がありません」
3019	「フォーマットされていないメディアです」 メディアをフォーマットしてお使いください。フォーマットを行なうとすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
3020	「メディアにライトプロテクトがかかっています」

用語集(インターネットダイレクト接続機能)

アクセスポイント	無線LANで電波のやりとりを行なうときの基地局となる機器。無線LANを有線LANにつなぐ役割も持つ。
インターネット	コンピューター間の通信規格にもとづいて、世界中のコンピューターや携帯電話などを接続した、巨大なネットワークのこと。
ウェブページ	サイトを構成する各ページのこと。
クッキー (Cookie)	ユーザーがウェブページとの間でやりとりした内容を記憶するしくみ。以前訪れたウェブページで、そのときに入力した内容があらかじめ表示されるのはこのしくみによるもの。
サイト	正式には「ウェブサイト」という。ひとまとまりに公開されているウェブページ群。たとえば、「http://www.yamaha.co.jp/」で始まるウェブページを「ヤマハのサイト」と呼ぶ。
サーバー	ある特定のサービスを提供するシステムやコンピューターのこと。
ダウンロード	ネットワークを通じて、サーバーに保存されているデータをお使いのコンピューターや携帯電話などに転送すること。この楽器では、ウェブサイトからソングなどのデータを楽器に送ることを指す。
ブラウザ	ウェブページを閲覧するためのソフトウェア。この楽器では、ウェブページの内容を表示する画面のこと。
プロキシ	LAN (内部のネットワーク)とインターネット(外部のネットワーク)の境にあって、直接インターネットに接続できない内部ネットワークのコンピュータに代わって、「代理」としてインターネットとの接続を行なうコンピュータのこと。内部ネットワークを外部からの不正アクセスから守ったりするのに使われる。
ブロードバンド	大容量のデータを高速に通信できるインターネット接続サービスのこと。ADSL、光ファイバーなどがある。
プロバイダー	インターネット接続サービスを提供する通信事業者。インターネットに接続するには、プロバイダーと契約する必要がある。
ホームページ	ブラウザ起動時(インターネット機能に入ったとき)に最初に表示されるウェブページのこと。または、ウェブサイトのトップページのことを指すこともある。
無線LAN	ケーブルを使わず、無線通信でデータの送受信をするLANのこと。
無線LANイーサネットコンバーター	LAN端子を搭載したデジタル家電、プリンター、ゲーム機などを簡単に無線化するための機器。
モデム	一般の電話回線とコンピューターをつなぐための装置。コンピューターから送られてくるデジタル信号を、電話回線に流す音声信号に変換したり、電話回線を通じて聞こえてくる音声信号をデジタルデータに変換したりする。
リンク	ウェブページ上のボタンや文字列に埋め込まれたほかの文章や画像などの位置情報のこと。リンクのある場所をクリックするとリンク先へジャンプする。
ルーター	異なるネットワーク同士を相互接続するための機器。たとえば家庭などで複数のコンピューターを同時にインターネットに接続して、それぞれに異なるはたらきをさせたい場合に必要となる。一般的にはモデムとコンピューターの間に接続するが、モデム自体にルーター機能が内蔵されているものもある。
ワイヤレスネットワーク	電波を使って信号の送受信を行なう無線ネットワーク。
DHCP	インターネットに接続するたびに、コンピューターにIP アドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てるための規格。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューター 1台1台に割り振られた、ネットワーク上の所在を示す識別番号。
LAN	同じ建物の中にあるコンピューター同士を専用のケーブルで接続し、データをやり取りするネットワーク。Local Area Networkの略。
SSL	インターネット上で情報を暗号化して送受信する通信規格。プライバシーに関わる情報がもれるのを防ぐ。
URL	インターネット上に存在するウェブページの場所を指し示す文字列。通常は、「http://」で始まる。
WEP	無線LAN時の暗号化技術。無線LANのアクセスポイントと端末に共通のWEPキーを設定することで、データを暗号化し、第三者による傍受を防ぐ。

困ったときは(インターネットダイレクト接続機能)

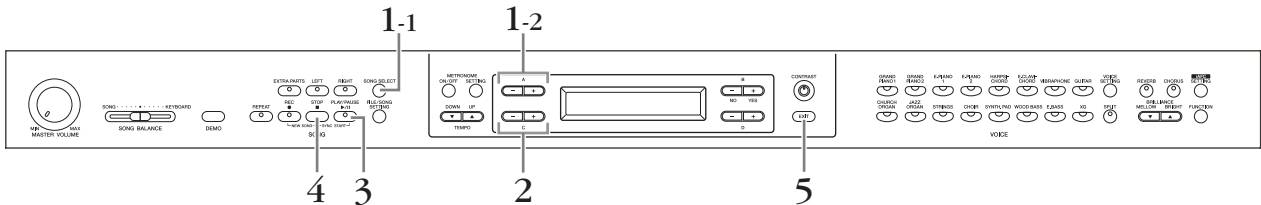
現象	考えられる原因	解決法
[LAN]端子を使ってインターネットに接続できない。	[LAN]端子にLANケーブルが確実に差し込まれていません。	[LAN]端子にLANケーブルが確実に差し込まれているか確認してください。
	劣化したケーブルを使用しています。	新しいケーブルを使用してください。
無線LANイーサネットコンバーターを使ってインターネットに接続できない。	無線LANイーサネットコンバーターの設定が正しくありません。	楽器上で無線LANイーサネットコンバーターの設定はできません。設定方法については、使用される無線LANイーサネットコンバーターの取扱説明書をご覧ください。
USB無線LANアダプターが楽器に認識されない。	楽器に接続中のUSB無線LANアダプターは、動作確認されていません。	USB無線LANアダプターの動作確認済みリストを確認してください(53ページ)。
	使用するUSB [TO DEVICE]端子が選ばれていません。	この楽器には、USB [TO DEVICE]端子が2箇所(パネルの左と前板の端子パネル)あります。パネル左にある[SELECT]スイッチで、使用する端子を選んでください(133ページ)。
固定IPアドレス、プロキシサーバーなどの環境でインターネットに接続できない。	必要なインターネット設定を行っていない。	「インターネット設定について」(58ページ)の設定を行なってください。
無線LANの環境でアクセスポイントに接続できない。	アクセスポイントが、SSIDを隠す設定になっています。	SSIDを隠す設定を一時的に外し、インターネット設定を行なってください。
	アクセスポイントが、MACアドレスをフィルタリングする設定になっています。	(USB無線LANアダプターをお使いの場合)使用されるUSB無線LANアダプターのMACアドレスをアクセスポイントに登録してください。 (無線LANイーサネットコンバーターをお使いの場合)MACアドレスについては、使用される無線LANイーサネットコンバーターの取扱説明書をご覧ください。
	アクセスポイントが、WEP以外の暗号化形式で設定されています。	この楽器が対応している暗号化方式はWEPのみです。
	アクセスポイントから楽器に電波が届いていません。	アクセスポイントからの電波が確実に届く位置に設置してください。アクセスポイントとの距離が遠すぎたり、障害物があったりすると、電波が届かないことがあります。
	大文字、小文字の間違いなど、WEPキーが正しくありません。	大文字、小文字を確認するなど、正しいWEPキーを入力し直してください。

インターネットの曲を聞く

楽器を直接インターネットに接続することで、専用サイトの曲データをご利用いただくことができます。さまざまなジャンルのたくさんの曲データをお楽しみください。最新のサービス内容については、下記URLをご確認ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/net/idc/clp/>

クラビノーバの文字の種類「CharacterCord (キャラクターコード)」を再生する曲のファイル名に適した種類に設定してください(46ページ)。

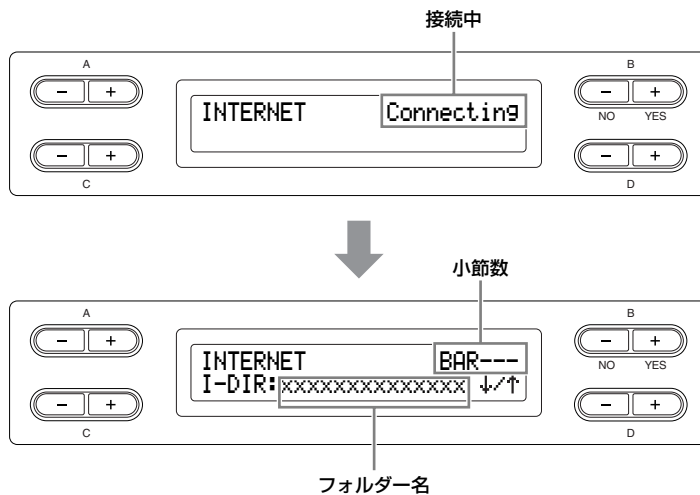
インターネットへの接続については、初めに「楽器をインターネットに接続する」(50ページ)をお読みください。



1. 選曲画面を表示させる

1-1 楽器をインターネットに接続したあと、^{ソングセレクト} [SONG SELECT] ボタンを押します。

1-2 A [-][+] ボタンを押して、^{インターネット} 「INTERNET」 を選びます。
画面にインターネット上のフォルダー名が表示されます。



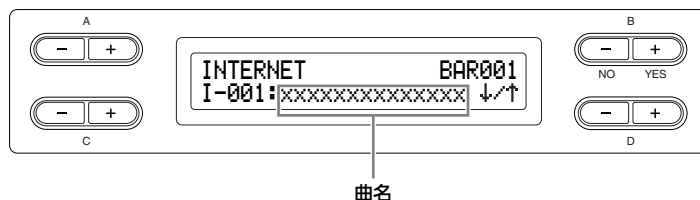
INTERNET (インターネット) インターネットのさまざまなジャンルのたくさんの曲データをお楽しみいただけます。

2. 選曲する

2-1 C [-][+] ボタンで、フォルダーを選びます。

D [+] ボタンでフォルダーの中に移動したり、D [-] ボタンを押して一つ上のフォルダーに移動したりしてください。

2-2 C [-][+] ボタンで、曲を選びます。



曲名が画面の表示範囲を超えている場合、D [+] ボタンで1文字ずつ右へずらすことができます。元に戻す(1文字ずつ左へずらす)ときは、D [-] ボタンを押します。

3. 再生をスタートさせる

プレイ/ポーズ
[PLAY/PAUSE] ボタンを押します。

4. 再生をストップする

ストップ
[STOP] ボタンを押します。

5. 基本画面に戻る

エグジット
[EXIT] ボタンを押します。

インターネットの曲でシンクロス
タート(21ページ)、パート設定オ
ン/オフ(21ページ)、ABリピート
(22ページ)の機能を使用する場
合は、一度、曲の再生を行って
から設定してください。

再生に合わせて、ご自身で鍵盤
を弾くこともできます。
手弾き音の音色も変えられます。

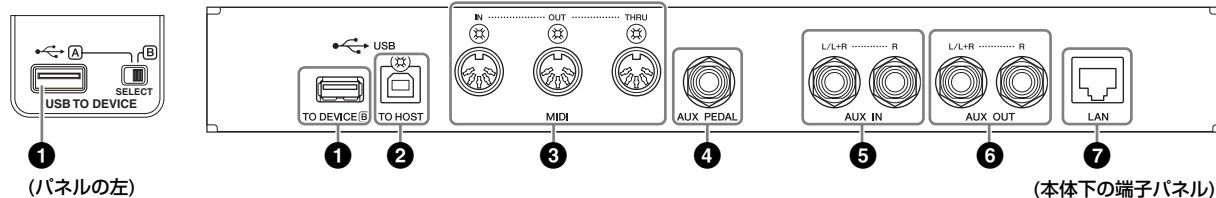
インターネットの曲ではテンポの
調整ができない場合があります。
選ばれている曲のテンポになり
ます。

インターネットの曲の再生デー
タは、MIDI送信されません。

他の機器と接続する

端子について

❗ 外部のオーディオ機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。



① USB [TO DEVICE]端子 (A/B)

USB記憶装置を接続する端子です。
詳しくは72ページの「USB記憶装置を接続する」をご覧ください。

② USB [TO HOST]端子

コンピューターに直接接続する端子です。
詳しくは73ページの「コンピューターと接続する」をご覧ください。

③ MIDI [IN][OUT][THRU]端子

MIDI接続専用のケーブルを使って外部MIDI機器と接続する端子です。

MIDI [IN]: MIDIデータを受信する端子です。

MIDI [OUT]: MIDIデータを送信する端子です。

MIDI [THRU]: MIDI INから入ってきたデータをそのまま送信する端子です。

MIDIについて

MIDI (Musical Instrument Digital Interface)とは、MIDI端子を備えたMIDI機器間や、MIDI機器とコンピューター間で演奏データや命令を送受信しあうための、各種送受信データ様式についての統一規格です。MIDI機器間(MIDI機器とコンピューター間)でMIDIデータを送受信することにより、クラビノーバから外部のMIDI機器の演奏をコントロールしたり、外部のMIDI機器やコンピューターからクラビノーバをコントロールしたりすることができます。

④ [AUX PEDAL]端子

別売のフットコントローラーFC7や、フットスイッチFC4/FC5を接続する端子です。FC7を使うと、演奏中に手弾き音のボリュームをコントロールして演奏に抑揚を付けたり、いろいろな機能を設定して度合いをコントロールしたりすることができます。FC4/FC5を使うと、いろいろな機能を設定して、オン/オフをコントロールすることができます。

機能の設定は、[FUNCTION]の「AuxPedalFunc」で行ないます(95ページ)。

また、SONG [PLAY/PAUSE]の機能を割り当てることもできます(96ページ)。

❗ ペダルの抜き差しは、電源を切った状態で行なってください。

楽器本体のUSB端子には、USB [TO HOST]端子とUSB [TO DEVICE]端子の2種類があります。どちらもUSB端子ですが、形状/用途が違いますので、接続するときに間違えないようご注意ください。(端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。)

ヤマハMIDIケーブル

MIDI 01 (長さ 1m)

MIDI 03 (長さ 3m)

MIDI 15 (長さ 15m)

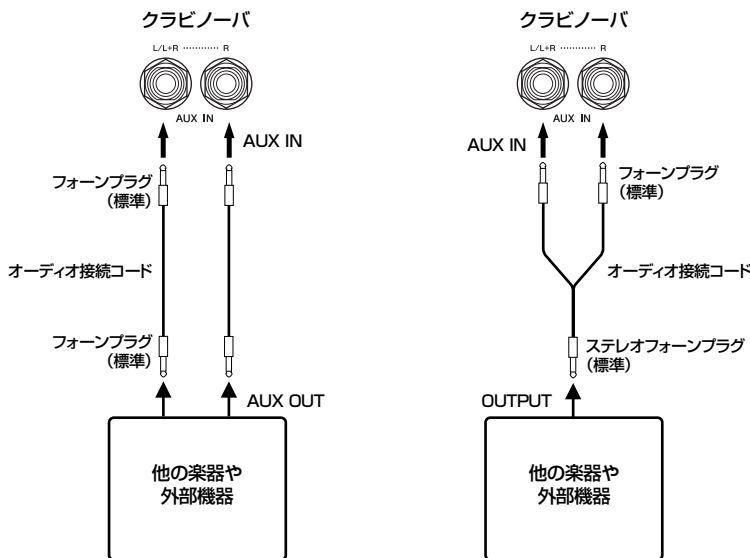
MIDIでは、演奏データや命令を、数値に置き替えたデータで送受信します。

MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるデータや命令だけが送受信できることとなります。共通に扱えるデータや命令は、データリストの「MIDIインプリメンテーションチャート」を照合して調べることができます。データリストのダウンロードについては、6ページの「データリスト」をご確認ください。

5 AUX IN [L/L+R] [R]端子

他の楽器や外部機器の音をクラビノーバ本体のスピーカーから出すことができます。オーディオ接続コードを使って図のように接続します。

! クラビノーバのAUX INを使う場合、電源を入れるときは、外部機器→クラビノーバの順に、電源を切るときは、クラビノーバ→外部機器の順に行ってください。



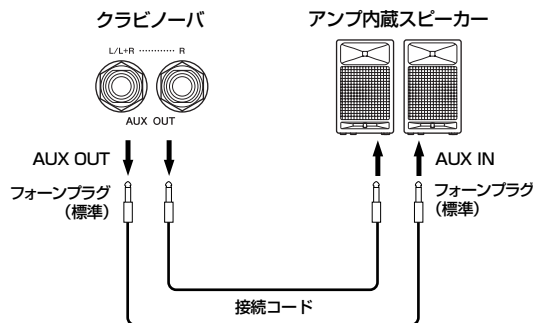
AUX INからの入力音にはクラビノーバ本体の[MASTER VOLUME]は効きますが、[REVERB]や[CHORUS]、[BRILLIANCE](25ページ)は効きません。

モノ入力には、AUX IN [L/L+R] 端子をご使用ください。

6 AUX OUT [L/L+R] [R]端子

クラビノーバにアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出すことができます。接続コードを使って図のように接続します。

! クラビノーバのAUX OUTを使う場合、電源を入れるときは、クラビノーバ→外部機器の順に、電源を切るときは、外部機器→クラビノーバの順に行ってください。



接続コードおよび接続プラグは抵抗のないものをお使いください。

AUX OUTから出力した音をAUX INに入力しないでください。

AUX OUTから出力した音をAUX INに戻すと、AUX INから入力された音はクラビノーバのスピーカーから出力されます。スピーカーから出力される音は大音量となり音が割れることがありますので、ご注意ください。

モノ出力には、AUX OUT [L/L+R] 端子をご使用ください。

AUX OUT端子に出力される音量は、楽器本体の[MASTER VOLUME]ダイヤルで調節できます。外部スピーカー使用時、本体スピーカーからの音を消したい場合は、スピーカーをOffにしてください(97ページ)。また、本体のスピーカーやヘッドフォンから出力される音の音質は、楽器の使用状況に応じて適切な設定になるように下記表のように自動的に切り替わります。

□ スピーカーが鳴ります。
■ スピーカーは鳴りません。

	AUX OUT端子にプラグを未接続			AUX OUT端子にプラグを接続中		
	スピーカー On	スピーカー Normal (HeadphoneSW)	スピーカー Off	スピーカー On	スピーカー Normal (HeadphoneSW)	スピーカー Off
ヘッドフォン接続中	スピーカーに最適なイコライザー	フラット	フラット	フラット	フラット	フラット
ヘッドフォン未接続	スピーカーに最適なイコライザー	スピーカーに最適なイコライザー	フラット	フラット	フラット	フラット

7 [LAN]端子

楽器を直接インターネットに接続して、曲を再生できます。接続の仕方については、50ページを参照してください。

USB記憶装置を接続する

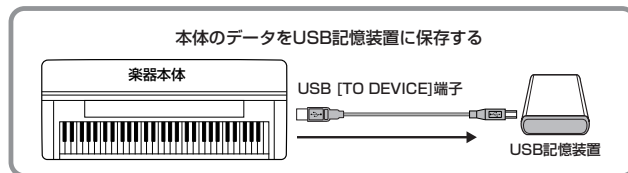
USB記憶装置の接続については、「USB記憶装置の取り扱いについて」(133ページ)をお読みください。

USB記憶装置のデータの表示

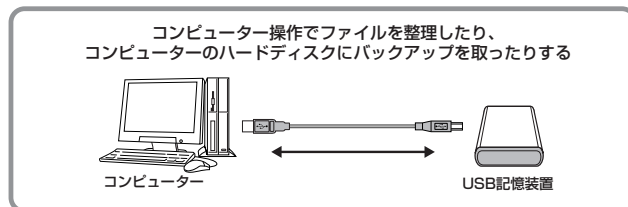
USB記憶装置に入っているデータをクラビノバで表示させるには、[SONG SELECT]
ボタンを押してからA [-][+]ボタンでUSB記憶装置を選びソング選択モードに入るか、
[FILE/SONG SETTING]
ボタンを押してファイル/ソングセッティングモードに入りま
す。すでにこれらのモードに入っていた場合は、[EXIT]
ボタンを押していったんモード
を抜けてから、もう一度入り直します。

コンピューターのハードディスクにバックアップ

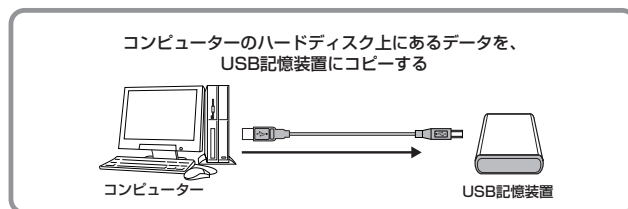
■ 楽器本体で作ったデータをコンピューターのハードディスクにバックアップする
楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したあと、メディアをコンピューターに読み
込ませてファイルを整理したり、コンピューターのハードディスクにコピーすることでバック
アップをとったりできます。



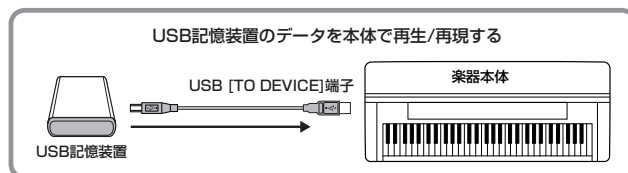
USB記憶装置を楽器本体からはずし、コンピューターへ接続する



■ コンピューター上のデータをUSB記憶装置にコピーして楽器本体で再生/再現する
コンピューターのハードディスクに保存してあるファイルを、USB記憶装置にコピーしたあ
と、それらのファイルを楽器本体で再生/再現できます。
楽器本体で作ったファイルだけでなく、楽器本体以外で作られたスタンダードMIDIファイルな
どを、コンピューターのハードディスクからUSB記憶装置にコピーし、それらを楽器本体の
USB [TO DEVICE]端子に接続して、楽器本体で再生/再現することもできます。



USB記憶装置をコンピューターからはずし、楽器本体へ接続する



コンピューターと接続する

USB [TO HOST]端子やMIDI端子とコンピューターを接続して、コンピューターとデータをやりとりしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。この場合、ドライバーとアプリケーションソフトウェアをコンピューターにインストールしてください。

クラビノーバとコンピューターを接続する場合、2つの方法があります。

- クラビノーバのUSB [TO HOST] 端子と、コンピューターのUSB端子を使って接続する方法
- クラビノーバのMIDI端子と、コンピューターを、MIDIインターフェース機器を通じて接続する方法

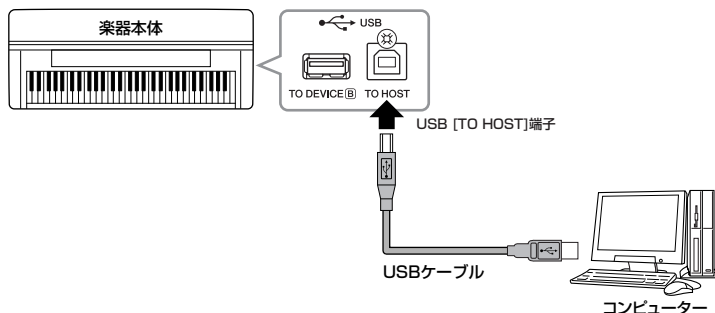
USB端子が付いているコンピューターをご使用の場合は、楽器本体のUSB [TO HOST] 端子との接続をおすすめします。

詳しくは以下をご覧ください。

- ❗ コンピューターと接続する場合は、最初にクラビノーバの電源を切り、コンピューター上のすべてのアプリケーションソフトを終了した状態でケーブルを接続し、そのあとクラビノーバの電源を入れてください。
- ❗ クラビノーバとコンピューターをつないで使用しない場合は、必ずUSB端子からケーブルを抜いてください。ケーブルを接続したままだと、クラビノーバが正常に動作しないことがあります。

クラビノーバのUSB [TO HOST]端子と、コンピューターのUSB端子を使って接続する方法

クラビノーバのUSB [TO HOST] 端子と、コンピューターのUSB端子を、USBケーブルで接続します。



ドライバーとは

ドライバーとは、コンピューターとそこに接続された機器との、データをやりとりするための仕組みを整えるソフトウェアのことです。コンピューターと楽器をUSBケーブルで接続する場合は、コンピューターにUSB-MIDIドライバーをインストールします。USB-MIDIドライバーは、同梱のCD-ROMからインストールできます。

- 楽器本体はUSB接続後しばらくしてから通信を開始します。
- 楽器本体とパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せずに直接接続してください。
- 使用するパソコンやシーケンズソフトウェアでの必要なMIDI設定については、それぞれの取扱説明書をお読みください。

USB [TO HOST]端子ご使用時の注意

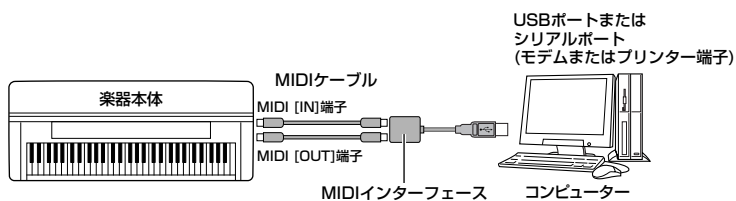
USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや楽器本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。



- USBケーブルは、ABタイプのものでご使用ください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。
- USB [TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、USB [TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

クラビノーバのMIDI端子と、コンピューターを、MIDIインターフェイス機器を通じて接続する方法

クラビノーバのMIDI端子と、コンピューターを、MIDIインターフェイス機器を通じて接続します。



ヤマハMIDIケーブル
MIDI 01 (長さ 1m)
MIDI 03 (長さ 3m)
MIDI 15 (長さ 15m)

詳細設定について

クラビノーバをさらに便利に使いこなすために、曲の録音/再生、メトロノーム、音色、iAFCなどの詳細設定ができます。各設定項目の基本操作については、78ページをご覧ください。

設定項目の一覧表

曲の録音/再生に関する詳細設定 [FILE/SONG SETTING]

ファイル/ソングセッティング

項目	表示		ページ
録音した曲を保存する	Save	セーブ	41
保存用メモリーやUSB記憶装置の曲を削除する	Delete	デリート	42
曲名を変更する	Rename	リネーム	42
曲をコピーする	Copy	コピー	43
曲を移動する	Move	ムーブ	44
フォルダーを作る	MakeDir	メイクディレクトリ	44
USB記憶装置をフォーマットする	Format	フォーマット	45
メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	SongAutoOpen	ソングオートオープン	45
表示文字の種類を切り替える	CharCode	キャラクターコード	46
曲単位で繰り返し再生する	SongRepeat	ソングリピート	80
フレーズマークを使って再生する	PhraseMark	フレーズマーク	80
音符のタイミングのずれを修正する	Quantize	クオンタイズ	81
最初の発音からすぐにスタートさせるかどうかを決める	QuickPlay	クイックプレイ	81
各チャンネルの中身を聞いて確かめる	ChannelListen	チャンネルリッスン	82
1チャンネル単位でデータを消去する	ChannelClear	チャンネルクリア	82
録音開始方法を指定する	RecStart	レックスタート	32
録音終了方法を指定する	RecEnd	レックエンド	32
パート3～16に録音する	RecExtraPartsCh	レックエキストラパーツチャンネル	34

メトロノームに関する詳細設定 METRONOME [SETTING]

メトロノーム セッティング

項目	表示		ページ
メトロノームの拍子設定	TimeSignature	タイムシグネチャー	83
メトロノームの音量設定	MetronomeVolume	メトロノームボリューム	83
メトロノームの音色設定	MetronomeSound	メトロノームサウンド	83

ボイスセッティング

音色に関する詳細設定 [VOICE SETTING]

*が付いている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。

項目	表示		ページ
オクターブの設定*	Octave	オクターブ	85
音量の設定*	Volume	ボリューム	85
左右の音の位置の設定*	Pan	パン	85
音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)	Detune	デチューン	85
リバーブタイプの設定	ReverbType	リバーブタイプ	86
リバーブのかかり具合の設定*	ReverbSend	リバーブSEND	86
コーラスタイプの設定	ChorusType	コーラスタイプ	86
コーラスのかかり具合の設定*	ChorusSend	コーラスSEND	86
コーラスオン/オフの設定	ChorusOnOff	コーラスオンオフ	87
DSPタイプの設定*	DSP Type (DSP)	DSPタイプ (DSP)	87
ビブラフォンのビブラート効果のスピードの設定*	VibeRotorSpeed (RotorSpeed)	バイブロータースピード (ロータースピード)	87
ビブラフォンのビブラート効果オン/オフの設定*	VibeRotorOnOff (RotorOnOff)	バイブローターオンオフ (ローターオンオフ)	87
ロータリースピーカーの回転スピードの設定*	RotarySpeed (Rot.Speed)	ロータリースピード	88
DSP効果のかかり具合の設定*	DSPDepth	DSPデプス	88
音の明るさを調節する*	Brightness	ブライツネス	88
レゾナンス効果を調節する*	HarmonicContent (Harmonic)	ハーモニックコンテンツ (ハーモニック)	88
イコライザーの低域周波数を調節する*	EQ LowFreq. (EQ L.Freq)	EQ ローフリケンシー	88
イコライザーの低域ゲイン値(増幅量)を調節する*	EQ LowGain	EQ ローゲイン	89
イコライザーの高域周波数を調節する*	EQ HighFreq. (EQ H.Freq)	EQ ハイフリケンシー	89
イコライザーの高域ゲイン値(増幅量)を調節する*	EQ HighGain	EQ ハイゲイン	89
タッチに対する音量変化度合の設定*	TouchSense	タッチセンス	89

アイエーエフシーセッティング

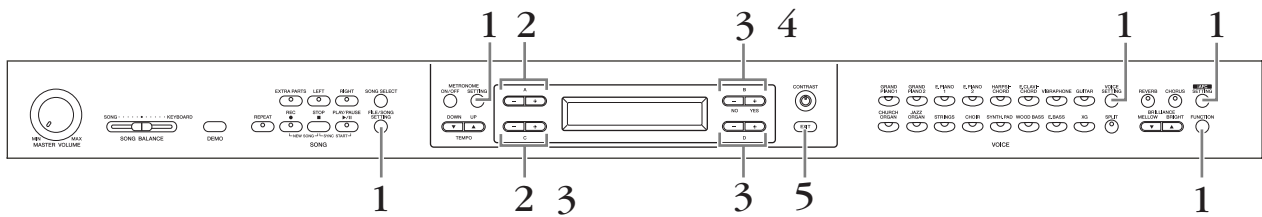
iAFCに関する詳細設定 [iAFC SETTING]

項目	表示		ページ
iAFCオン/オフの設定	iAFC	iAFCオン/オフ	90
ダイナミックダンパーエフェクトのかかり具合の設定	DynDmpFX Depth	ダイナミックダンパーエフェクトデプス	90
スペーシャルエフェクトのかかり具合の設定	SpatialFX Depth	スペーシャルエフェクトデプス	90
iAFCのキャリブレーション(自動調整)をする	Calibration	キャリブレーション	91
キャリブレーション設定を初期設定に戻す	iAFC Default	iAFCデフォルト	91

その他の詳細設定 [FUNCTION]

項目	表示		ページ
キー (調) を変える	Transpose	トランスポーズ	92
タッチ感度の選択	TouchResponse	タッチレスポンス	92
音の高さの微調整	Tune	チューン	93
ピアノ音色の調律曲線の選択	PianoTuningCurve	ピアノチューニングカーブ	93
音律の選択	Scale	スケール	93
スプリットポイントを決める	SplitPoint	スプリットポイント	94
右ペダルの機能設定	RPedalFunc	ライトペダルファンクション	94
まん中のペダルの機能設定	CPedalFunc	センターペダルファンクション	94
左ペダルの機能設定	LPedalFunc	レフトペダルファンクション	94
外部ペダルの機能設定	AuxPedalFunc	AUXペダルファンクション	95
右ペダルの機能オン/オフ設定	RPedalOnOff	ライトペダルオンオフ	95
まん中のペダルの機能オン/オフ設定	CPedalOnOff	センターペダルオンオフ	95
左ペダルの機能オン/オフ設定	LPedalOnOff	レフトペダルオンオフ	95
外部ペダルの機能オン/オフ設定	AuxPedalOnOff	AUXペダルオンオフ	95
SONG [PLAY/PAUSE]機能のペダルへの割り当て	PedalPlay/Pause	ペダルプレイ/ポーズ	96
外部ペダルのタイプ選択	AuxPedalType	AUXペダルタイプ	96
ダンパーペダルが効き始めるポイントの設定	HalfPedalPoint	ハーフペダルポイント	96
ソフトペダルのかかり具合の設定	SoftPedalDepth	ソフトペダルデプス	96
弦共鳴音(ストリングレゾナンス)のかかり具合の設定	StringResonanceDepth	ストリングレゾナンスデプス	96
ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定	SustainSamplingDepth	サステインサンプリングデプス	96
キーオフ音の音量設定	KeyOffSamplingDepth	キーオフサンプリングデプス	97
ピッチベンド幅の設定	PitchBendRange	ピッチベンドレンジ	97
スピーカーのオン/オフを切り替える設定	Speaker	スピーカー	97
MIDI送信チャンネルの設定	MidiOutChannel	MIDIアウトチャンネル	97
MIDI受信チャンネルの設定	MidiInChannel	MIDIインチャンネル	98
ローカルコントロールオン/オフの設定	LocalControl	ローカルコントロール	98
手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定	MidiOutSelect	MIDIアウトセレクト	98
MIDI受信するデータの種類の設定	ReceiveParameter	レシーブパラメーター	99
MIDI送信するデータの種類の設定	TransmitParameter	トランスミットパラメーター	99
パネル初期設定データの送信	InitialSetup	イニシャルセットアップ	99
電源オフ時に保存する項目の設定	MemoryBackup	メモリーバックアップ	99
初期設定に戻す	FactorySet	ファクトリーセット	100
データのバックアップ	FullBackup	フルバックアップ	100
バージョンを確認する	Version	バージョン	100

詳細設定の操作



1. セットアップモードに入る

設定したい内容に応じて、^{ファイル/ソングセッティング} [FILE/SONG SETTING] ボタン、^{メトロノーム} METRONOME ^{セッティング} [SETTING] ボタン、^{ボイスセッティング} [VOICE SETTING] ボタン、^{セッティング} [iAFC SETTING] ボタン、^{ファンクション} [FUNCTION] ボタンを押し、それぞれのセッティングモードに入ります。

これ以降いつでも^{エグジット} [EXIT] ボタンを押すとセッティングモードを抜けることができます。

2. 設定する項目または音色パートを選ぶ

セッティングボタン、A [-][+]ボタン、C [-][+]ボタンを必要な回数押します。

3. 選択または設定する

選んだ項目、パートによってさらに項目が画面に表示されますので、B [- (NO)][+ (YES)]ボタン、C [-][+]ボタン、D [-][+]ボタンを押して選択または設定します。

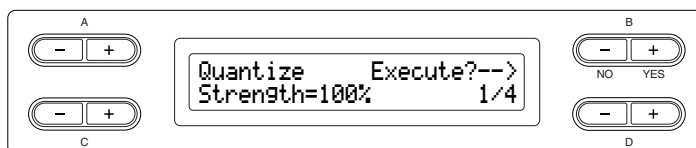
設定値については[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

4. データを書き込む/実行する/記憶させる

項目によって次の方法があります。

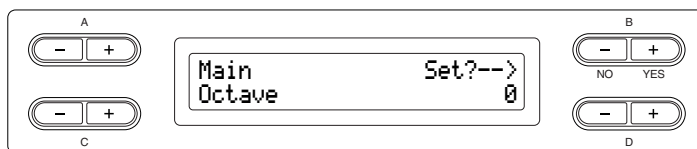
^{エグゼキュート} [Execute?-->] または ^{スタート} [Start?-->] が表示される場合

B [+ (YES)]ボタンを押すと^{シュア} [Sure?-->] (いいですか?)と確認表示が出ます。もう一度B [+ (YES)]ボタンを押すと [Executing] (実行中)の表示になり、データが^{コンプリート} [Completed] (完了)の表示が3秒間出て元の画面に戻ります。中止する場合は [Sure?-->] のところでB [- (NO)]ボタンを押します。 [Completed] が表示されたあとに^{オーバーライト} [Overwrite?-->] (上書きしますか?)が表示された場合は、B [+ (YES)]ボタンを押します。



セット 「Set?-->」が表示される場合

B [+ (YES)]ボタンを押すと「Executing」(実行中)の表示になり、データが記憶されると「Completed」(完了)の表示が3秒間出て元の画面に戻ります。



5. セットモードを抜ける

エグジット
[EXIT]ボタンを押します。

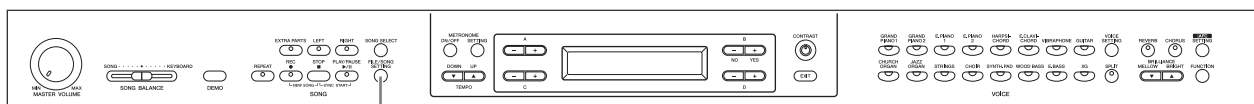
曲の録音/再生に関する詳細設定

[FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)

セーブ キャラクターコード
「Save」～「CharacterCode」までの項目については、38ページの「曲を削除するなどのファイル操作をする [FILE/SONG SETTING](ファイル/ソングセッティング)」を参照してください。

現在選ばれている曲について詳細設定ができます。まず、詳細設定をしたい曲を、「PRESET」、「MEMORY」、
「USB」の中から選んでおきます(47ページ)。

ファイル/ソングセッティング
曲を選んでから、[FILE/SONG SETTING]ボタンを押して、ソングセッティングモードに入ります。



[FILE/SONG SETTING]ボタン

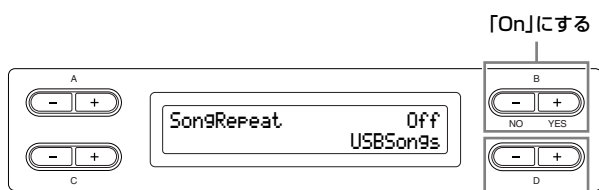
曲を連続再生する

ソングリピート [SongRepeat]

ピアノ50曲(プリセットソング)やUSB記憶装置に入っている曲全曲を連続再生させたり、1曲を繰り返し再生させることができます。

曲の再生をスタートすると、現在パネル上で選ばれている曲が再生されたあと、指定した範囲の曲の連続再生が始まります。
ストップ
[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。

操作は78ページを参照してください。



繰り返し再生する範囲を指定する

選択範囲:

- **USBSongs (USBソングス)**
現在接続されているUSB記憶装置の中の全曲
- **MemorySongs (メモリーソングス)**
現在クラビノーバの本体メモリーに入っている全曲
- **USB+Memory (USB+メモリー)**
「USB」と「MEMORY」の全曲
- **PresetSongs (プリセットソングス)**
ピアノ50曲(プリセット)全曲
- **All (オール)**
「USB」と「MEMORY」と「PRESET」の全曲
- **OneSong (ワンソング)**
現在パネル上で選ばれている1曲

NOTE USB記憶装置が複数接続されている場合は、最後に選んだ曲が入っている記憶装置が繰り返し再生の対象となります。

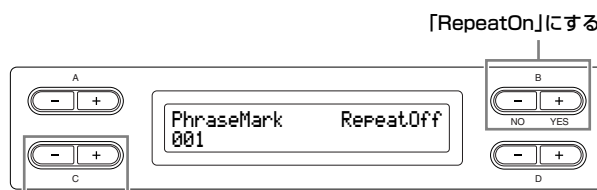
フレーズマークを使って再生する

フレーズマーク [PhraseMark]

フレーズマークが入っている曲が選ばれている場合、楽譜に書いてあるフレーズ番号を指定して、フレーズマークの位置から再生したり、そのフレーズだけ繰り返し再生させることができます。

リピートオン
「Repeat On」の場合は、曲の再生をスタートすると、カウント音に続いて、指定したフレーズの再生がスタートします。
[STOP]ボタンを押すまで繰り返し再生されます。

リピートオフ
「Repeat Off」の場合は、繰り返しなしの通常再生になります。
操作は78ページを参照してください。



フレーズ番号を指定する

フレーズ番号の指定範囲:

- --- (指定なし)
- 0～その曲の最終フレーズ番号

NOTE フレーズマークが入っていない曲が選ばれている場合は、Offに固定となります。

音符のタイミングのずれを修正する

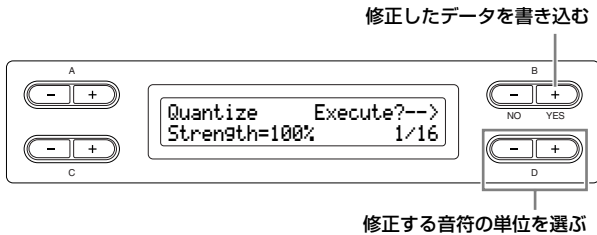
クオンタイズ 「Quantize」

NOTE Quantize (クオンタイズ)=音符などのタイミングを補正する機能

音符のタイミングのずれを修正することができます。たとえば、録音した曲の音符を正確に8分音符や16分音符に修正することができます。

修正や変更は1曲単位で実行されます。

操作は78ページを参照してください。

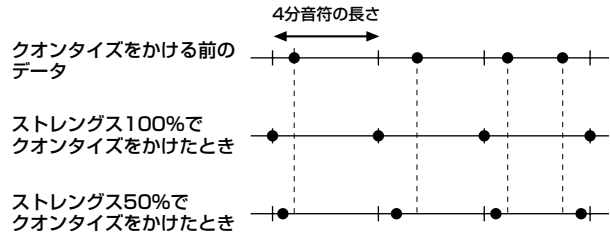


修正する音符の単位の選択範囲:

- 1/4..... 4分音符
- 1/6..... 3連4分音符
- 1/8..... 8分音符
- 1/12..... 3連8分音符
- 1/16..... 16分音符
- 1/24..... 3連16分音符
- 1/32..... 32分音符
- 1/8+1/12..... 8分音符+3連8分音符*
- 1/16+1/12... 16分音符+3連8分音符*
- 1/16+1/24... 16分音符+3連16分音符*

*マークが付いたクオンタイズ設定は、異なる2つの音符の長さを同時に利用してクオンタイズできます。たとえば、8分音符と3連8分音符の両方の音符が録音されているパートに8分音符の長さでクオンタイズをかけると、そのパートのすべての音符が8分音符でクオンタイズされてしまい、3連符のリズムがなくなります。ところが、8分音符+3連8分音符の設定を使うと、8分音符と3連符の両方の音符をクオンタイズできます。

この画面では、クオンタイズをかける強さ(Strength=ストレングス)も設定できます。100%でジャストのタイミングにデータが移動します。100%以下でクオンタイズをかければ、自然な拍のずれを残せます。

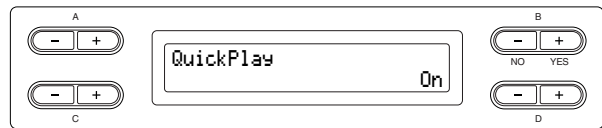


設定範囲: 0%~100%

最初の発音から すぐにスタートさせるかどうかを決める

クイックプレイ 「QuickPlay」

弱起の曲や最初の音の前に空白がある曲を再生する場合に、実際に音が鳴るところから再生するか、休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生するかを選びます。操作は78ページを参照してください。



選択範囲:

On実際に音が鳴るところから再生

Off休符や空白を含めて曲のデータどおりに再生

NOTE 弱起の曲: 小節の途中から始まる曲

各チャンネルの中身を聞いて確かめる

チャンネルリッスン 「ChannelListen」

チャンネル別の中身を確認するために、1チャンネルだけを選んで再生させることができます。実際の音が鳴るところからすぐに再生されます。操作は78ページを参照してください。

B [+ (YES)] ボタンを押している間に
選んだチャンネルだけが再生される



聞きたいチャンネルを選ぶ

選択範囲: Ch1~Ch16

NOTE 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

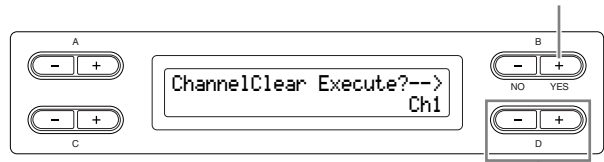
NOTE データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

1チャンネル単位でデータを消去する

チャンネルクリア 「ChannelClear」

1~16チャンネルの中から、1チャンネルずつ選んでデータを消去することができます。操作は78ページを参照してください。

データの消去を実行する



消去したいチャンネルを選ぶ

選択範囲: Ch1~Ch16、ALL (すべてのチャンネル)

NOTE 曲データは16のチャンネルで成り立っています。ひとつのパートにひとつのチャンネルが割り当てられるので、この楽器では、「チャンネル」と「パート」が同じ意味になります。

NOTE データのないチャンネルも含めて全チャンネルが表示されます。

NOTE ALLですべてのチャンネルを消去しても、曲を上書き保存することができます。上書き保存すると、すべてのチャンネルが消去されて曲の設定だけが残ったファイルが保存されます。

レックスタート レックエンド
「RecStart」、 「RecEnd」 については、32ページの「曲を部分的に録音し直す」を参照してください。

レックエキストラパーツチャンネル
「RecExtraPartsCh」 については、34ページの「録音パートを指定して多重録音する」を参照してください。

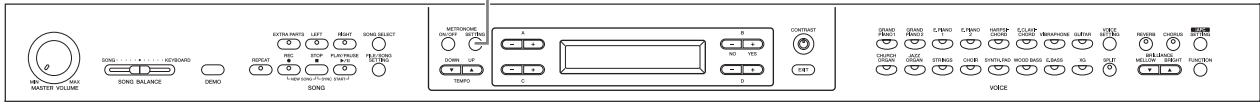
メトロノームに関する詳細設定

METRONOME [SETTING] (メトロノームセッティング)

メトロノームの拍子、音量、音色を設定することができます。

メトロノーム メトロノーム セッティング
METRONOME [SETTING] ボタンを押して、メトロノームセッティングモードに入ります。

METRONOME [SETTING] ボタン

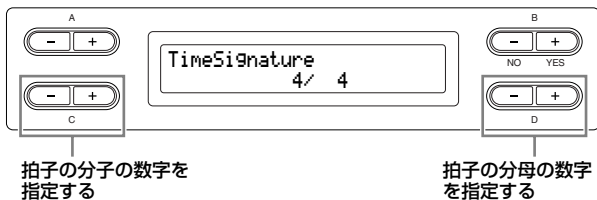


メトロノームの拍子設定

タイムシグネチャー 「TimeSignature」

NOTE TimeSignature (タイムシグネチャー)=拍子記号

操作は78ページを参照してください。



たとえば、3/4拍子にしたい場合は、C [-][+]ボタンで「3」、D [-][+]ボタンで「4」を選びます。

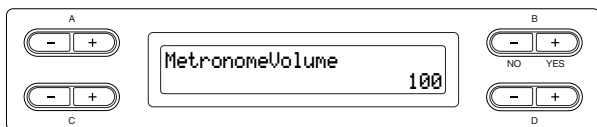
分子の設定範囲: 1~16

分母の設定範囲: 2、4、8

メトロノームの音量設定

メトロノームボリューム 「MetronomeVolume」

操作は78ページを参照してください。

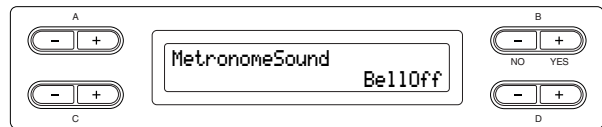


設定範囲: 0~127

メトロノームの音色設定

メトロノームサウンド 「MetronomeSound」

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

- BellOff (ベルオフ)
カチカチというメトロノームの音
- EnglishVoice (イングリッシュボイス)
カチカチ音+英語で「1、2、3、4」
- GermanVoice (ジャーマンボイス)
カチカチ音+ドイツ語で「1、2、3、4」
- JapaneseVoice (ジャパニーズボイス)
カチカチ音+日本語で「1、2、3、4」
- FrenchVoice (フレンチボイス)
カチカチ音+フランス語で「1、2、3、4」
- SpanishVoice (スパニッシュボイス)
カチカチ音+スペイン語で「1、2、3、4」
- BellOn (ベルオン)
カチカチ音+ベル音

NOTE メトロノームを無拍子で鳴らしたい場合は、「BellOff」を選びます。

音色に関する詳細設定

[VOICE SETTING] (ボイス セットィング)

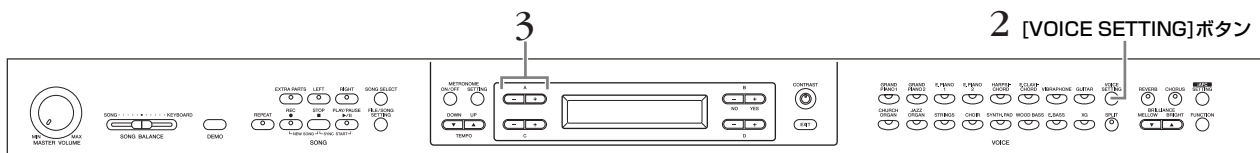
デュアルやスプリット音色に関する諸設定や、音色効果に関する細かい設定をすることができます。音色(または音色の組み合わせ)ごとに個別に設定します。鍵盤を弾いて音を確認しながら変更することができます。

1. 音色を選ぶ

23ページの「音色を楽しむ」を参考に選びます。

2. ボイスセッティングモードに入る

ボイスセッティング
[VOICE SETTING] ボタンを押して、ボイスセッティングモードに入ります。



3. 音色パートを選ぶ

A [-][+] ボタンを押して設定や変更をする音色パートを選びます。
表示される音色パートの範囲は、現在選ばれている音色によって変わります。

Main (メイン)

MAIN側の音色(単音色、スプリットのときに表示されます)。

Main×Layer (メイン×レイヤー)

MAIN側の第1音色と第2音色(MAIN側がデュアルのときに表示されます)。

Left (レフト)

LEFT側の音色(スプリットのときに表示されます)。

Left×Layer (レフト×レイヤー)

LEFT側の第1音色と第2音色(LEFT側がデュアルのときに表示されます)。

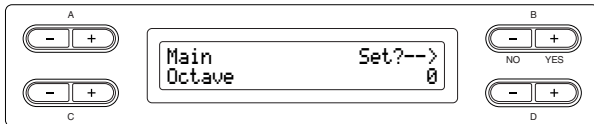
Layer (レイヤー) = 重ね

*がついている項目は、デュアルの場合、第1音色と第2音色についてそれぞれ設定します。
()の中の設定名は、デュアルのときの表示です。

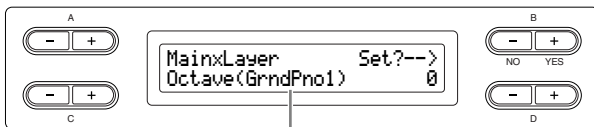
オクターブの設定*

オクターブ
「Octave」

同じ鍵盤の音の高さをオクターブ単位で上下にシフトさせることができます。
操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



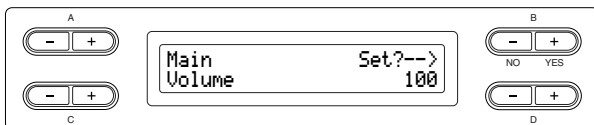
設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: -2 (2オクターブ下)~0 (シフトしない)~+2 (2オクターブ上)

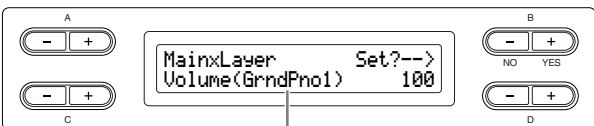
音量の設定*

ボリューム
「Volume」

音色パートごとに音量を設定することができます。
操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: 0~127

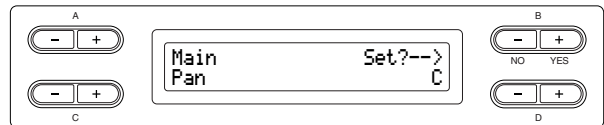
左右の音の位置の設定*

パン
「Pan」

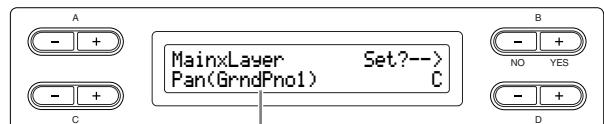
NOTE Pan (パン)=左右に動かす

音が左右のどのあたりから聞こえてくるようにするかを設定します。

操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: L64 (左寄り)~C (中央)~R63 (右寄り)

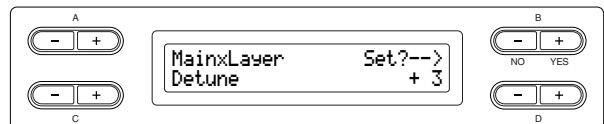
音の高さの微調整(デュアルの場合のみ)

デチューン
「Detune」

NOTE Detune (デチューン)=チューニングをずらす

デュアルで選んだ2音色の音の高さを微妙にずらすことができます。

操作は78ページを参照してください。



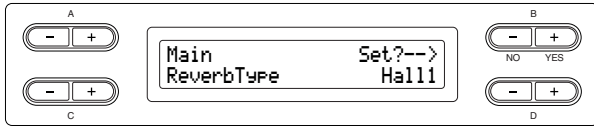
設定範囲: -20~+20 (+方向で第1音色の音が高く、第2音色の音が低くなる。-方向はその逆)

リバーブタイプの設定

リバーブタイプ 「ReverbType」

NOTE 音色パートの「Left (レフト)」と「Left×Layer (レフト×レイヤー)」には設定できません。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

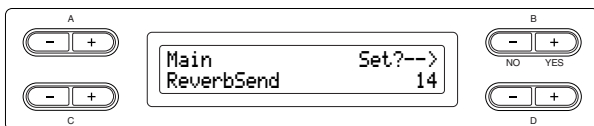
- Room (ルーム)
部屋のような残響
- Hall1 (ホール1)
コンサートホールのような残響
- Hall2 (ホール2)
Hall1より少し長めの残響
- Stage (ステージ)
ソロ楽器向きの残響
- Plate (プレート)
プレートリバーブといわれる金属板による振動を利用したリバーブ装置のような残響

リバーブのかかり具合の設定*

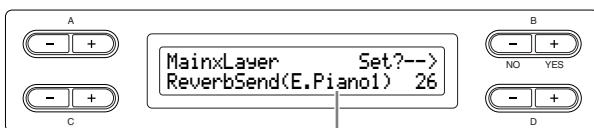
リバーブセンド 「ReverbSend」

NOTE ReverbSendの設定が0の場合はリバーブ効果はかかりません。

操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

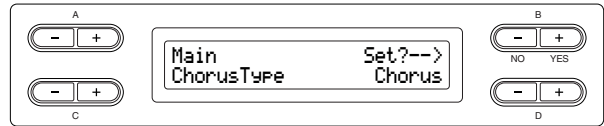
設定範囲: 0~127

コーラスタイプの設定

コーラスタイプ 「ChorusType」

NOTE 音色パートの「Left (レフト)」と「Left×Layer (レフト×レイヤー)」には設定できません。

操作は78ページを参照してください。



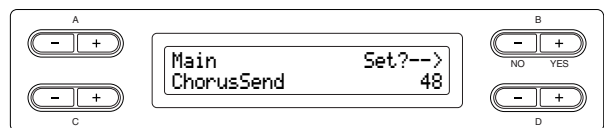
設定範囲:

- Chorus (コーラス)
豊かな広がりを加える効果
- Celeste (セレステ)
うねりと広がりを加える効果
- Flanger (フランジャー)
ジェット機の上昇、下降音のようなうねりを加える効果

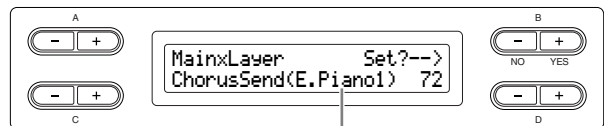
コーラスのかかり具合の設定*

コーラスセンド 「ChorusSend」

操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: 0~127

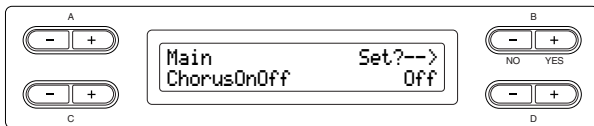
コーラスOn/Offの設定

コーラス オン オフ
[ChorusOnOff]

音色ごとにパネルの[CHORUS]ボタンのOn/Offを設定することができます。音色を選ぶと、ここでの設定に従って自動的に[CHORUS]ボタンのOn/Offが切り替わります。

NOTE ここでOnになっていても、ChorusSend (コーラスセンド)の設定が0の場合はコーラス効果はかかりません。

操作は78ページを参照してください。



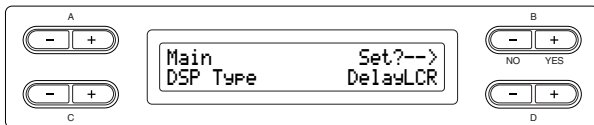
設定範囲: On/Off

DSPタイプの設定*

ディーエスピー タイプ
[DSP Type (DSP)]

リバーブ、コーラス以外の音色効果をここで選んでかけることができます。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

- **DelayLCR (ディレイLCR)**
左、中央、右の3つの位置でかかるディレイ(音を遅らせる)効果
- **DelayLR (ディレイLR)**
左右2つの位置でかかるディレイ効果
- **Echo (エコー)**
「こだま」のようなディレイ効果
- **CrossDelay (クロスディレイ)**
左右2つのディレイを交差してかけた効果
- **Symphonic (シンフォニック)**
豊かで奥行きのある響きを作る効果
- **Rotary (ロータリー)**
ロータリースピーカー (回転スピーカー) を使っているようなビブラート感が得られる効果
- **Tremolo (トレモロ)**
音量が周期的に変化する効果
- **VibeRotor (バイプローター)**
ビブラフォン特有のビブラート
- **AutoPan (オートパン)**
音が左右、前後に揺れ動くような効果
- **Phaser (フェーザー)**
位相を周期的に変化させ、音にうねりを持たせる効果

- **AutoWah (オートワウ)**
ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させる効果
- **SoundBoard (サウンドボード)**
ピアノの響板の響き
- **Off**
効果なし

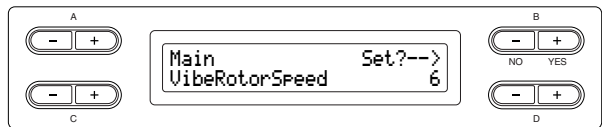
ビブラフォンのビブラート効果の
スピードの設定*バイプロータースピード ロータースピード
[VibeRotorSpeed (RotorSpeed)]

NOTE Rotor (ローター)=電動機などの回転子

上記のDSP TypeでVibeRotorを選んだときだけ表示されます。

ビブラフォン
Vibraphoneを選んでいてVibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果の音揺れのスピードを設定します。

操作は78ページを参照してください。



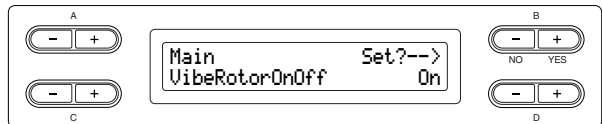
設定範囲: 1~10

ビブラフォンのビブラート効果
On/Offの設定*バイプローター オン オフ ローター オン オフ
[VibeRotorOnOff (RotorOnOff)]

上記のDSPTypeでVibeRotorを選んだときだけ表示されます。

VibeRotorペダルを使っている場合の、ビブラート効果のOn/Offを設定します。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: On/Off

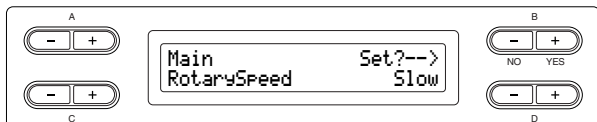
ロータリースピーカーの 回転速度の設定*

ロータリースピード ロータリースピード
「RotarySpeed (Rot.Speed)」

上記のDSPTTypeでRotaryを選んだときだけ表示されます。

ロータリースピーカーエフェクトの回転速度を設定します。

操作は78ページを参照してください。



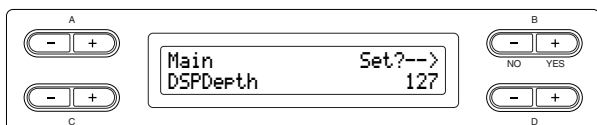
設定範囲: Slow/Fast (スロー/ファスト)

DSP効果のかけ具合の設定*

ディーエスピー デプス
「DSPDepth」

DSP効果(87ページ)のかけ具合を設定します。DSPTTypeの中にはDSPDepthの設定ができないものがあります。

操作は78ページを参照してください。

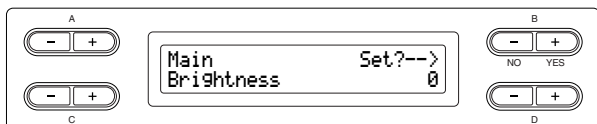


設定範囲: 1 (ほとんどエフェクトのかかっていない元の音だけを出力)~127 (エフェクトのかかった音だけを出力)

音の明るさを調節する*

ブライトネス
「Brightness」

操作は78ページを参照してください。

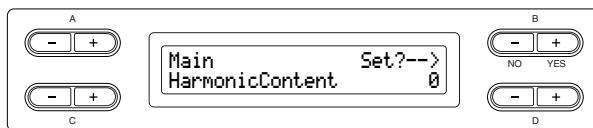


設定範囲: -64~+63

レゾナンス効果を調節する*

ハーモニックコンテンツ ハーモニック
「HarmonicContent (Harmonic)」

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: -64~+63

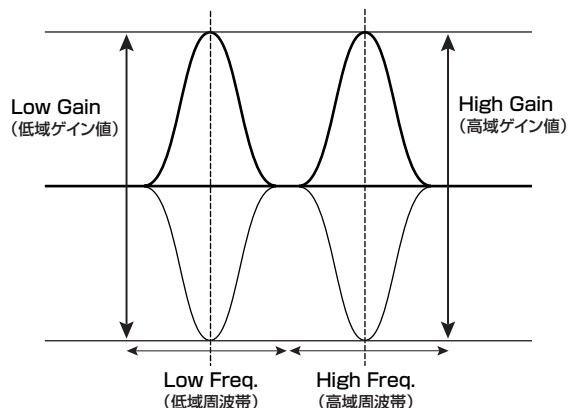
NOTE レゾナンスの値を上げると、音に独特のクセを付けることができます。

イコライザーの低域周波数を調節する*

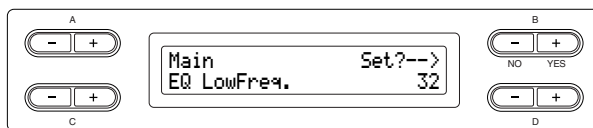
イーキューローフリケンシー
「EQ LowFreq. (EQ L.Freq)」

NOTE イコライザーとは

音を2つの周波数帯域に分け、それぞれのバンドごとにゲイン値(増幅量)を上げ下げして好みの音質を作る機能です。



操作は78ページを参照してください。

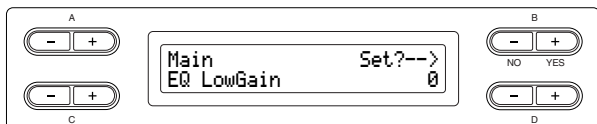


設定範囲: 32 Hz~2.0 KHz

イコライザーの低域ゲイン値(増幅量)を調節する*

イーキュー ローゲイン [EQ LowGain]

操作は78ページを参照してください。

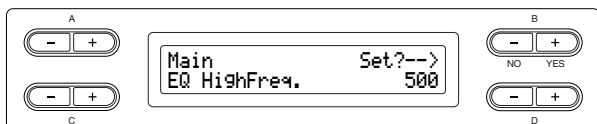


設定範囲: -12~+12 dB

イコライザーの高域周波数を調節する*

イーキューハイフリケンシー [EQ HighFreq. (EQ H.Freq.)]

操作は78ページを参照してください。

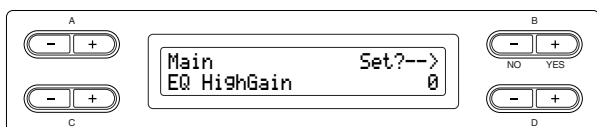


設定範囲: 500 Hz~16.0 KHz

イコライザーの高域ゲイン値(増幅量)を調節する*

イーキュー ハイゲイン [EQ HighGain]

操作は78ページを参照してください。

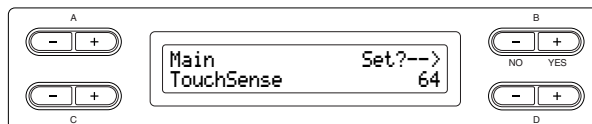


設定範囲: -12~+12 dB

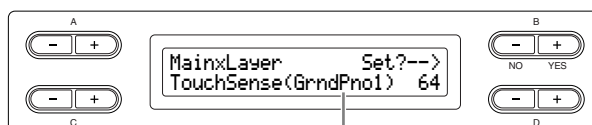
タッチに対する音量変化度合の設定*

タッチセンス [TouchSense]

タッチに対する音量変化幅/音量の出やすさを設定します。ハープシコードやパイプオルガンは、タッチによる音量変化がない楽器ですので、初期設定は127 (音量が出やすく一定音量)になっています。操作は78ページを参照してください。



デュアルの場合



設定の対象となる音色(第1音色または第2音色)

設定範囲: 0 (音量が出にくい)~64 (音量変化幅が最大)~127 (音量が出やすく一定音量)

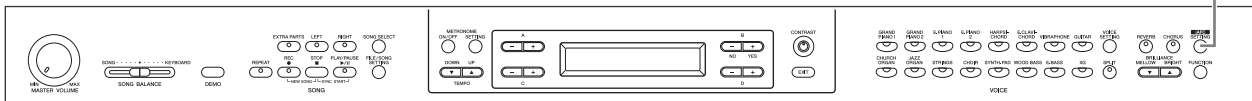
iAFCに関する詳細設定

[iAFC SETTING] (iAFCセッティング)

iAFCとは、クラビノーバから出る音に生楽器のような奥行き感を持たせる機能です。ステージ上で演奏したときの音の響きや残響音、グランドピアノのダンパーペダルを踏んだときのような弦の共鳴効果などが体験できます。ここでは、iAFCをオン/オフしたり、かかり具合などを設定することができます。また、楽器の設置環境に合わせて、iAFC効果が最適にかかるように自動調整することもできます。

セッティング
[iAFC SETTING]ボタンを押して、iAFCセッティングモードに入ります。

[iAFC SETTING]ボタン



クラビノーバの電源を初めて入れたときとクラビノーバを移動したあとは、自動調整を行なってください。

自動調整が行なわれていない状態で[iAFC SETTING]ボタンを押すと、自動調整の画面が表示されます。

NOTE 以下の場合は、iAFCを使うことができません。

- ・ Speakerの設定がNormalで、ヘッドフォンが接続されているとき。
- ・ Speakerの設定がOffのとき。

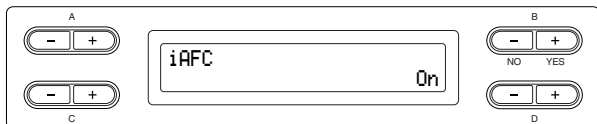
NOTE iAFCを使っているときは、クラビノーバの背面に付いているスピーカーをふさがないようにください。このスピーカーをふさぐとiAFCの効果を最適にすることができません。

NOTE iAFCには、ハウリングに対する安定化を図るために当社のEMR (Electronic Microphone Rotator)技術が使われています。

iAFCオン/オフの設定

「iAFC」

操作は78ページを参照してください。

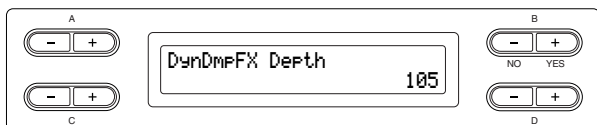


設定範囲: On/Off

ダイナミックダンパーエフェクトの かかり具合の設定

ダイナミックダンパーエフェクト デプス 「DynDmpFX Depth」

ダイナミックダンパーエフェクトとは、iAFCの効果のひとつです。グランドピアノのダンパーペダルを踏んだときのような共鳴効果を、内蔵マイクを使用せず、クラビノーバ内部の音を信号処理して作り出します。ダンパーペダルを踏んだときに効果がかかります。操作は78ページを参照してください。



設定範囲: 0~127

スペシャルエフェクトの かかり具合の設定

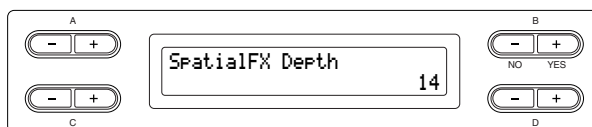
スペシャルエフェクト デプス 「SpatialFX Depth」

スペシャルエフェクトとは、iAFCの効果のひとつです。内蔵マイクで拾ったクラビノーバの音を信号処理して背面スピーカーから出すことにより、奥行き感のある立体的な響きを作り出します。デプスで広がり感が変わります。

浅いデプス: 生楽器(グランドピアノなど)が持つ楽器の響きを、仮想的なサウンドボード(共鳴板)によって作りだします。

深いデプス: ステージ上で演奏したときの音の響き、残響音を表現します。合奏者の楽器の響きも加わるため、ステージで合奏している雰囲気味わえます。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: 0~127

iAFCのキャリブレーション (自動調整)をする

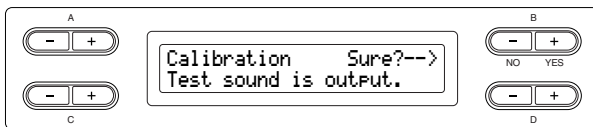
キャリブレーション 「Calibration」

iAFC各タイプの効果が最適になるように、部屋の環境に合わせてiAFCの感度や特性を自動調整します。

自動調整が始まると、テストサウンド(ノイズ)が約5秒間鳴ります。

自動調整中はクラビノーバの周りで音を出さないようにしてください。

操作は78ページを参照してください。



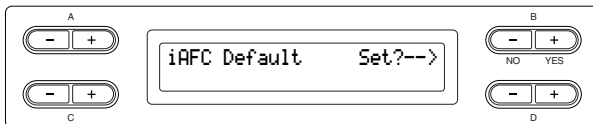
NOTE 自動調整中は、鍵盤を弾いても音が出ません。また、クラビノーバの音量を調節することもできません。

キャリブレーション設定を 初期設定に戻す

デフォルト 「iAFC Default」

キャリブレーション設定を、初期設定に戻します。

操作は78ページを参照してください。



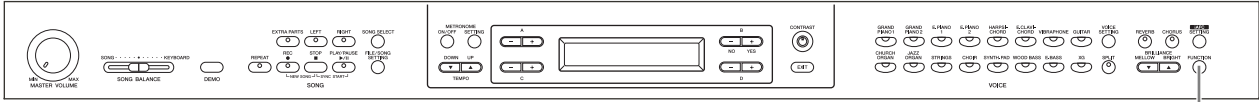
その他の詳細設定

[FUNCTION] (ファンクション)

タッチ感やチューニング、音律などの細かい設定をすることができます。

ファンクション

[FUNCTION]ボタンを押して、ファンクションモードに入ります。



[FUNCTION]ボタン

キー (調)を変える

トランスポーズ
[Transpose]

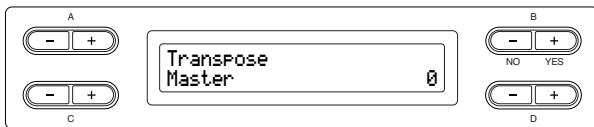
NOTE TRANSPOSE (トランスポーズ)=移調する

NOTE 移調: 曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー (調)を変えること。

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー (調)を合わせたり、演奏する曲や再生する曲を移調したりすることができます。

たとえば、トランスポーズ量を「5」に設定すると、「ド」を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「八長調」を弾いて「へ長調」の演奏ができます。

操作は78ページを参照してください。



設定対象:

- **Master (マスター)**
楽器全体の音(手弾き音、再生曲)
- **Keyboard (キーボード)**
手弾きの音
- **Song (ソング)**
再生する曲

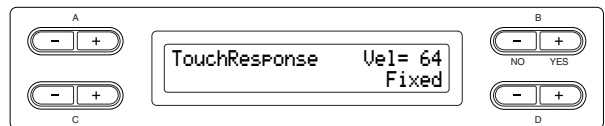
設定範囲: -12 (-1オクターブ)~0 (標準音程)~+12 (+1オクターブ)

タッチ感度の選択

タッチレスポンス
[TouchResponse]

鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付き方(タッチ感度)を選ぶことができます。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

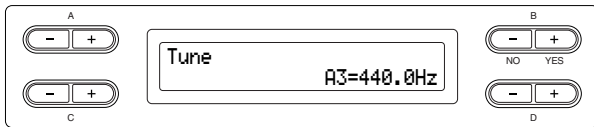
- **Light (ライト)**
弱いタッチで大きい音を出すことができます。比較的音のつづがそろいやすいタッチです。
- **Medium (ミディアム)**
標準的なタッチです。
- **Heavy (ヘビー)**
強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。ピアノニッシモからフォルティッシモまで表情豊かな演奏ができます。
- **Fixed (フィックスト)**
タッチによる強弱は付かず一定のボリュームが出ます。そのボリュームはB [- (NO)][+ (YES)]ボタンで設定します。
Fixedのボリュームの設定範囲: 1~127

音の高さの微調整

チューン
「Tune」

楽器全体の音の高さを微調整することができます。ほかの楽器との合奏やCDの再生に合わせて演奏するときなどに、ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

操作は78ページを参照してください。



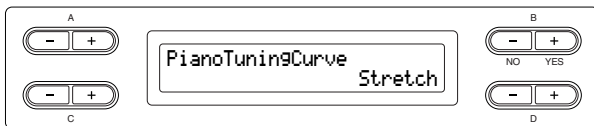
設定範囲: A3=414.8Hz~466.8Hz (0.2Hz単位)

ピアノ音色の調律曲線の選択

ピアノチューニングカーブ
「PianoTuningCurve」

グランドピアノ「Grand Piano 1」と「Grand Piano 2」の音色の調律曲線を選ぶことができます。多重録音をしたときなど、ピアノ特有の調律カーブが他の楽器の音の高さと微妙に合わないと感じた場合に、「Flat」を選ぶと解消されます。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

- **Stretch (ストレッチ)**
ピアノ特有の調律曲線
- **Flat (フラット)**
全音域に渡ってオクターブで周波数が倍になる調律曲線

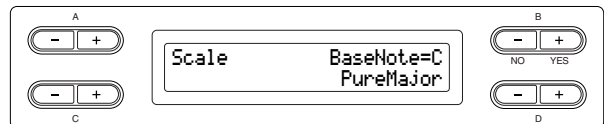
音律の選択

スケール
「Scale」

NOTE Scale (スケール)=音階

音律(調律法)を選ぶことができます。現在もっとも一般的なピアノの調律法「平均律」が完成するまでには、時代と共に様々な音律が考えられ、またそれによる音楽が誕生しました。当時の調律法で演奏することで、その曲が誕生したときの響きを味わうことができます。

操作は78ページを参照してください。

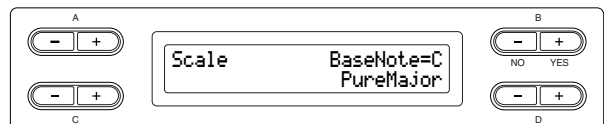


設定範囲:

- **Equal (イコール=平均律)**
1オクターブを12の間隔で等分した音律。現在もっともポピュラーなピアノの調律法。
- **PureMajor/PureMinor (ピュアメジャー/ピュアマイナー=純正律「長調」/「短調」)**
自然倍音を基準とするため、主要3和音が美しく純粋に響くのが特長。現在でも合唱のハーモニーなどで見られる。
- **Pythagorean (ピタゴリアン=ピタゴラス音律)**
ギリシャ時代の哲学者ピタゴラスによって考えられた5度音程だけの組み合わせからできた音律。3度はうなりが生じるが4度と5度の音程が美しく、旋律の演奏に向いている。
- **MeanTone (ミーントーン=中全音律)**
ピタゴラス音律の3度のうなりをなくすために改良された音律。16世紀後半から18世紀後半までにかけて広く普及し、ヘンデルも使用した。
- **Werckmeister/Kirnberger (ヴェルクマイスター/キルンベルガー)**
中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた音律で、両者はその組み合わせ方が異なる。転調により曲想が変化するのが特長。バッハやベートーベン時代に使用され、現在でもその時代の音楽をハープシコード(=チェンバロ)などで演奏するときしばしば用いられる。

初期設定: Equal (イコール)

Equal以外の音律を選んだときは、基音(演奏する曲の調の主音)を設定する必要があります。B [- (NO)][+ (YES)]ボタンで設定します。



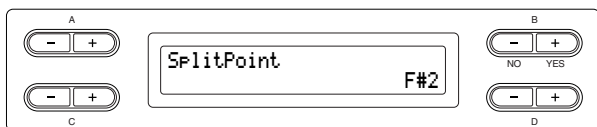
設定範囲: C、C#、D、Eb、E、F、F#、G、Ab、A、Bb、B

スプリットポイントを決める

スプリットポイント 「SplitPoint」

スプリットポイント(鍵盤の右手領域と左手領域の境め)を決めることができます。

操作は78ページを参照してください。

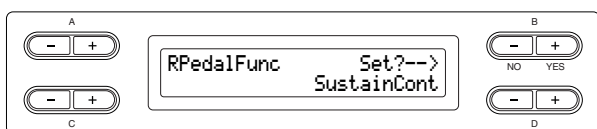


設定範囲: A-1～C7

右ペダルの機能設定

ライトペダルファンクション 「RPedalFunc」

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

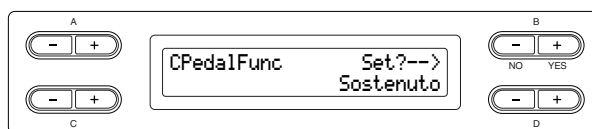
- ・ **Sustain (サステイン)**
On/Offスイッチ式のダンパー (24ページ)
- ・ **SustainCont (サステインコンティニューアスリー)**
踏み込むほど音が長く伸びるダンパー (24ページ)
- ・ **Sostenuto (ソステヌート)**
ソステヌート(24ページ)
- ・ **Soft (ソフト)**
ソフト(24ページ)
- ・ **Expression (エクスプレッション)**
演奏中に音の強弱を付ける機能
- ・ **PitchBend Up (ピッチベンド アップ)**
音の高さを連続的に上げる機能
- ・ **PitchBend Down (ピッチベンド ダウン)**
音の高さを連続的に下げる機能
- ・ **RotarySpeed (ロータリースピード)**
JazzOrgan (ジャズオルガン)のロータリースピーカーの回転数の変化(踏むごとに速い/遅いが切り替わる)
- ・ **VibeRotor (バイプローター)**
Vibraphone (ビブラフォン)のビブラートのOn/Off (踏むごとにOn/Offが切り替わる)

初期設定: SustainCont (サステインコンティニューアスリー)

まん中のペダルの機能設定

センターペダルファンクション 「CPedalFunc」

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(左記)から下記の機能を除いたものと同じ。

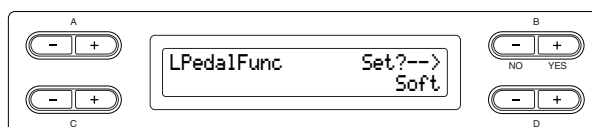
- ・ SustainCont
- ・ Expression
- ・ PitchBend Up
- ・ PitchBend Down

初期設定: Sostenuto (ソステヌート)

左ペダルの機能設定

レフトペダルファンクション 「LPedalFunc」

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(左記)から下記の機能を除いたものと同じ。

- ・ SustainCont
- ・ Expression
- ・ PitchBend Up
- ・ PitchBend Down

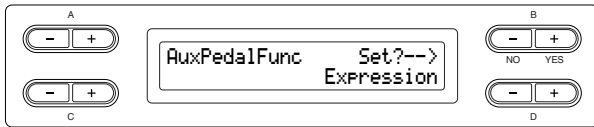
初期設定: Soft (ソフト)

ただし、JazzOrgan (ジャズオルガン)とMellowOrgan (メローオルガン)の場合はRotarySpeed (ロータリースピード)、Vibraphone (ビブラフォン)の場合はVibeRotor (バイプローター)。

外部ペダルの機能設定

エーユーエックスペダルファンクション 「AuxPedalFunc」

ペダル
[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能を設定します。
操作は78ページを参照してください。



設定範囲: 「右ペダルの機能設定」(前述)と同じ。
初期設定: Expression (エクスプレッション)

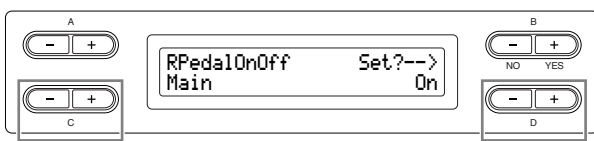
NOTE 別売ペダル

- ・ヤマハフットコントローラー FC7
Expression (エクスプレッション)、SustainCont (サステインコンティニューアスリー)、PitchBend Up/Down (ピッチベンド アップ/ダウン)をコントロールするのに適したフットコントローラーです。
- ・ヤマハフットスイッチFC4
- ・ヤマハフットスイッチFC5
Sustain (サステイン)、Sostenuto (ソステヌート)、Soft (ソフト)、RotarySpeed (ロータリースピード)、VibeRotor (バイプローター)をコントロールするのに適したフットスイッチです。

右ペダルの機能オン/オフ設定

ライトペダル オン オフ 「RPedalOnOff」

右ペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は78ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main (メイン)、MLayer (メインレイヤー)、Left (レフト)、LLayer (レフトレイヤー)

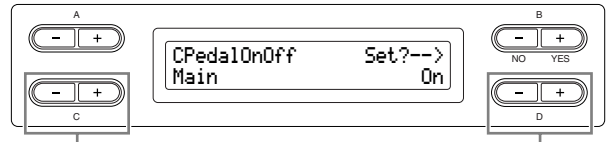
設定範囲: On/Off

初期設定: 音色による

まん中のペダルの機能オン/オフ設定

センターペダル オン オフ 「CPedalOnOff」

まん中のペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は78ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

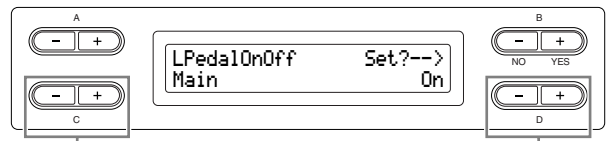
設定範囲: On/Off

初期設定: 音色による

左ペダルの機能オン/オフ設定

レフトペダル オン オフ 「LPedalOnOff」

左ペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は78ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

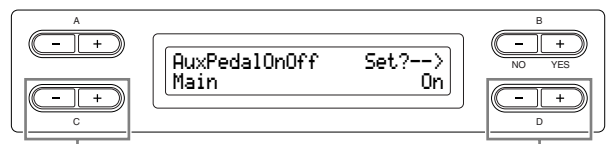
設定範囲: On/Off

初期設定: 音色による

外部ペダルの機能オン/オフ設定

エーユーエックスペダル オン オフ 「AuxPedalOnOff」

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルの機能をオン/オフします。ペダルの機能オン/オフは、音色パートごとに設定できます。
操作は78ページを参照してください。



オン/オフする音色パートを選ぶ

オン/オフを設定する

設定対象: Main、MLayer、Left、LLayer

設定範囲: On/Off

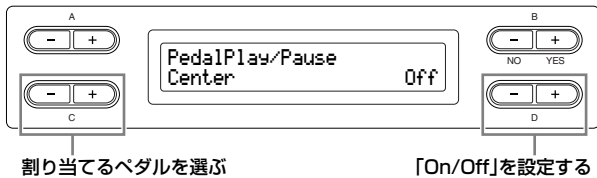
初期設定: 音色による

ソング プレイ / ポーズ SONG [PLAY/PAUSE] 機能の ペダルへの割り当て

ペダルプレイ ポーズ [PedalPlay/Pause]

NOTE ここでSONG [PLAY/PAUSE]の機能を割り当て、Onにして使っている間は、[FUNCTION]ボタンでそのペダルに設定したペダル機能(94ページ)は無効になります。

操作は78ページを参照してください。



設定対象: Left (レフト)、Center (センター)、AUX

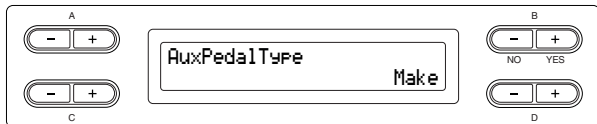
設定範囲: On/Off

初期設定: どのペダルもOff

外部ペダルのタイプ選択

エーユーエックスペダルタイプ [AuxPedalType]

[AUX PEDAL]端子に接続したペダルによって、踏んだときの効果(On/Offや強弱など)が逆になる場合があります。そのような場合に切り替えてください。操作は78ページを参照してください。

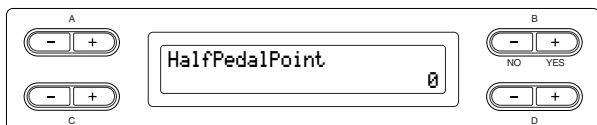


設定範囲: Make (メイク)、Break (ブレイク)

ダンパーペダルが効き始める ポイントの設定

ハーフペダルポイント [HalfPedalPoint]

ペダル(右、AUX)をどのくらい踏み込めばSustainContの効果(94ページ)が効き始めるのかを設定することができます。

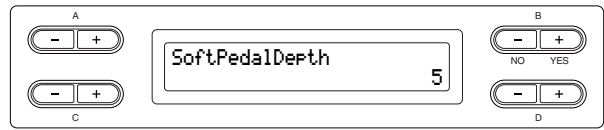


設定範囲: -2 (浅い位置で効く)~0~+2 (深い位置で効く)

ソフトペダルのかかり具合の設定

ソフトペダルデプス [SoftPedalDepth]

操作は78ページを参照してください。



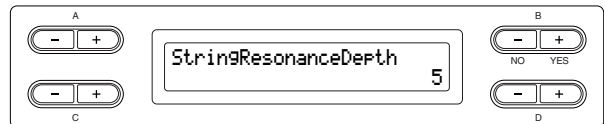
設定範囲: 1~10

弦共鳴音(ストリングレゾナンス)の かかり具合の設定

ストリングレゾナンスデプス [StringResonanceDepth]

NOTE String Resonance (ストリングレゾナンス)=弦共鳴音

グランドピアノ
「Grand Piano 1」の音色などに有効です。
操作は78ページを参照してください。

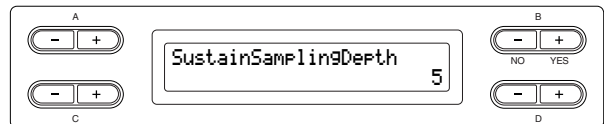


設定範囲: Off、1~10

ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定

サステインサンプリングデプス [SustainSamplingDepth]

グランドピアノ
「Grand Piano 1」の音色グループに有効です。
操作は78ページを参照してください。



設定範囲: Off、1~10

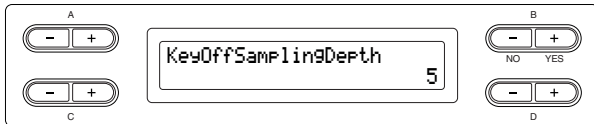
キーオフ音の音量設定

キーオフサンプリングデプス 「KeyOffSamplingDepth」

キーオフ音(鍵盤を離れたときの微妙な発音)の音量を変
えることができます。

グランドピアノ ハープシコード
「GRAND PIANO 1」、 「HARPSICHORD」、
エレクトリッククラビコード エレクトリックピアノ
「E. CLAVICHORD」の音色グループと「E. PIANO 2」
の音色に有効です。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲: Off、1～10

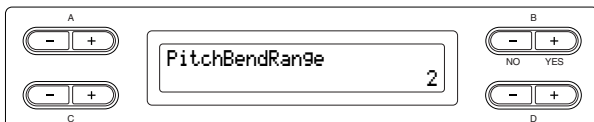
ピッチベンド幅の設定

ピッチベンドレンジ 「PitchBendRange」

音の高さを連続的に変化させるピッチベンド機能の変化
幅を設定します。

- この設定は手弾き音に対して有効です。
- 半音単位で設定できます。
- 音の高さを上げるか下げるかはペダルの機能設定(94
ページ)で設定できます。

操作は78ページを参照してください。



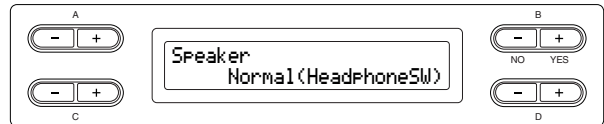
設定範囲: 0～+12 (ペダルを踏むと12半音<1オクターブ>
上がる/下がる)

初期設定: 2

スピーカーのOn/Offを切り替える設定

スピーカー 「Speaker」

スピーカーのOn/Offを切り替えることができます。
操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

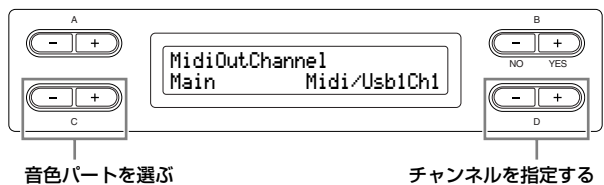
- Normal (HeadphoneSW)
(ノーマル<ヘッドフォンスイッチ>)
ヘッドフォンが接続されていないときだけスピーカーが鳴り
ます。
- On
常にスピーカーが鳴ります。
- Off
スピーカーは鳴りません。

MIDI送信チャンネルの設定

メディアアウトチャンネル 「MidiOutChannel」

クラビノーバからMIDIデータを送信するときのチャン
ネルを設定します。

操作は78ページを参照してください。



設定対象: Main (メイン)、Left (レフト)、Layer (レイヤー)、
Left Layer (レフトレイヤー)

設定範囲: Midi/Usb1 Ch1～Ch16、Off (送信しない)

初期設定:

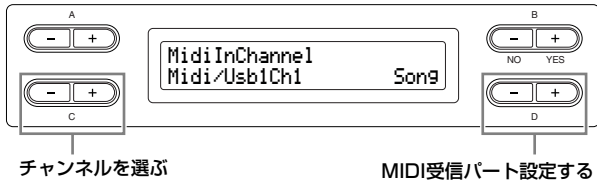
- MainMidi/Usb1 Ch1
- Left.....Midi/Usb1 Ch2
- Layer.....Midi/Usb1 Ch3
- LeftLayer.....Midi/Usb1 Ch4

MIDI受信チャンネルの設定

メディアインチャンネル
【MidiInChannel】

MIDI [IN]端子と、USB [TO HOST]端子から受信したデータについて、受信するかどうかを、チャンネルごとに設定することができます。

操作は78ページを参照してください。



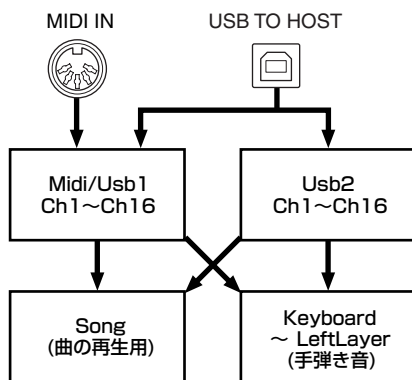
設定対象:

- ・ Midi/Usb1 Ch1～16
- ・ Usb2 Ch1～16

設定範囲: Song (ソング)、Main (メイン)、Left (レフト)、Layer (レイヤー)、LeftLayer (レフトレイヤー)、Keyboard (キーボード)、Off

初期設定:

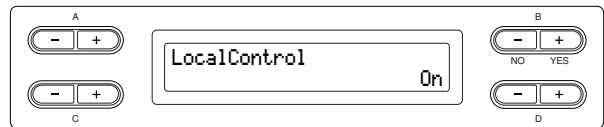
- ・ Midi/Usb1 Ch1～16Song
- ・ Usb2 Ch1Keyboard
- ・ Usb2 Ch2Main
- ・ Usb2 Ch3Left
- ・ Usb2 Ch4Layer
- ・ Usb2 Ch5LeftLayer
- ・ その他Off



ローカルコントロールオン/オフの設定

ローカルコントロール
【LocalControl】

クラビノーバの鍵盤を弾くとクラビノーバの「音源部」から音が鳴る状態を、「ローカルコントロールオン」と呼びます。「ローカルコントロールオフ」にすると「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いてもクラビノーバからは音が出なくなります。一方、鍵盤を弾いたデータはMIDI送信されますので、クラビノーバでは音を鳴らさずにMIDI接続した外部音源を鳴らしたいときに、ローカルコントロールをオフにします。操作は78ページを参照してください。



設定範囲: On/Off

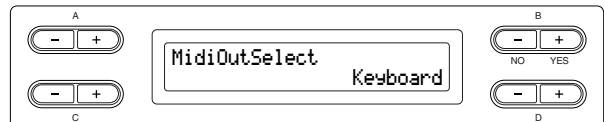
初期設定: On

手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定

メディアアウトセレクト
【MidiOutSelect】

手弾き音のデータと曲再生音のデータのどちらをMIDI送信するかを設定します。

操作は78ページを参照してください。



設定範囲:

- ・ Keyboard (キーボード) 手弾き音のデータ
- ・ Song (ソング) 曲再生音のデータ

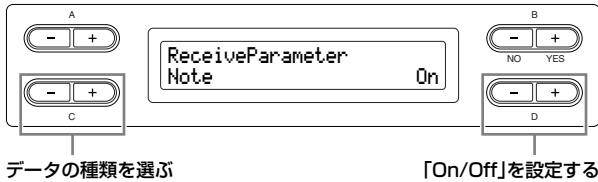
初期設定: Keyboard

MIDI受信するデータの種類の設定

レシーブパラメーター
「ReceiveParameter」

MIDIデータの種類ごとに、受信するかしないかを設定することができます。

操作は78ページを参照してください。



データの種類: Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

設定範囲: On/Off

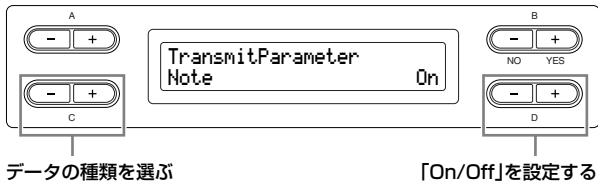
初期設定: すべてのデータがOn

MIDI送信するデータの種類の設定

トランスミットパラメーター
「TransmitParameter」

MIDIデータの種類ごとに、送信するかしないかを設定することができます。

操作は78ページを参照してください。



データの種類: Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SystemRealTime (システムリアルタイム)、SysEx (システムエクスクルーシブ)

設定範囲: On/Off

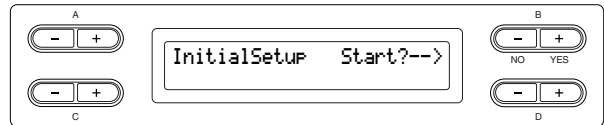
初期設定: すべてのデータがOn

パネル初期設定データの送信

イニシャルセットアップ
「InitialSetup」

クラビノーバに接続したシーケンサーなどへ、音色選択などのパネル設定データを送信することができます。外部シーケンサーに演奏データを録音する際、演奏データの頭に、録音データを再生しながら自分で演奏するためのパネル設定データを送信して記録しておく、再生しながらの演奏の際、便利です。

操作は78ページを参照してください。



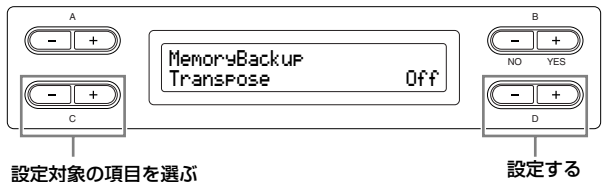
電源オフ時に保存する項目の設定

メモリーバックアップ
「MemoryBackup」

音色選択やメトロノームに関する設定などご自身で設定した内容を、電源をオフにしても消さずに残しておくようにする(=バックアップする)ことができます。

本体メモリーに保存した曲とここでのバックアップオン/オフの設定自体、および「CharacterCode」の設定(46ページ)は、常にバックアップされます。

操作は78ページを参照してください。

**設定対象:**

Transpose (トランスポーズ)
Brilliance (ブリリアンス)
ReverbOnOff (リバーブオンオフ)
iAfc (iAFCセッティング)
SplitPoint (スプリットポイント)
Main/LeftVoice (メイン/レフトボイス)
MetronomeSetting (メトロノームセッティング)
File/SongSetting (ファイル/ソングセッティング)
MidiSetting (MIDIセッティング: ファンクションの中のMIDI関連の設定)
Function (ファンクション) (Transpose<トランスポーズ> SplitPoint<スプリットポイント>、MidiSetting<MIDIセッティング>は除く)

設定範囲: On/Off

初期設定: Transpose、Main/LeftVoice、MetronomeSetting、Function (Transpose、SplitPoint、MidiSettingは除く)はOff、その他はOn

初期設定に戻す

ファクトリーセット [FactorySet]

クラビノーバを、初期設定(工場出荷時の状態=初めて電源を入れたときの状態)に戻すことができます。

- インターネットの設定を初期設定に戻すには、「インターネット設定を初期設定に戻す」(63ページ)を参照してください。
- [FILE/SONG SETTING]操作の「CharacterCode」の設定は変わりません。
- 「MemoryBackup」(99ページ)のOn/Off設定も初期設定に戻ります。
- 本体メモリーに保存した曲については、消去するかしないかを選択できます。

操作は78ページを参照してください。

- ⊖ ファクトリーセット中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

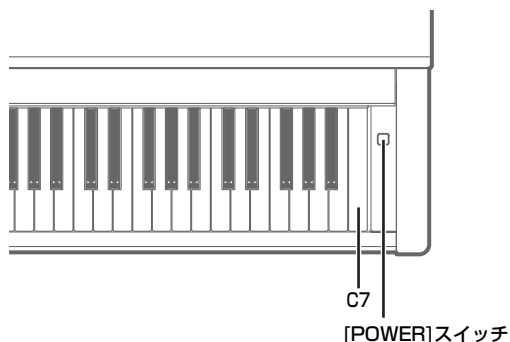


本体メモリーの曲についての選択：

- MemorySongExcluded (メモリーソングエクスルーデッド).....消去しない
- MemorySongIncluded (メモリーソングインクルーデッド).....消去する

初期設定に戻す他の方法

右端の白鍵(C7)を押したまま電源をオン([POWER]スイッチを押す)にしても、初期設定に戻すことができます。この場合、本体メモリーに保存した曲は消去されません。



データのバックアップ

フルバックアップ [FullBackup]

本体の設定や本体に保存したデータの万一の事故に備えて、大切なデータをUSB記憶装置にバックアップとして保存することができます。また、保存したデータを読み込んで、元の設定に戻すこともできます。USB記憶装置を接続してから操作します。操作は、78ページを参照してください。

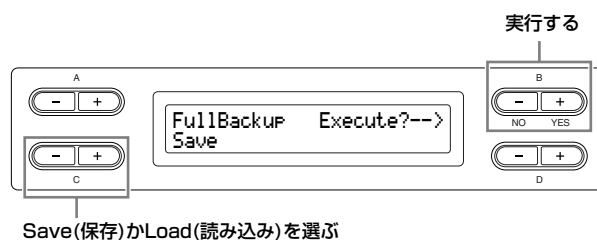
NOTE データのバックアップを取るときは、USB記憶装置を複数接続しないことをおすすめします。USBハブなどを使って複数の記憶装置を接続しても、バックアップ先を選ぶことができません。

- ⊖ 曲の読み込み中などのファイル操作中に、バックアップを実行しないでください。ファイル操作中にバックアップを実行すると、データの破損の原因になります。

NOTE バックアップが完了するまでに、1~2分かかります。

- ⊖ バックアップ中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

NOTE プロテクトがかかった曲(曲名の左にMSまたはMsと表示される曲)はバックアップできません。バックアップ前に、USB記憶装置に移動(44ページ)しておいてください。プロテクトがかかった曲が楽器本体に残っていると、バックアップファイルを楽器に読み込んだときに消去されてしまいます。



バージョンを確認する

バージョン [Version]

楽器プログラム、[LAN]端子ドライバー、およびUSB-LANアダプタードライバーのバージョンを確認することができます。

操作は78ページを参照してください。

設定対象:

- ・ Program (楽器のプログラム)
- ・ LAN port ([LAN]端子ドライバー)
- ・ USB-LAN adaptor (USB-LANアダプタードライバー)

メッセージ一覧

ABC順に掲載しています。

メッセージ	内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">AccessError</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">AccessError</div> <p>アクセスエラー</p>	<p>「保存用メモリー / メディアへの書き込みや読み込みが失敗しました」 保存用メモリー / メディアへの書き込みや、読み込みが失敗したときに表示されます。この場合は、デバイスの接続を確認したうえで操作し直してみてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、保存用メモリー / デバイス / メディアの故障が考えられます。</p> <p>「読み取り専用の曲に上書き保存しようとしたしました」 読み取り専用の曲に上書き保存しようとしたときに表示されます。読み取り専用の曲には上書き保存できません。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">AllFiles?--></div> <p>オールファイル?</p>	<p>「フォルダー内のファイルをすべて削除しますか？」 フォルダーを削除するときに、そのフォルダー内のファイルをすべて削除するかどうかの確認です。ファイル内のフォルダーをすべて削除する場合はB [+ (YES)] ボタン、中止する場合はB [- (NO)] ボタンを押してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">BackupMemoryFull</div> <p>バックアップメモリー フル</p>	<p>「バックアップメモリーの空き領域が不足しています」 バックアップメモリーの空き容量が不足している場合に表示されます。電源を入れ直すとバックアップメモリー内の不要なデータが削除され、空き容量を増やすことができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">CalibrationError DefaultReset</div> <p>キャリブレーションエラー デフォルトリセット</p>	<p>「キャリブレーションが中断され、初期設定に戻りました」 iAFCの自動調整中に自動調整が中断され、初期設定値に設定された場合の表示です。このような場合は、自動調整をやり直してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Calibration Speaker sound is off</div> <p>キャリブレーション スピーカー サウンド イズ オフ</p>	<p>「スピーカーがオフになっていて、自動調整ができません」 リアスピーカーから音が出ない状態になっているので、iAFCの自動調整ができないというメッセージです。この場合、「Speaker (スピーカー)」の設定がOffになっているときは「Speaker」をOnにしてください。「Speaker」の設定がNormal (ノーマル) でヘッドフォンが接続されているときは、ヘッドフォンのプラグを抜いてください</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Calibration Sure?--> Test sound is output.</div> <p>キャリブレーション シュア? テスト サウンド イズ アウトプット</p>	<p>「iAFCのキャリブレーションを実行しますか？」 iAFCのキャリブレーションを始めるときに表示されます。iAFCのキャリブレーションでは、楽器からテスト音が鳴ります。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Canceled</div> <p>キャンセルド</p>	<p>「キャンセルされました」 操作が中止された場合に、中止されたことを確認するメッセージです。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Caution ProtectedSong</div> <p>コーション プロテクトドソング</p>	<p>「プロテクトがかかった曲について操作しています。実行しますか？」 プロテクトがかかった曲に関して、以下の操作をした場合に表示されます。 ・上書き(プロテクトがかかった曲は上書きできません。) ・別名保存(プロテクトがかかった曲は別名保存ができません。) ・削除(プロテクトがかかった曲を削除してよいかどうかの確認です。) ・ファイル名変更(プロテクトがかかった曲のファイル名を変更すると、その曲が再生できなくなることがあります。)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Completed</div> <p>コンプリーテッド</p>	<p>「完了しました」 「Executing (エクセキューティング=実行中)」のメッセージに続いて表示されます。保存用メモリーやUSB記憶装置への書き込みや操作の実行が、完了したときなどに表示されます。このメッセージを確認したら、次の操作に移ることができます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">DriveError</div> <p>ドライブエラー</p>	<p>「ドライブとの通信エラーが発生しました」 ドライブとの通信エラーが発生したときに表示されます。ドライブの接続に問題がないことを確認したうえで、動作確認済みのドライブ(133ページ)をご使用ください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">DriveNumLimitOver</div> <p>ドライブナンバー リミット オーバー</p>	<p>「認識できるドライブ数を超えています」 この楽器で認識できるドライブ数を超えているときに表示されます。この楽器では、ひとつのUSB [TO DEVICE] 端子に対して2台までのUSB記憶装置を接続できます。また、1台のUSB記憶装置について4ドライブまで認識できます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">DrivePowerError</div> <p>ドライブパワー エラー</p>	<p>「接続しているUSB機器の消費電力が規定値を越えています」 バスパワードのUSBハブを使用したときに表示されます。電源付き(セルフパワード)のUSBハブを、電源を入れてご使用ください。</p>

メッセージ	内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">DriveRemoved</div> ドライブリムーブド	「USB記憶装置が楽器から外されました」 USB記憶装置が楽器から外されたときに表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">DuplicateName</div> デュプリケートネーム	「曲名が重複しています」 「RenameSong (リネームソング)」(42ページ)で、曲名を変更して保存しようとしたときに、すでに同じ名前の曲がある場合に表示されます。表示3秒後に元の画面に戻りますので、名前を付け直してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Execute?--></div> エクセキュート?	「実行しますか?」 各種ファイル操作で、実行を促すメッセージです。実行する場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Executing</div> エクセキューティング	「実行中です」 クラビノーバの内部で処理を実行している間、表示されます。この間は次の操作に移ることはできません。しばらくお待ちください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">FactorySet Completed Restart</div> ファクトリーセット コンプリート リスタート	「ファクトリーセットが終わりました。再起動します」 ファクトリーセット(楽器を初期設定に戻す)が終わったあとに表示されます。この表示が出たあとで楽器が再起動されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">FactorySet Executing MemorySongExcluded</div> ファクトリーセット エクセキューティング メモリーソング エクスルーデッド	「初期設定に戻しました(メモリーソング以外)」 「FactorySet (ファクトリーセット)」(100ページ)の実行(メモリーソング以外)が完了したというメッセージです。「C7の鍵盤を押したまま電源をオンにする」操作(100ページ)でも表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">FactorySet Executing MemorySongIncluded</div> ファクトリーセット エクセキューティング メモリーソング インクルーデッド	「初期設定に戻しました(メモリーソング含む)」 「FactorySet」(100ページ)の実行(メモリーソング含む)が完了したというメッセージです。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">FullBackup Completed Restart</div> フルバックアップ コンプリート リスタート	「バックアップデータの読み込みが終わりました」 バックアップデータの読み込みが終わったときに表示されます。この表示が出たあとで楽器が再起動されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">HostError</div> ホストエラー	「USB [TO HOST]端子に関する不具合です」 ● CLP-380をコンピューターと接続してお使いの場合 コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、またはコンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能していません。この場合は、いったんCLP-380とコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続を確認してください。その後、コンピューター→CLP-380の順番で電源を入れ直し、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。 ● CLP-380を単独でお使いの場合 CLP-380のUSB [TO HOST]端子にUSBケーブルが接続されたままになっていると、このメッセージが表示されることがあります。この場合は、CLP-380の電源を切った上でUSBケーブルを抜き、再度電源を入れてください。USBケーブルを接続したままだと、CLP-380が正常に動作しないことがあります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">LastPowerOffIllegal MemoryChecking</div> ラストパワー オフ イリーガル メモリーチェックング	「前回不正に電源がオフされました。楽器の内部をチェックしています」 曲を保存用メモリーに保存している途中や、楽器設定を保存している途中で電源を切り、もう一度電源を入れたときに表示されます。この表示が出ている間は楽器のメモリーがチェックされています。チェックの結果、楽器設定が破損している場合は、工場出荷時の設定に戻ります。保存用メモリーの曲が破損している場合は、削除されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">MakeDir ---:Select USB Drive</div> メイクディレクトリ セレクト USBドライブ	「USB記憶装置が見付かりません」 フォルダー作成の対象となるUSB記憶装置が見付からないときに表示されます。USB記憶装置の接続と、[SELECT]スイッチが適切に切り替えられているかを確認してから、操作し直してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">MemoryFull</div> メモリー フル	「メモリーがいっぱいです」 保存用メモリーやメディアの残り容量が少ないため、曲が保存できないときに表示されます。この場合、別のメディアに保存する(41ページ)か、すでにある保存用メモリーの曲を削除(42ページ)してから、改めて保存用メモリーに保存してください。

メッセージ	内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">NoDrive</div> ノードライブ	「ドライブが接続されていません」 ドライブが必要な操作のときに、楽器本体にドライブが接続されていないと表示されます。ドライブを接続してから操作を続けてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">NoFile</div> ノーファイル	「ファイルがありません」 ・楽器に曲名が表示されていても読み込むファイルがない場合に表示されます。メディアを挿入し直してください。 ・ファイル名に2バイトの文字を使っていると、ファイルが認識されないことがあります。このような場合は「CharacterCode」を「Japanese」に切り替えてみてください(46ページ)。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">NoSongToCopy</div> ノーソング トゥー コピー	「コピーする曲がありません」 コピー対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT] (ソングセレクト)ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">NoSongToMove</div> ノーソング トゥー ムーブ	「移動する曲がありません」 移動対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT]ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">NoSongToRename</div> ノーソング トゥー リネーム	「リネームする曲がありません」 リネーム対象となる曲(メモリーソングやUSBソング)がない場合に表示されます。[SONG SELECT]ボタンで、メモリーソングかUSBソングを選んでください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">OverCurrent</div> オーバー カレント	「ドライブに異常な電流が流れたので、接続を遮断しました」 ドライブに異常な電流が流れて接続が遮断されたときに表示されます。復旧させるには、ハブの電源を入れ直します。または、USB記憶装置を楽器から外してから楽器の電源を入れ直します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Overwrite?--></div> オーバーライト?	「上書きしますか?」 既存のデータに上書きするかどうか確認を求めるメッセージです。上書きする場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">PC<->CLP InCommunication</div> ピーシーシーエルピー イン コミュニケーション	「ミュージックソフトダウンローダーを使用しています」 楽器にコンピューターを接続し、付属のアプリケーションソフトウェア「ミュージックソフトダウンローダー」を使用しているときに表示されます。このメッセージが表示されているときは、楽器の操作ができません。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">PleaseWait</div> プリーズ ウェイト	「お待ちください」 曲を選んですぐ、読み込み中に曲をスタートさせようとしたり、他の操作をしようとしたときに表示されます。このメッセージが消えるまでお待ちください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ProtectedDrive</div> プロテクトド ドライブ	「書き込みできないドライブです」 書き込み不可になっているドライブやメディアで、保存やコピー、削除しようとする则表示されます。USB記憶装置やメディアを書き込み可の状態にして操作し直してください。さらにこのメッセージが出る場合は、内部的に保護されているメディア(市販のミュージックデータの一部など)ですので書き込みやコピーはできません。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ProtectedDriveError</div> プロテクトド ドライブエラー	「プロテクトがかかった曲が再生できません」 プロテクトがかかった曲とその曲を扱うドライブとの相性が悪い場合に表示されます。動作確認済みのドライブ(133ページ)をご使用ください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ProtectedFile</div> プロテクトド ファイル	「保護されているファイルです」 内部的に保護されているファイル(市販のミュージックデータの一部など)に対して、書き込みやコピー / 削除などをしようとした場合に表示されます。そのファイルに対しては、書き込みやコピー / 削除などはできません。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ProtectedFileFormatError</div> プロテクトド ファイルフォーマット エラー	「プロテクトがかかった曲が壊れています」 プロテクトがかかった曲が内部的に壊れていて、再生できないときに表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ProtectedSong</div> プロテクトド ソング	「保護されている曲です」 内部的に保護されている曲(市販のミュージックデータの一部など)をクラビノーバのカレントメモリーや保存用メモリーに読み込んだあと、さらにそれを別のディスクに保存しようとした場合に表示されます。このような曲は別のディスクに保存し直すことはできません。

メッセージ	内容
ProtectedSong:UseMove プロテクトソング ユーズムーブ	「プロテクトがかかった曲をコピーしようとしています」 プロテクトがかかった曲をコピーしようとしたときに表示されます。プロテクトがかかった曲はコピーできません。移動することはできません(44ページ)。
SecuritySongIsProtected CannotSave セキュリティーソング イズプロテクトッドキャンノットセーブ	「プロテクトがかっている曲なので保存できません」 この曲は、プロテクトがかかっている(セキュリティーソング)ため、保存できません。
Set?--> セット?	「記憶させますか?」 各種セッティング操作で、設定を記憶させるかどうかを確認するメッセージです。実行する場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT] (エグジット)ボタンを押してください。
SongChanged Clear? ソングチェンジド クリアー?	「曲を消去しますか?」 プロテクトがかかった曲で録音/編集したあと、別の曲を選んだときに表示されます。プロテクトがかかった曲を録音/編集したものは保存できませんので、別の曲を選んだ時点で消去されます。
SongChanged Save? ソングチェンジド セーブ?	「曲が書き替えられています。保存しますか?」 曲を録音したあと、保存する前にほかの操作をしようとした場合、その操作をするとその曲が消えてしまうときに表示されます。消していいときはB [- (NO)]ボタンを押します。保存しておきたいときは、B [+ (YES)]ボタンを押すと「Save (セーブ) (41ページ)」の画面に移りますので、曲を保存してから操作し直してください。
SongError ソングエラー	「曲データの不具合が発見されました」 曲を選んだときや曲の再生中に、曲データの不具合が発見された場合に表示されます。この場合、もう一度曲を選び直し、再生してみてください。それでもこのメッセージが出る場合は、曲データが壊れている可能性があります。
SongTooBig ソングトゥー ビッグ	「曲データが大きすぎます」 1. 録音中にカレントメモリーの容量がいっぱいになってしまった場合に表示されます。そこで自動的に録音がストップします。それまで録音したデータは残ります。追加録音しようとして録音モードに入ろうとしたときに、その曲の容量がすでにカレントメモリーの容量いっぱいになっている場合にも表示されます。その場合は追加録音はできません。既に録音した不要なパートがある場合は「ChannelClear (チャンネルクリア) (82ページ)」で不要なパートを削除すると、その容量分さらに録音できるようになります。 2. 曲を選んだときに、その曲がカレントメモリーの容量(106ページ)より大きいため読み込めない場合に表示されます。その曲はCLP-380では読み込めず、再生できません。ほかの曲を選んでください。
Start?--> スタート?	「スタートしますか?」 各種セッティング操作で、スタートを促すメッセージです。スタートする場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合は[EXIT]ボタンを押してください。
Sure?--> シュア?	「いいですか?」 処理実行の確認を求めるメッセージです。実行していい場合はB [+ (YES)]ボタンを、中止する場合はB [- (NO)]ボタンを押してください。
SystemLimit システムリミット	「ファイル数が制限を超えています」 保存用メモリーやメディアに保存できるファイルの数には制限があります。(1つのフォルダーに、ファイルとフォルダー合わせて250までです。) その数を超えてファイルを保存しようとした場合に表示されます。不要なファイルを削除/移動してから操作し直してください。
UnformattedDrive アンフォーマットドドライブ	「フォーマットされていないドライブです」 フォーマットされていないドライブ/メディアでファイル操作をしようとした場合に表示されます。いったんメディアを取り出し、フォーマット(45ページ)してから操作し直してください。
UnformattedDrive Format? アンフォーマットドドライブ フォーマット?	「フォーマットされていないドライブです。フォーマットしますか?」 フォーマットされていないドライブ/メディアでファイル操作をしようとした場合に表示されます。操作を中止する場合は、B [- (NO)]ボタンを押します。フォーマットして操作し直す場合は、B [+ (YES)]ボタンを押すとフォーマットの画面に移ります。フォーマットしてから操作し直してください。
UnsupportedDrive アンサポータッドドライブ	「このドライブはサポートされていません」 動作確認されていないドライブが接続されています。動作確認済みのドライブ(133ページ)をご使用ください。

メッセージ	内容
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">WrongDrive</div> ロング ドライブ	<p>「プロテクトファイルを扱えないドライブです」 コピー先のドライブでは、プロテクトファイルを扱うことができません。動作確認済みのドライブ(133ページ)をご使用ください。</p> <p>「USB記憶装置が破損しているのでファイル操作ができません」 USB記憶装置が破損していてUSB記憶装置に対するファイル操作ができないときに表示されます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">WrongName</div> ロング ネーム	<p>「曲名が不適切です」 「Rename (リネーム)」(42ページ)、「Save (セーブ)」(41ページ)で、曲名の先頭にピリオドやスペースが使われた場合や、CLP-380が対応していない文字が使われている既存の曲の曲名を変更したとき、内部的に処理ができず結果的に不適になってしまう場合に表示されます。表示3秒後に元の画面に戻りますので、名前を付け直してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">WrongSelection</div> ロング セレクション	<p>「コピー先が正しくありません」 ファイルのコピー先として、コピー元と同じフォルダーを選んだときに表示されます。この楽器では、ファイルのコピー先としてコピー元と同じフォルダーを選ぶことができません。コピー元と違うフォルダーを選んでください。</p>

操作や機能についての疑問がわいたら

ボタンを押しても動作しない

他の機能の動作中にはできない操作がいくつかあります。曲の再生中の場合は曲の再生を止めて、その他の場合は^{エグジット}[EXIT]ボタンで基本画面に戻ってから操作してください。

ソステヌートペダルを使うと音が鳴り続ける

^{チャーチオルガン}「CHURCH ORGAN」、^{ジャズオルガン}「JAZZ ORGAN」、^{ストリングス}「STRINGS」、^{クワイア}「CHOIR」グループの音色および「XG」グループの一部の音色では、ソステヌートペダルを使うと、音が減衰せず踏んでいる間鳴り続ける効果になります。

トランスポーズやオクターブを設定したときに、高い方や低い方の音がおかしい

トランスポーズやオクターブを設定した場合、発音する音域はC -2~G8(クラビノーバの88鍵はA -1~C7)です。C -2より低くなる場合は1オクターブ上の音で、G8より高くなる場合は1オクターブ下の音で鳴ります。

曲の録音/再生時の、録音/選曲画面への戻り方は

^{ソングセレクト}[SONG SELECT]ボタンを1回押してください。

テンポを変更して録音したのにテンポが変わらない

テンポ変更をしたタイミングによって、変更したテンポが録音(記録)されずに元のテンポで再生されることがあります。録音するパートが選ばれていて、パートの赤いランプが点滅している状態のときにテンポを変更してください。録音後にテンポデータだけを変更する場合も同じです。

デュアル/スプリットで録音したはずの音が録音されていない

思わぬパートのデータが消えてしまった

デュアル/スプリット音色を使った録音では、デュアルの第2音色/スプリットの左側の音色の録音パートは自動的に決められます(37ページ)。したがって、それらのパートに既存のデータがあった場合は、上書きされて消えてしまいます。また、曲の途中でのデュアル/スプリットへの切り替えは録音されませんので、第2音色/スプリットポイント以下の鍵域で弾いた音は録音されません。

録音(記録)されるデータの種類は

ノートデータとオクターブ設定、拍子以外は、録音後に変更することができます。

パートごとに録音されるデータ

- ノートデータ(弾いた音)
- 音色選択
- ペダル/外部ペダルのON/OFF
- [REVERB]の^{リバーブ}かかり具合「^{リバーブセンド}ReverbSend」
- [CHORUS]の^{コーラス}かかり具合「^{コーラスセンド}ChorusSend」
- DSPエフェクトの^{ディースピーデプス}かかり具合「^{ディースピーデプス}DSPDepth」
- 音の^{ブライトネス}明るさ「^{ブライトネス}Brightness」
- レゾナンス効果の^{ハーモニックコンテンツ}設定「^{ハーモニックコンテンツ}Harmonic Content」
- イコライザーの^{イーキューローフリケンシー}低域周波数の設定「^{イーキューローフリケンシー}EQ LowFreq.」
- イコライザーの^{イーキューローゲイン}低域ゲイン値の設定「^{イーキューローゲイン}EQ LowGain」
- イコライザーの^{イーキューハイフリケンシー}高域周波数の設定「^{イーキューハイフリケンシー}EQ HighFreq.」
- イコライザーの^{イーキューハイゲイン}高域ゲイン値の設定「^{イーキューハイゲイン}EQ HighGain」
- 音色の^{オクターブ}オクターブ設定「^{オクターブ}Octave」
- 音色ごとの^{ボリューム}音量の設定「^{ボリューム}Volume」
- 音色ごとの^{パン}左右の音の位置の設定「^{パン}Pan」
- 2つの音色の音の^{デチューン}高さの微調整(デュアルのみ)「^{デチューン}Detune」
- 音色ごとの^{タッチセンス}タッチに対する音量変化度合の設定「^{タッチセンス}TouchSense」

全パートで共通に録音されるデータ

- テンポ
- 拍子
- [REVERB]のタイプ
- [CHORUS]のタイプ
- DSPエフェクトのタイプ

録音容量は

カレントメモリー (38ページ)...約300KB
保存用メモリー (38ページ).....約1,513KB

ペダル [AUX PEDAL]端子に接続したペダルの ON/OFF(強/弱)が逆になる

接続するペダルの種類によって、ON/OFF(強/弱)の動作が逆になる場合があります。

ファンクション
[FUNCTION]の外部ペダルのタイプ選択エーユーエックスペダルタイプ「AuxPedalType」
(96ページ)で、設定を切り替えてください。

曲名表示がおかしい

名前を付けたときと違う「CharacterCode」キャラクターコードが設定されていたり、ほかの楽器で録音した曲の場合、正しく表示されない場合があります。

ファイル/ソングセッティング
[FILE/SONG SETTING]の「CharacterCode」(46ページ)で設定を切り替えてください。ただし、ほかの楽器で録音した曲の場合は、「CharacterCode」を切り替えても正しく表示されない場合があります。

タッチセンスタッチレスポンス 「TouchSense」と「TouchResponse」 のMIDIデータの違いは

「TouchSense」はタッチに対する音量変化幅/音量の出やすさの音色ごとの設定です。MIDI出力されるノートオンのベロシティデータは一定で、ベロシティが同じときの音量が変わります。

「TouchResponse」は楽器としてのタッチ感度の選択です。同じ強さで鍵盤を弾いたとき、MIDI出力されるノートオンのベロシティデータが変わります。

曲の再生中に[FILE/SONG SETTING] ボタンを押しても、「PhraseMark」 しか選べない。

曲の再生中に操作できる[FILE/SONG SETTING]の設定はフレーズマークのみです。その他の設定は、曲の停止中に行なってください。

困ったときは

現象	考えられる原因	解決法
クラビノーバの電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません(本体側と家庭用コンセント側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(15ページ)。
[POWER](パワー)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」と音がする。	電気が流れたためです。	異常ではありません。
クラビノーバから雑音が出る。	クラビノーバの近くで携帯電話を使っています(または呼び出し音が鳴っています)。	クラビノーバの近くでは、携帯電話の電源を切ってください。クラビノーバの近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
全体的に音が小さい。 まったく音が出ない。	[MASTER VOLUME](マスターボリューム)が下がっています。	[MASTER VOLUME]を上げてください。(16ページ)
	手弾き音の音量が下がっています。	[SONG BALANCE](ソングバランス)スライダーを"KEYBOARD"(キーボード)の方向へ動かしてください。
	ヘッドフォンを接続しています(ただし、スピーカーの設定がNormal(ノーマル<HeadphoneSW>の場合)。(97ページ)	ヘッドフォンのプラグを抜いてください。
	スピーカーの設定がOffになっています。	「SPEAKER(スピーカー)」をNormalまたはOnにしてください(97ページ)。
	ローカルコントロールがOFFになっています。	ローカルコントロールをONにしてください。(98ページ)
	右ペダルまたはAUXペダルに「Expression(エクスプレッション)」が設定されています。	ペダルの機能を「Expression」以外に設定してください。
鍵盤で弾く音が曲の再生音に比べて小さい。	手弾き音の音量が下がっています。	[SONG BALANCE](ソングバランス)スライダーを"KEYBOARD"(キーボード)の方向へ動かしてください。
ヘッドフォンを差してもスピーカーからの音が切れない。	スピーカーの設定がOnになっています。	「SPEAKER」をNormalにしてください。(97ページ)
スピーカーまたはヘッドフォンの音質や音量感が変わった。	AUX OUT端子にプラグが差し込まれています。	AUX OUT端子からプラグを抜いてください。
iAFCをONにしているときハウリングが起こる。	iAFCが適切に自動調整されていません。	iAFCをOFFにして、自動調整(91ページ)を行なってください。
ダンパーペダルが効かない。	ペダルコードのプラグが[PEDAL](ペダル)端子に差し込まれていません。	ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に確実に差し込んでください。(129ページからの「CLP-380の組み立て方」を参照してください。)
USB記憶装置が楽器に認識されない。	USB記憶装置を接続したタイミングや[SELECT](セレクト)スイッチを切り替えたタイミングにより、記憶装置が楽器に認識されないことがあります。	[SELECT]スイッチで使用するデバイスを選び、USB記憶装置を接続し直します。そのあと[SONG SELECT]ボタンを押してソング選択モードに入るか、[FILE/SONG SETTING]ボタンを押してファイル/ソングセッティングモードに入ります。すでにこれらのモードに入っていた場合は、[EXIT]ボタンを押していったんモードを抜けてから、もう一度入り直します。それでも記憶装置が認識されない場合は、動作確認されていない記憶装置である可能性があります。動作確認済みの記憶装置かどうか、サイトで確認してください(133ページ)。

現象	考えられる原因	解決法
USB記憶装置がフリーズする。	動作確認されていないUSB記憶装置です。	動作確認済みのUSB記憶装置をご使用ください(133ページ)。
	USB記憶装置の動作が不安定になっています。	USB記憶装置をいったん外してから接続し直してください。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	クラビノーバの鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。	異常ではありません。
フォルダー名が切り替わらない。	フォルダー名が画面に表示されるのは13文字までです。そのため、13文字までが同じ名称のフォルダーがいくつか存在する場合、C [-][+]ボタンを押してフォルダーを切り替えても表示が変わっていないように見えます。	コンピューターであらかじめ短い名称に変更してください。

データの互換性について

ここでは、CLP-380で録音したデータを、他のMIDI機器で再生できるかどうか、あるいはその逆の、市販のいろいろな種類のミュージックデータや、電子楽器などで録音した曲データ、コンピューターなどで作成した曲データをCLP-380で再生できるか、といった各種演奏データの互換性について考える上での、一般的な基礎知識の一端をご紹介します。実際は、再生できる場合でも、そのまま再生できる場合、再生するためにいくつかの特殊な作業が必要となる場合など、再生するMIDI機器やデータの特性により異なってきますので、事例ごとに、下記を参考にしてお考えください。

基本的な確認事項

下記項目について、演奏データと、再生するMIDI機器が対応しているタイプが一致していないと再生できません。

- シーケンスフォーマット
- 音色配列フォーマット
- ディスクのフォーマット(別売のフロッピーディスクドライブを取り付けてフロッピーディスクを使う場合)

シーケンスフォーマット

演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

再生したい演奏データのシーケンスフォーマットと、再生したいMIDI機器が対応しているシーケンスフォーマットが一致していないと、再生できません。

主なシーケンスフォーマットを紹介します。

■ SMF (スタンダードMIDIファイル)

代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

一般的なSMFには「フォーマット0」と「フォーマット1」があります。

多くのMIDI機器が「SMFフォーマット0」に対応しています。また、市販のミュージックデータの多くが、「SMFフォーマット0」で作られています。

CLP-380は、「SMFフォーマット0と1」に対応しています。

CLP-380で録音した演奏データを保存すると「SMFフォーマット0」になります。

■ ESEQ (イーシーク)

ヤマハの多くの機器やミュージックデータで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

CLP-380は「ESEQ」に対応しています。

音色配列フォーマット

MIDIでは音色を番号で指定します(プログラムチェンジナンバーと言います)。その番号の付け方(音色を並べる順番)の規格を「音色配列フォーマット」と言います。

再生したい演奏データの音色配列フォーマットと、再生したいMIDI機器が対応している音色配列フォーマットが一致していないと、音色が正しく再生されません。

CLP-380は以下のフォーマットに対応しています。

■ GMシステムレベル1

代表的な音色配列フォーマットの1つです。

多くのMIDI機器が「GMシステムレベル1」に対応しています。また、市販のミュージックデータの多くが「GMシステムレベル1」で作られています。

■ GMシステムレベル2

「GMシステムレベル1」をさらに表現力を高める機能にまで拡張したフォーマットです。

■ XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。

CLP-380のXG音色グループ内の音色で録音した演奏データの音色配列は「XG」になります。

■ DOC (Disk Orchestra Collection=ディスクオーケストラコレクション)

クラビノーバをはじめとするヤマハの多くのMIDI機器に対応している音色配列です。

ヤマハ別売ミュージックデータのDOCファイルなどで使われています。

■ GS

GSフォーマットは、ローランド株式会社の音源フォーマットです。

ヤマハのXGフォーマットと同様、GM (General MIDI、MIDIの応用配列で音色配列に関する共通仕様)の仕様に加え、音色セットやドラムセットの拡張、音色の修正、エフェクトなどの拡張機能を規定しています。

これらの条件を満たしていても、機器の仕様や、演奏データの特殊な作り方により、完全な互換性が実現できない場合もあります。

49ページの「再生できる曲データの種類」もご覧ください。次項でCLP-380で再生できる「別売ミュージックデータのご紹介」を掲載しています。

ディスクのフォーマット

フロッピーディスクのデータの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式を、フロッピーディスクに最初に指定する必要があります。このことを「フォーマットする」と言います。(たとえば、白い紙に縦書き線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。)

フロッピーディスクにはMF2DD (両面倍密度タイプ)とMF2HD (両面高密度タイプ)というタイプがあり、それぞれのタイプによってもフォーマット形式が異なってきます。

再生したいディスクのフォーマットと、再生したいMIDI機器が対応しているディスクのフォーマットが一致していないと、再生できません。

別売ミュージックデータのご紹介

ミュージックデータのご使用にあたって

ミュージックデータをご使用の際は、弊社指定のUSB記憶装置をご用意ください。最新の動作確認済みのUSB記憶装置については、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/usb>

Mumaソフト



Muma (ミューマ)とは、ミュージックデータの自動販売システムです。およそ楽器データ7,000タイトル、70,000曲、電子楽譜10,000曲(2007年10月現在)を超えるリストからお好きなミュージックデータを選び、その場でスマートメディア、USBフラッシュメモリーなどに収録できます。

Muma® ・スマートメディア、USBフラッシュメモリーはお客様の所持品となります。

- 楽器でフロッピーディスクをご使用の際は、別売品のフロッピーディスクドライブが必要です。

ミュージックデータは全国のMuma設置店にてご購入いただけます。

Muma設置店はヤマハミュージックメディアホームページにてご確認ください。

<http://www.ymm.co.jp/muma/>

「月刊Piano」掲載楽譜対応データ

「月刊Piano」掲載曲(一部)に対応したデータです。リスニング用として、また練習時の参考としてお聞きいただくのはもちろん、バックバンドに合わせて練習や演奏をお楽しみいただけます。

PSP、DOC、SMF/XGの3種類のデータタイプが用意されていますが、CLP-380でお使いになる場合は、SMF/XGのデータをお求めください。楽譜は、「月刊Piano」掲載の楽曲(一部)が対応しています。

- 2008年2月号より、DOC対応データは発売を中止しています。



「ピアノソフト(PS)」

ピアノ演奏のリスニング&レッスンソフトです。内外の一流ピアニストの演奏や既存の楽譜に対応したミュージックデータが収録されています。クラシック、ジャズ、ポピュラーなどの多彩なジャンル、豊富な曲数の中からお選びいただくことができます。

「ピアノソフトプラス(PSP)」

バック伴奏付き「ピアノソフト(PS)」です。ピアノにバックバンド/バックオーケストラの演奏が付いたアンサンブルデータです。リスニングからレッスン用まで幅広いジャンルからラインアップされています。

「スタンダードMIDIファイル(SMF/XG)」

XG音源の豊富な音色、表現力を使って制作されたミュージックデータです。邦楽ポップスから洋楽ポップス、イージーリスニングなど幅広いジャンルからラインアップされています。

*PS、PSPのデータは小節管理されていません。クラブノードで再生する場合、テンポ表示はされません。(再生速度の調節は可能です。)

上記でご紹介したミュージックデータは2007年10月現在のものです。

上記およびそのほかのミュージックデータについて詳しくは、ソフトカタログをご覧ください。

ヤマハのミュージックデータのほかに、110ページの「データの互換性について」で説明したフォーマットに該当する、市販の多くのソフトがご利用いただけます。

初期設定一覧

機能	初期設定値	ページ
音色選択	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)	23
スプリット機能	Off	27
スプリットポイント	F#2	94
リバーブON/OFF	ON	25
コーラスON/OFF	音色ごと	26
プリリアンス機能	Normal (ノーマル)	25
テンポ	120 (曲選択時は、曲による)	29
ソングバランス	電源を入れたときの設定	37

ファイル/ソングセッティング [FILE/SONG SETTING]

表示		機能	初期設定値	ページ
SongAutoOpen	ソングオートオープン	メディアを挿入したとき曲を自動呼び出しする	On	45
CharacterCode	キャラクターコード	表示文字の種類を切り替える	Japanese	46
SongRepeat	ソングリピート	曲単位で繰り返し再生する	RepeatOff (リピートオフ)	80
PhraseMark	フレーズマーク	フレーズマークを使って再生する		80
Quantize Strength	クオンタイズ ストレンクス	音符のタイミングのずれを修正する クオンタイズをかける強さ	1/16 100%	81
QuickPlay	クイックプレイ	最初の発音からすぐにスタートさせるかどうかを決める	On	81
ChannelListen	チャンネルリッスン	各チャンネルの中身を聞いて確かめる	Ch1	82
ChannelClear	チャンネルクリア	1チャンネル単位でデータを消去する	Ch1	82
RecStart	レックスタート	録音開始方法を指定する	Normal	32
RecEnd	レックエンド	録音終了方法を指定する	Replace	32
RecExtraPartsCh	レックエキストラ パーツチャンネル	パート3~16に録音する	Ch5	34

メトロノーム セッティング METRONOME [SETTING]

表示		機能	初期設定値	ページ
TimeSignature	タイムシグネチャー	メトロノームの拍子設定	4/4 (曲選択時は、曲による)	83
MetronomeVolume	メトロノームボリューム	メトロノームの音量設定	100	83
MetronomeSound	メトロノームサウンド	メトロノームの音色設定	BellOff (ベルオフ)	83

ボイスセッティング [VOICE SETTING]

ボイスセッティングについては、すべての項目の初期設定値が音色によって違います。

アイエーエフシーセッティング
[iAFC SETTING]

表示		機能	初期設定値	ページ
iAFC	iAFCオン/オフ	iAFCオン/オフの設定	On	90
DynDmpFX Depth	ダイナミックダンパーエフェクトデプス	ダイナミックダンパーエフェクトのかかり具合の設定	105	90
SpatialFX Depth	スペーシャルエフェクトデプス	スペーシャルエフェクトのかかり具合の設定	14	90

ファンクション
[FUNCTION]

表示		機能	初期設定値	ページ
Transpose	トランスポーズ	キー (調) を変えるトランスポーズ量	Master (マスター) 0	92
TouchResponse	タッチレスポンス	タッチ感度の選択 Fixedのポリューム	Medium (ミディアム) 64	92
Tune	チューン	音の高さの微調整	A3=440.0Hz	93
PianoTuningCurve	ピアノチューニングカーブ	ピアノ音色の調律曲線の選択	Stretch (ストレッチ)	93
Scale	スケール	音律の選択 基音	Equal (イコール) C	93
SplitPoint	スプリットポイント	スプリットポイントを決める	F#2	94
RPedalFunc	ライトペダルファンクション	右ペダルの機能設定	音色ごと	94
CPedalFunc	センターペダルファンクション	まん中のペダルの機能設定	音色ごと	94
LPedalFunc	レフトペダルファンクション	左ペダルの機能設定	音色ごと	94
AuxPedalFunc	AUXペダルファンクション	外部ペダルの機能設定	音色ごと	95
RPedalOnOff	ライトペダルオンオフ	右ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	95
CPedalOnOff	センターペダルオンオフ	まん中のペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	95
LPedalOnOff	レフトペダルオンオフ	左ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	95
AuxPedalOnOff	AUXペダルオンオフ	外部ペダルの機能オン/オフ設定	音色ごと	95
PedalPlay/Pause	ペダルプレイ/ポーズ	SONG [PLAY/PAUSE]機能のペダルへの割り当て	どのペダルもOff	96
AuxPedalType	AUXペダルタイプ	外部ペダルのタイプ選択	Make (メイク)	96
HalfPedalPoint	ハーフペダルポイント	ダンパーペダルが効き始めるポイントの設定	0	96
SoftPedalDepth	ソフトペダルデプス	ソフトペダルのかかり具合の設定	5	96
StringResonanceDepth	ストリングレゾナンスデプス	弦共鳴音(ストリングレゾナンス)のかかり具合の設定	5	96
SustainSamplingDepth	サステインサンプリングデプス	ダンパーペダル使用時の共鳴効果(サステインサンプリング)のかかり具合の設定	5	96
KeyOffSamplingDepth	キーオフサンプリングデプス	キーオフ音の音量設定	5	97
PitchBendRange	ピッチベンドレンジ	ピッチベンド幅の設定	2	97
Speaker	スピーカー	スピーカーのオン/オフを切り替える設定	Normal (ノーマル) (HeadphoneSW <ヘッドフォンスイッチ>)	97
MidiOutChannel	MIDIアウトチャンネル	MIDI送信チャンネルの設定	Main (メイン): Midi/Usb1 Ch1 Left (レフト): Midi/Usb1 Ch2 Layer (レイヤー): Midi/Usb1 Ch3 LeftLayer (レフトレイヤー): Midi/Usb1 Ch4	97

表示		機能	初期設定値	ページ
MidiInChannel	MIDIインチャンネル	MIDI受信チャンネルの設定	Midi/Usb 1 Ch1~16: Song (ソング) Usb2 Ch1: Keyboard (キーボード) Usb2 Ch2: Main Usb2 Ch3: Left Usb2 Ch4: Layer Usb2 Ch5: LeftLayer 他: Off	98
LocalControl	ローカルコントロール	ローカルコントロールオン/オフの設定	On	98
MidiOutSelect	MIDIアウトセレクト	手弾き音か曲再生音のどちらをMIDI送信するかの設定	Keyboard	98
ReceiveParameter	レシーブパラメーター	MIDI受信するデータの種類の設定	すべてのデータがOn	99
TransmitParameter	トランスミットパラメーター	MIDI送信するデータの種類の設定	すべてのデータがOn	99
MemoryBackup	メモリーバックアップ	電源オフ時に保存する項目の設定	Transpose (トランスポーズ)、 Main/LeftVoice (メイン/レフトボイス)、 MetronomeSetting (メトロノーム セッティング)、 Function (Transpose、SplitPoint、 MidiSettingは除く): Off、他: On	99
FactorySet	ファクトリーセット	初期設定に戻す	MemorySongExcluded (メモリーソングエクスルーデッド)	100

パネル音色のご紹介

音色グループ	音色名	ステレオ サンプリング	タッチ センス	ダイナミック サンプリング	キーオフ サンプリング	ストリング レゾナンス	音色紹介
GRANDPIANO1 (グランドピアノ1)	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)	○	○	○	○	○	フルコンサートグランドピアノから新たにサンプリングしました。5段階のダイナミックサンプリング、ダンパーペダル使用時の音色変化、鍵盤を離れた時の微妙な発音まで、アコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音作りです。また、生ピアノ独特の、弦どうしの共鳴(ストリングレゾナンス)も再現しました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
	Mellow Piano (メローピアノ)	○	○	○	○	○	暖かみのあるメローなピアノの音です。クラシック音楽に最適です。
	Rock Piano (ロックピアノ)	○	○	○	○	○	明るい響きを持ったブライトピアノの音です。ロック系の音楽に最適です。
	HonkyTonk Piano (ホンキートンクピアノ)	○	○	○	○	×	ホンキートンク風のピアノの音です。グランドピアノと異なったキャラクターをお楽しみください。
GRANDPIANO2 (グランドピアノ2)	Grand Piano 2 (グランドピアノ2)	○	○	×	×	×	明るい響きを持った広がりのあるクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
	Bright Piano (ブライトピアノ)	○	○	×	×	×	広がりのある明るいピアノの音です。ポピュラー、ロックなどの音楽に最適です。
E.PIANO1 (エレクトリック ピアノ1)	E.Piano 1 (エレクトリック ピアノ1)	×	○	○	×	×	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。
	Synth Piano (シンセピアノ)	×	○	×	×	×	ポピュラー音楽でよく耳にするシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
E.PIANO2 (エレクトリック ピアノ2)	E.Piano 2 (エレクトリック ピアノ2)	×	○	○	○	×	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
	Vintage E.Piano (ビンテージ エレクトリックピアノ)	×	○	○	×	×	異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。
HARPSICHORD (ハープシコード)	Harpsichord 8' (ハープシコード8')	○	×	×	○	×	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離れたときには独特の発音があります。
	Harpsichord 8'+4' (ハープシコード 8'+4')	○	×	×	○	×	オクターブ上の音がミックスされたハープシコードの音です。より華やかさが感じられます。
E.CLAVICHORD (エレクトリック クラビコード)	E.Clavichord (エレクトリック クラビコード)	×	○	×	○	×	電磁ピックアップの付いた鍵盤式打弦楽器です。ファンキーなサウンドはブラックコンテンポラリー音楽などでおなじみです。その構造から、鍵盤を離れたときには独特の発音があります。
	Wah Clavi. (ワウクラビ)	×	○	×	○	×	個性的なエフェクトをプリセットしています。
VIBRAPHONE (ビブラフォン)	Vibraphone (ビブラフォン)	○	○	○	×	×	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
	Marimba (マリンバ)	○	○	×	×	×	ステレオサンプリングによる広がり感と臨場感あるマリンバの音です。
	Celesta (チェレスタ)	○	○	○	×	×	チェレスタ(鍵盤を弾くと、ハンマーが金属製の音板をたたいて音を出す打楽器)の音です。チャイコフスキーの組曲「くるみ割り人形」の「こんぺいとうの踊り」での印象的なフレーズが有名です。
GUITAR (ギター)	Nylon Guitar (ナイロンギター)	○	○	○	×	×	ステレオサンプリングによる臨場感ある音です。強く弾くとハーモニクス音が出てギターらしさを感じることができます。
	Steel Guitar (スチールギター)	×	○	×	×	×	明るく華やかな感じのするスチールギターの音です。ポピュラー音楽に最適です。

音色グループ	音色名	ステレオ サンプリング	タッチ センス	ダイナミック サンプリング	キーオフ サンプリング	ストリング レゾナンス	音色紹介
CHURCHORGAN (チャーチオルガン)	Pipe Organ Principal (パイプオルガン プリンシパル)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
	Pipe Organ Tutti (パイプオルガン トゥッティ)	○	×	×	×	×	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカブラーの音です。
	Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガン フルート1)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート)です。讃美歌の伴奏などに適した柔らかい音です。
	Pipe Organ Flute 2 (パイプオルガン フルート2)	○	×	×	×	×	パイプオルガンのフルート系(木管楽器系)混合音栓の音(8フィート+4フィート+1(1/3)フィート)です。Pipe Organ Flute 1 (パイプオルガンフルート1)よりやや華やかな音色で、ソロ向きです。
JAZZORGAN (ジャズオルガン)	Jazz Organ (ジャズオルガン)	×	×	×	×	×	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。
	Rotary Organ (ロータリーオルガン)	×	×	×	×	×	明るく華やかな感じのする電気オルガンの音です。
	Mellow Organ (メローオルガン)	×	×	×	×	×	メローな感じの電気オルガンの音です。落ち着いた曲に最適です。
STRINGS (ストリングス)	Strings (ストリングス)	○	○	×	×	×	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
	Synth Strings (シンセストリングス)	×	○	×	×	×	明るく広がりのあるストリングスの音です。アンサンブルのバックの通奏音に適しています。
	Slow Strings (スローストリングス)	○	○	×	×	×	立ち上がりの緩やかな弦楽アンサンブルの音です。GRANDPIANO (グランドピアノ) やE.PIANO (エレクトリックピアノ) とのデュアルに向いています。
CHOIR (クワイア)	Choir (クワイア)	×	○	×	×	×	空間に広がる心とむ合唱の音です。スローな曲で和音の広がりが得られます。
	Slow Choir (スロークワイア)	×	○	×	×	×	立ち上がりの緩やかな合唱の音です。GRANDPIANOやE.PIANOとのデュアルに向いています。
	Scat (スカット)	×	○	○	×	×	ジャズのスカットが楽しめます。弾く強さ、音域でいろいろな音が飛び出します。
SYNTH.PAD (シンセパッド)	Synth Pad 1 (シンセパッド1)	×	○	×	×	×	暖かくメローで広がりのあるシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
	Synth Pad 2 (シンセパッド2)	×	○	×	×	×	空間的広がりのあるクリアなシンセ音です。アンサンブルのバックの通奏音に最適です。
WOOD BASS (ウッドベース)	Wood Bass (ウッドベース)	×	○	○	×	×	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
	Bass & Cymbal (ベース&シンバル)	×	○	○	×	×	シンバルの音を重ねてあります。ジャズのウォーキングベースに用いると効果的です。
E.BASS (エレクトリック ベース)	Electric Bass (エレクトリック ベース)	×	○	×	×	×	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポピュラーなどの音楽によく用いられます。
	Fretless Bass (フレットレスベース)	×	○	×	×	×	フレッドレスベースの音です。ジャズ、フュージョンなどの音楽に向いています。

2つの音色の組み合わせ例 (デュアルとスプリット)

デュアル

MAIN + MAIN (メイン+メイン)	Grand Piano 1 + E.Piano 1 (グランドピアノ1+エレクトリックピアノ1)	ポピュラー音楽でよく使われる組み合わせです。
	Grand Piano 1 + E.Piano 2 (グランドピアノ1+エレクトリックピアノ2)	
	Grand Piano 1 + Synth Piano (グランドピアノ1+シンセピアノ)	ファンタジックな広がりのあるピアノの音です。
	Grand Piano 2 + Grand Piano 2 (グランドピアノ2+グランドピアノ2)	自動的にオクターブ離れた音域で重ねて弾いているようになります。サルサ独特の伴奏などに合います。
	E.Piano 1 + Slow Choir (エレクトリックピアノ1+スロークワイア)	ロマンチックなバラードなどに向いています。
	E.Piano 2 + E.Clavichord (エレクトリックピアノ2+エレクトリッククラビコード)	ファンクやリズム&ブルース、ソウルミュージックに合います。
	Harpsichord 8' + Strings (ハーブシコード8'+ストリングス)	バロック音楽にピッタリの組み合わせです。
	Celesta + Synth Strings (チェレスタ+シンセストリングス)	ストリングスにベルの音が加わったようなイメージです。音が左右に揺れるディレイ効果が自動的にかかります。

スプリット

MAIN/LEFT (メイン/レフト)	Grand Piano 1 (グランドピアノ1)/Wood Bass (ウッドベース)またはBass & Cymbal (ベース&シンバル)	軽快なジャズを弾くのにお勧めです。ダンパーペダルは右鍵域の音色だけに効きます。
	Celesta/Choir (チェレスタ/クワイア)	ほのぼのとしたイメージの、かわいらしい曲によく合います。
	Choir/Grand Piano 1 (クワイア/グランドピアノ1)	ピアノアルペジオにのせてゆったり弾いてみてください。Choir (クワイア)は和音で弾くとより雰囲気が出ます。
	Scat/Wood Bass (スカット/ウッドベース)	おしゃれなジャズコーラスのイメージです。Scat (スカット)はタッチの強弱でいろいろな表情を見せる音色です。
	EPiano 2/Scat (エレクトリックピアノ2/スカット)	スカットでベースのように弾いてもおもしろいです。

デュアル+スプリット

MAIN + MAIN / LEFT (メイン+メイン/レフト)	Grand Piano 1 + Synth Strings/Grand Piano 1 (グランドピアノ1+シンセストリングス/グランドピアノ1)	ピアノにストリングスが重なり厚みのあるサウンドになります。
MAIN + MAIN / LEFT (メイン+メイン/レフト)	Grand Piano 2 + E.Piano 1/Electric Bass (グランドピアノ2+エレクトリックピアノ1/エレクトリックベース)	フュージョン向きのサウンドです。リバーブやコーラスを深めにかける(25ページ)と気分が出ます。ダンパーペダルは右鍵域の音色だけに効きます。
MAIN + MAIN / LEFT + LEFT (メイン+メイン/レフト+レフト)	Harpsichord 8'+4' + Strings/Harpsichord 8' + Strings (ハーブシコード8'+4'+ストリングス/ハーブシコード8'+ストリングス)	とても華やかな演奏になります。

XG音色一覧

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Piano	GrandPiano	0	0	1	2*
	GrndPianoKSP	0	1	1	1
	MellowGrPno	0	18	1	2
	PianoStrings	0	40	1	2
	Dream	0	41	1	2
	BrightPiano	0	0	2	2
	BritePnoKSP	0	1	2	1
	ElecGrandPno	0	0	3	2
	ElecGrPnoKSP	0	1	3	2
	DetunedCP80	0	32	3	2
	LayeredCP1	0	40	3	2
	LayeredCP2	0	41	3	2
	Honkytonk	0	0	4	2
	HonkytonkKSP	0	1	4	2
	El.Piano1	0	0	5	2
	El.Piano1KSP	0	1	5	1
	MellowEP1	0	18	5	2
	ChorusEP1	0	32	5	2
	HardEl.Piano	0	40	5	2
	VXfadeEl.P1	0	45	5	2
	60sEl.Piano1	0	64	5	1
	El.Piano2	0	0	6	2
	El.Piano2KSP	0	1	6	1
	ChorusEP2	0	32	6	2
	DXEPHard	0	33	6	2
	DXLegend	0	34	6	2
	DXPhaseEP	0	40	6	2
	DX+AnalogEP	0	41	6	2
	DXKotoEP	0	42	6	2
	VXfadeEl.P2	0	45	6	2
	Harpsichord	0	0	7	1
	Harpsi.KSP	0	1	7	1
	Harpsichord2	0	25	7	2
	Harpsichord3	0	35	7	2
	Clavi.	0	0	8	1
	Clavi.KSP	0	1	8	1
	Clavi.Wah	0	27	8	2
	PulseClavi.	0	64	8	1
	PierceClavi.	0	65	8	2
	Chromatic Percussion	Celesta	0	0	9
Glockenspiel		0	0	10	1
MusicBox		0	0	11	2
Orgel		0	64	11	2
Vibraphone		0	0	12	1
VibesKSP		0	1	12	1
HardVibes		0	45	12	2
Marimba		0	0	13	1
MarimbaKSP		0	1	13	1
SineMarimba		0	64	13	2
Balimba		0	97	13	2
LogDrums		0	98	13	2
Xylophone		0	0	14	1
TubularBells		0	0	15	1
ChurchBells		0	96	15	2
Carillon		0	97	15	2
Dulcimer		0	0	16	1
Dulcimer2		0	35	16	2
Cimbalom		0	96	16	2
Santur		0	97	16	2
Organ	DrawbarOrgan	0	0	17	1
	DetDrawOrgan	0	32	17	2
	60sDrawOrg1	0	33	17	2
	60sDrawOrg2	0	34	17	2
	70sDrawOrg1	0	35	17	2
	DrawbarOrg2	0	36	17	2

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Organ	60sDrawOrg3	0	37	17	2	
	EvenBarOrg	0	38	17	2	
	16+2'2_3Org	0	40	17	2	
	OrganBass	0	64	17	1	
	70sDrawOrg2	0	65	17	2	
	CheezyOrgan	0	66	17	2	
	DrawbarOrg3	0	67	17	2	
	Perc.Organ	0	0	18	1	
	70sPercOrg1	0	24	18	2	
	DetPercOrgan	0	32	18	2	
	LightOrgan	0	33	18	2	
	Perc.Organ2	0	37	18	2	
	RockOrgan	0	0	19	1	
	RotaryOrgan	0	64	19	2	
	SlowRotary	0	65	19	2	
	FastRotary	0	66	19	2	
	ChurchOrgan	0	0	20	2	
	ChurchOrgan3	0	32	20	2	
	ChurchOrgan2	0	35	20	2	
	NotreDame	0	40	20	2	
	OrganFlute	0	64	20	2	
	Trem.OrganFl	0	65	20	2	
	ReedOrgan	0	0	21	1	
	PuffOrgan	0	40	21	2	
	Accordion	0	0	22	1	
	AccordIt	0	32	22	2	
	Harmonica	0	0	23	1	
	Harmonica2	0	32	23	2	
	TangoAccord	0	0	24	1	
	TangoAccord2	0	64	24	2	
	Guitar	NylonGuitar	0	0	25	1
		NylonGuitar2	0	16	25	1
		NylonGuitar3	0	25	25	2
		VelGtrHarmo	0	43	25	1
		Ukulele	0	96	25	1
		SteelGuitar	0	0	26	1
		SteelGuitar2	0	16	26	1
		12StrGuitar	0	35	26	2
		Nylon&Steel	0	40	26	2
		Steel&Body	0	41	26	2
Mandolin		0	96	26	2	
JazzGuitar		0	0	27	1	
MellowGuitar		0	18	27	1	
JazzAmp		0	32	27	2	
CleanGuitar		0	0	28	1	
ChorusGuitar		0	32	28	2	
MutedGuitar		0	0	29	1	
FunkGuitar1		0	40	29	2	
MuteSteelGtr		0	41	29	2	
FunkGuitar2		0	43	29	1	
JazzMan	0	45	29	2		
Overdriven	0	0	30	1		
GuitarPinch	0	43	30	1		
Distortion	0	0	31	1		
FeedbackGtr	0	40	31	2		
FeedbackGtr2	0	41	31	2		
GtrHarmonics	0	0	32	1		
GtrFeedback	0	65	32	1		
GtrHarmonic2	0	66	32	1		
Bass	AcousticBass	0	0	33	1	
	JazzRhythm	0	40	33	2	
	VXUprghtBass	0	45	33	2	
	FingerBass	0	0	34	1	
	FingerDark	0	18	34	2	
	FlangeBass	0	27	34	2	

*ダンパーペダルを踏んだときのエレメント数は4となります。

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Bass	Bass&DistEG	0	40	34	2
	FingerSlap	0	43	34	1
	FingerBass2	0	45	34	2
	Mod.Bass	0	65	34	2
	PickBass	0	0	35	1
	MutePickBass	0	28	35	1
	FretlessBass	0	0	36	1
	Fretless2	0	32	36	2
	Fretless3	0	33	36	2
	Fretless4	0	34	36	2
	Syn.Fretless	0	96	36	2
	SmthFretless	0	97	36	2
	SlapBass1	0	0	37	1
	ResonantSlap	0	27	37	1
	PunchThumb	0	32	37	2
	SlapBass2	0	0	38	1
	Velo.Sw.Slap	0	43	38	1
	SynthBass1	0	0	39	1
	SynBass1Dark	0	18	39	1
	FastResoBass	0	20	39	1
	AcidBass	0	24	39	1
	ClaviBass	0	35	39	2
	TechnoBass	0	40	39	2
	Orbiter	0	64	39	2
	SquareBass	0	65	39	1
	RubberBass	0	66	39	2
	Hammer	0	96	39	2
	SynthBass2	0	0	40	2
	MellowSyBass	0	6	40	1
	SequenceBass	0	12	40	2
	ClickSynBass	0	18	40	2
	SynBass2Dark	0	19	40	1
	SmoothSyBass	0	32	40	2
ModulrSyBass	0	40	40	2	
DXBass	0	41	40	2	
XWireBass	0	64	40	2	
Strings	Violin	0	0	41	1
	SlwAtkViolin	0	8	41	1
	Viola	0	0	42	1
	Cello	0	0	43	1
	Contrabass	0	0	44	1
	Trem.Strings	0	0	45	1
	SlwAtTremStr	0	8	45	1
	SuspenseStr	0	40	45	2
	PizzicatoStr	0	0	46	1
	Orch.Harp	0	0	47	1
	YangChin	0	40	47	2
	Timpani	0	0	48	1
	Ensemble	Strings1	0	0	49
StereoStrngs		0	3	49	2
SlwAtkStrngs		0	8	49	1
ArcoStrings		0	24	49	2
60'sStrings		0	35	49	2
Orchestra		0	40	49	2
Orchestra2		0	41	49	2
TremOrchestra		0	42	49	2
Velo.Strings		0	45	49	2
Strings2		0	0	50	1
S.SlowStrngs		0	3	50	2
LegatoStrngs		0	8	50	2
WarmStrings		0	40	50	2
Kingdom		0	41	50	2
70'sStrings		0	64	50	1
Strings3		0	65	50	1
SynStrings1		0	0	51	2

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Ensemble	ResoStrings	0	27	51	2	
	SynStrings4	0	64	51	2	
	SynStrings5	0	65	51	2	
	SynStrings2	0	0	52	2	
	ChoirAahs	0	0	53	1	
	StereoChoir	0	3	53	2	
	ChoirAahs2	0	16	53	2	
	MellowChoir	0	32	53	2	
	ChoirStrings	0	40	53	2	
	VoiceOohs	0	0	54	1	
	SynthVoice	0	0	55	1	
	SynthVoice2	0	40	55	2	
	Choral	0	41	55	2	
	AnalogVoice	0	64	55	1	
	OrchestraHit	0	0	56	2	
	OrchestrHit2	0	35	56	2	
	Impact	0	64	56	2	
	Brass	Trumpet	0	0	57	1
		Trumpet2	0	16	57	1
BriteTrumpet		0	17	57	2	
WarmTrumpet		0	32	57	2	
Trombone		0	0	58	1	
Trombone2		0	18	58	2	
Tuba		0	0	59	1	
Tuba2		0	16	59	1	
MutedTrumpet		0	0	60	1	
FrenchHorn		0	0	61	1	
Fr.HornSolo		0	6	61	1	
FrenchHorn2		0	32	61	2	
HornOrchestr		0	37	61	2	
BrassSection		0	0	62	1	
Tp&TbSection		0	35	62	2	
BrassSect2		0	40	62	2	
HighBrass		0	41	62	2	
MellowBrass		0	42	62	2	
SynthBrass1		0	0	63	2	
QuackBrass		0	12	63	2	
ResoSynBrass		0	20	63	2	
PolyBrass		0	24	63	2	
SynthBrass3		0	27	63	2	
JumpBrass		0	32	63	2	
AnaVelBrass1		0	45	63	2	
AnalogBrass1		0	64	63	2	
SynthBrass2	0	0	64	1		
SoftBrass	0	18	64	2		
SynthBrass4	0	40	64	2		
ChoirBrass	0	41	64	2		
AnaVelBrass2	0	45	64	2		
AnalogBrass2	0	64	64	2		
Reed	SopranoSax	0	0	65	1	
	AltoSax	0	0	66	1	
	SaxSection	0	40	66	2	
	HyperAltoSax	0	43	66	1	
	TenorSax	0	0	67	1	
	BreathyTenor	0	40	67	2	
	SoftTenorSax	0	41	67	2	
	TenorSax2	0	64	67	1	
	BaritoneSax	0	0	68	1	
	Oboe	0	0	69	1	
	EnglishHorn	0	0	70	1	
	Bassoon	0	0	71	1	
	Clarinet	0	0	72	1	
Pipe	Piccolo	0	0	73	1	
	Flute	0	0	74	1	
	Recorder	0	0	75	1	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element	
Pipe	PanFlute	0	0	76	1	
	BlownBottle	0	0	77	2	
	Shakuhachi	0	0	78	1	
	Whistle	0	0	79	1	
	Ocarina	0	0	80	1	
Synth. Lead	SquareLead	0	0	81	2	
	SquareLead2	0	6	81	1	
	LMSquare	0	8	81	2	
	Hollow	0	18	81	1	
	Shroud	0	19	81	2	
	Mellow	0	64	81	2	
	SoloSine	0	65	81	2	
	SineLead	0	66	81	1	
	SawtoothLead	0	0	82	2	
	SawtoothLd2	0	6	82	1	
	ThickSaw	0	8	82	2	
	DynamicSaw	0	18	82	1	
	DigitalSaw	0	19	82	2	
	BigLead	0	20	82	2	
	HeavySynth	0	24	82	2	
	WaspySynth	0	25	82	2	
	PulseSaw	0	40	82	2	
	Dr.Lead	0	41	82	2	
	VelocityLead	0	45	82	2	
	Seq.Analog	0	96	82	2	
	CalliopeLead	0	0	83	2	
	PureLead	0	65	83	2	
	ChiffLead	0	0	84	2	
	Rubby	0	64	84	2	
	CharangLead	0	0	85	2	
	DistortedLd	0	64	85	2	
	WireLead	0	65	85	2	
	VoiceLead	0	0	86	2	
	SynthAahs	0	24	86	2	
	VoxLead	0	64	86	2	
	FifthsLead	0	0	87	2	
	BigFive	0	35	87	2	
	Bass&Lead	0	0	88	2	
	Big&Low	0	16	88	2	
	Fat&Perky	0	64	88	2	
	SoftWhirl	0	65	88	2	
	Synth. Pad	NewAgePad	0	0	89	2
		Fantasy	0	64	89	2
		WarmPad	0	0	90	2
		ThickPad	0	16	90	2
SoftPad		0	17	90	2	
SinePad		0	18	90	2	
HornPad		0	64	90	2	
RotaryStrngs		0	65	90	2	
PolySynthPad		0	0	91	2	
PolyPad80		0	64	91	2	
ClickPad		0	65	91	2	
AnalogPad		0	66	91	2	
SquarePad		0	67	91	2	
ChoirPad		0	0	92	2	
Heaven		0	64	92	2	
Itopia		0	66	92	2	
CCPad		0	67	92	2	
BowedPad		0	0	93	2	
Glacier		0	64	93	2	
GlassPad		0	65	93	2	
MetallicPad		0	0	94	2	
TinePad		0	64	94	2	
PanPad		0	65	94	2	
HaloPad		0	0	95	2	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Synth. Pad	SweepPad	0	0	96	2
	Shwimmer	0	20	96	2
	Converge	0	27	96	2
	PolarPad	0	64	96	2
	Celestial	0	66	96	2
	Rain	0	0	97	2
Synth. Effects	ClaviPad	0	45	97	2
	HarmoRain	0	64	97	2
	AfricanWind	0	65	97	2
	Carib	0	66	97	2
	SoundTrack	0	0	98	2
	Prologue	0	27	98	2
	Ancestral	0	64	98	2
	Crystal	0	0	99	2
	SynthDr.Comp	0	12	99	2
	Popcorn	0	14	99	2
	TinyBells	0	18	99	2
	RoundGlocken	0	35	99	2
	GlockenChime	0	40	99	2
	ClearBells	0	41	99	2
	ChorusBells	0	42	99	2
	SynthMallet	0	64	99	1
	SoftCrystal	0	65	99	2
	LoudGlocken	0	66	99	2
	ChristmasBel	0	67	99	2
	VibeBells	0	68	99	2
	DigitalBells	0	69	99	2
	AirBells	0	70	99	2
	BellHarp	0	71	99	2
	Gamelimba	0	72	99	2
	Atmosphere	0	0	100	2
	WarmAtmos.	0	18	100	2
	HollwRelease	0	19	100	2
	NylonElPiano	0	40	100	2
	NylonHarp	0	64	100	2
	HarpVox	0	65	100	2
	Atmos.Pad	0	66	100	2
	Planet	0	67	100	2
	Brightness	0	0	101	2
	FantasyBells	0	64	101	2
	Smokey	0	96	101	2
	Goblins	0	0	102	2
	GoblinsSynth	0	64	102	2
	Creeper	0	65	102	2
	RingPad	0	66	102	2
	Ritual	0	67	102	2
	ToHeaven	0	68	102	2
	Night	0	70	102	2
	Glisten	0	71	102	2
	BellChoir	0	96	102	2
	Echoes	0	0	103	2
	Echoes2	0	8	103	2
EchoPan	0	14	103	2	
EchoBells	0	64	103	2	
BigPan	0	65	103	2	
SynthPiano	0	66	103	2	
Creation	0	67	103	2	
StarDust	0	68	103	2	
Reso&Panning	0	69	103	2	
Sci-Fi	0	0	104	2	
Starz	0	64	104	2	
Ethnic	Sitar	0	0	105	1
	DetunedSitar	0	32	105	2
	Sitar2	0	35	105	2
	Tambra	0	96	105	2

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
Ethnic	Tamboura	0	97	105	2
	Banjo	0	0	106	1
	MutedBanjo	0	28	106	1
	Rabab	0	96	106	2
	Gopichant	0	97	106	2
	Oud	0	98	106	2
	Shamisen	0	0	107	1
	Koto	0	0	108	1
	Taisho-kin	0	96	108	2
	Kanoon	0	97	108	2
	Kalimba	0	0	109	1
	Bagpipe	0	0	110	2
	Fiddle	0	0	111	1
	Shanai	0	0	112	1
	Shanai2	0	64	112	1
	Pungi	0	96	112	1
	Hichiriki	0	97	112	2
	Percussive	TinkleBell	0	0	113
Bonang		0	96	113	2
Altair		0	97	113	2
GamelanGongs		0	98	113	2
StereoGamlan		0	99	113	2
RamaCymbal		0	100	113	2
AsianBells		0	101	113	2
Agogo		0	0	114	2
SteelDrums		0	0	115	1
GlassPerc.		0	97	115	2
ThaiBells		0	98	115	2
Woodblock		0	0	116	1
Castanets		0	96	116	1
TaikoDrum		0	0	117	1
GranCassa		0	96	117	1
MelodicTom		0	0	118	2
MelodicTom2		0	64	118	1
RealTom		0	65	118	2
RockTom		0	66	118	2
SynthDrum		0	0	119	1
AnalogTom		0	64	119	1
ElectroPerc.		0	65	119	2
Rev.Cymbal		0	0	120	1
Sound Effects	GtrFretNoise	0	0	121	1
	BreathNoise	0	0	122	1
	Seashore	0	0	123	2
	BirdTweet	0	0	124	2
	TelephonRing	0	0	125	1
	Helicopter	0	0	126	1
	Applause	0	0	127	1
	Gunshot	0	0	128	1
SFX	CuttingNoise	64	0	1	1
	CuttingNoiz2	64	0	2	2
	StringSlap	64	0	4	1
	Fl.KeyClick	64	0	17	1
	Shower	64	0	33	1
	Thunder	64	0	34	1
	Wind	64	0	35	1
	Stream	64	0	36	2
	Bubble	64	0	37	2
	Feed	64	0	38	2
	Dog	64	0	49	1
	Horse	64	0	50	1
	BirdTweet2	64	0	51	1
	Ghost	64	0	55	2
	Maou	64	0	56	2
	PhoneCall	64	0	65	1
DoorSqueak	64	0	66	1	

音色グループ	音色名	MSB	LSB	PRG	Element
SFX	DoorSlam	64	0	67	1
	ScratchCut	64	0	68	1
	ScratchSplit	64	0	69	2
	WindChime	64	0	70	1
	TelephonRing2	64	0	71	1
	CarEngineIgn	64	0	81	1
	CarTiresSql	64	0	82	1
	CarPassing	64	0	83	1
	CarCrash	64	0	84	1
	Siren	64	0	85	2
	Train	64	0	86	1
	JetPlane	64	0	87	2
	Starship	64	0	88	2
	Burst	64	0	89	2
	RollrCoaster	64	0	90	2
	Submarine	64	0	91	1
	Laugh	64	0	97	1
	Scream	64	0	98	1
	Punch	64	0	99	1
	Heartbeat	64	0	100	1
	FootSteps	64	0	101	1
	MachineGun	64	0	113	1
	LaserGun	64	0	114	2
	Explosion	64	0	115	2
	Firework	64	0	116	2

XGドラムキット一覧

・ Key off時に「O」がついている楽器は、鍵盤を離したときに発音が止まります。

・ Alternate Group欄の番号はグループを表し、同じグループ番号の中で、1つの楽器を発音させると同じグループの中の他の楽器の発音が止まります。

Standard Kit 1と同じ

音は鳴りません

Bank Select MSB (0-127)		127	127	127	127	127	127	127		
Bank Select LSB (0-127)		0	0	0	0	0	0	0		
Program Change (0-127)		0	1	8	16	24	25	27		
Program Change (1-128)		1	2	9	17	25	26	28		
MIDI Note#	Note	Key Off	Alternate Group	Standard Kit1	Standard Kit2	Room Kit	Rock Kit	Electro Kit	Analog Kit	Dance Kit
13	C#-1		3	Surdo Mute						
14	D-1		3	Surdo Open						
15	D#-1			Hi Q						
16	E-1			Whip Slap						
17	F-1		4	Scratch H						
18	F#-1		4	Scratch L						
19	G-1			Finger Snap						
20	G#-1			Click Noise						
21	A-1			Metronome Click						
22	A#-1			Metronome Bell						
23	B-1			Seq Click L						
24	C0			Seq Click H						
25	C#0			Brush Tap						
26	D0	O		Brush Swirl						
27	D#0			Brush Slap						
28	E0	O		Brush Tap Swirl				Reverse Cymbal	Reverse Cymbal	Reverse Cymbal
29	F0	O		Snare Roll						
30	F#0			Castanet				Hi Q 2	Hi Q 2	Hi Q 2
31	G0			Snare Soft	Snare Soft 2		Snare Noisy	Snare Snappy Electro	Snare Noisy 4	Snare Techno
32	G#0			Sticks						
33	A0			Kick Soft				Kick 3	Kick 3	Kick Techno Q
34	A#0			Open Rim Shot	Open Rim Shot H Short					Rim Gate
35	B0			Kick Tight			Kick 2	Kick Gate	Kick Analog Short	Kick Techno L
36	C1			Kick	Kick Short		Kick Gate	Kick Gate Heavy	Kick Analog	Kick Techno
37	C#1			Side Stick	Side Stick Light				Side Stick Analog	Side Stick Analog
38	D1			Snare	Snare Short	Snare Snappy	Snare Rock	Snare Noisy 2	Snare Analog	Snare Clap
39	D#1			Hand Clap						
40	E1			Snare Tight	Snare Tight H	Snare Tight Snappy	Snare Rock Tight	Snare Noisy 3	Snare Analog 2	Snare Dry
41	F1			Floor Tom L		Tom Room 1	Tom Rock 1	Tom Electro 1	Tom Analog 1	Tom Analog 1
42	F#1		1	Hi-Hat Closed					Hi-Hat Closed Analog	Hi-Hat Closed 3
43	G1			Floor Tom H		Tom Room 2	Tom Rock 2	Tom Electro 2	Tom Analog 2	Tom Analog 2
44	G#1		1	Hi-Hat Pedal					Hi-Hat Closed Analog 2	Hi-Hat Closed Analog 3
45	A1			Low Tom		Tom Room 3	Tom Rock 3	Tom Electro 3	Tom Analog 3	Tom Analog 3
46	A#1		1	Hi-Hat Open					Hi-Hat Open Analog	Hi-Hat Open 3
47	B1			Mid Tom L		Tom Room 4	Tom Rock 4	Tom Electro 4	Tom Analog 4	Tom Analog 4
48	C2			Mid Tom H		Tom Room 5	Tom Rock 5	Tom Electro 5	Tom Analog 5	Tom Analog 5
49	C#2			Crash Cymbal 1					Crash Analog	Crash Analog
50	D2			High Tom		Tom Room 6	Tom Rock 6	Tom Electro 6	Tom Analog 6	Tom Analog 6
51	D#2			Ride Cymbal 1						
52	E2			Chinese Cymbal						
53	F2			Ride Cymbal Cup						
54	F#2			Tambourine						
55	G2			Splash Cymbal						
56	G#2			Cowbell					Cowbell Analog	Cowbell Analog
57	A2			Crash Cymbal 2						
58	A#2			Vibraslap						
59	B2			Ride Cymbal 2						
60	C3			Bongo H						
61	C#3			Bongo L						
62	D3			Conga H Mute					Conga Analog H	Conga Analog H
63	D#3			Conga H Open					Conga Analog M	Conga Analog M
64	E3			Conga L					Conga Analog L	Conga Analog L
65	F3			Timbale H						
66	F#3			Timbale L						
67	G3			Agogo H						
68	G#3			Agogo L						
69	A3			Cabasa						
70	A#3			Maracas					Maracas 2	Maracas 2
71	B3	O		Samba Whistle H						
72	C4	O		Samba Whistle L						
73	C#4			Guiro Short						
74	D4	O		Guiro Long						
75	D#4			Claves					Claves 2	Claves 2
76	E4			Wood Block H						
77	F4			Wood Block L						
78	F#4			Cuica Mute				Scratch H 2	Scratch H 2	Scratch H 2
79	G4			Cuica Open				Scratch L 2	Scratch L 2	Scratch L 2
80	G#4		2	Triangle Mute						
81	A4		2	Triangle Open						
82	A#4			Shaker						
83	B4			Jingle Bells						
84	C5			Bell Tree						
85	C#5									
86	D5									
87	D#5									
88	E5									
89	F5									
90	F#5									
91	G5									

Bank Select MSB (0-127)		127	127	127	126	126		
Bank Select LSB (0-127)		0	0	0	0	0		
Program Change (0-127)		32	40	48	0	1		
Program Change (1-128)		33	41	49	1	2		
MIDI Note#	Note	Key Off	Alternate Group	Jazz Kit	Brush Kit	Symphony Kit	SFX Kit1	SFX Kit2
13	C#-1		3					
14	D-1		3					
15	D#-1							
16	E-1							
17	F-1		4					
18	F#-1		4					
19	G-1							
20	G#-1							
21	A-1							
22	A#-1							
23	B-1							
24	C0							
25	C#0							
26	D0	O						
27	D#0							
28	E0	O						
29	F0	O						
30	F#0							
31	G0			Snare Jazz H	Brush Slap 2			
32	G#0							
33	A0					Kick Soft 2		
34	A#0			Open Rim Shot Light				
35	B0					Gran Cassa		
36	C1			Kick Jazz	Kick Jazz	Gran Cassa Mute	Cutting Noise	Phone Call
37	C#1			Side Stick Light	Side Stick Light		Cutting Noise 2	Door Squeak
38	D1			Snare Jazz L	Brush Slap 3	Band Snare		Door Slam
39	D#1						String Slap	Scratch Cut
40	E1			Snare Jazz M	Brush Tap 2	Band Snare 2		Scratch H 3
41	F1				Tom Brush 1			Wind Chime
42	F#1		1					Telephone Ring 2
43	G1				Tom Brush 2			
44	G#1		1					
45	A1				Tom Brush 3			
46	A#1		1					
47	B1				Tom Brush 4			
48	C2				Tom Brush 5			
49	C#2					Hand Cymbal		
50	D2				Tom Brush 6			
51	D#2					Hand Cymbal Short		
52	E2						Flute Key Click	Car Engine Ignition
53	F2							Car Tires Squeal
54	F#2							Car Passing
55	G2							Car Crash
56	G#2							Siren
57	A2					Hand Cymbal 2		Train
58	A#2							Jet Plane
59	B2					Hand Cymbal 2 Short		Starship
60	C3							Burst
61	C#3							Roller Coaster
62	D3							Submarine
63	D#3							
64	E3							
65	F3							
66	F#3							
67	G3							
68	G#3						Shower	Laugh
69	A3						Thunder	Scream
70	A#3						Wind	Punch
71	B3	O					Stream	Heart Beat
72	C4	O					Bubble	Foot Steps
73	C#4						Feed	
74	D4	O						
75	D#4							
76	E4							
77	F4							
78	F#4							
79	G4							
80	G#4		2					
81	A4		2					
82	A#4							
83	B4							
84	C5						Dog	Machine Gun
85	C#5						Horse	Laser Gun
86	D5						Bird Tweet 2	Explosion
87	D#5							Firework
88	E5							
89	F5							
90	F#5						Ghost	
91	G5						Maou	

付録

エフェクトタイプ一覧

Reverb Block

[VOICE SETTING]で設定できる
リバーブタイプ

Effect Name	MSB	LSB
Hall1	1	0
Hall2	1	17
Room	2	17
Stage	3	17
Plate	4	16

すべてのリバーブタイプ

XG Effect Name	MSB	LSB
HALL1	1	0
HALL2	1	1
LARGE HALL	1	2
MEDIUM HALL	1	3
HALL M	1	6
HALL L	1	7
(HALL)	1	16
(HALL)	1	17
(HALL)	1	18
ROOM1	2	0
ROOM2	2	1
ROOM3	2	2
WARM ROOM	2	3
WOODY ROOM	2	4
ROOM S	2	5
ROOM M	2	6
ROOM L	2	7
(ROOM)	2	16
(ROOM)	2	17
(ROOM)	2	18
(ROOM)	2	19
STAGE1	3	0
STAGE2	3	1
(STAGE)	3	16
(STAGE)	3	17
PLATE	4	0
RICH PLATE	4	1
GM PLATE	4	7
(PLATE)	4	16
(PLATE)	4	17
WHITE ROOM	16	0
TUNNEL	17	0
CANYON	18	0
BASEMENT	19	0
NO EFFECT	0	0

Chorus Block

[VOICE SETTING]で設定できる
コーラスタイプ

Effect Name	MSB	LSB
Chorus	65	8
Celeste	66	8
Flanger	67	1

すべてのコーラスタイプ

XG Effect Name	MSB	LSB
CHORUS1	65	0
CHORUS2	65	1
CHORUS3	65	2
GM CHORUS1	65	3
GM CHORUS2	65	4
GM CHORUS3	65	5
GM CHORUS4	65	6
FB CHORUS	65	7
CHORUS4	65	8
CELESTE1	66	0
CELESTE2	66	1
CELESTE3	66	2
CELESTE4	66	8
(CELESTE)	66	16
(CELESTE)	66	17
(CELESTE)	66	18
FLANGER1	67	0
FLANGER2	67	1
GM FLANGER	67	7
FLANGER3	67	8
(FLANGER)	67	16
(FLANGER)	67	17
SYMPHONIC	68	0
(SYMPHONIC)	68	16
PHASER1	72	0
(PHASER)	72	16
(PHASER)	72	17
(PHASER)	72	18
ENS DETUNE	87	0
NO EFFECT	0	0

DSP Block

[VOICE SETTING]で設定できる
DSPタイプ

Effect Name	MSB	LSB
DelayLCR	5	16
DelayLR	6	0
Echo	7	0
CrossDelay	8	0
Symphonic	68	16
Rotary	66	18
Tremolo	70	18
VibeRotor	119	0
AutoPan	71	21
Phaser	72	17
AutoWah	78	16
SoundBoard	3	0

すべてのエフェクトタイプ

XG Effect Name	MSB	LSB
HALL1	1	0
HALL2	1	1
HALL M	1	6
HALL L	1	7
(HALL)	1	16
(HALL)	1	17
(HALL)	1	18
ROOM1	2	0
ROOM2	2	1
ROOM3	2	2
ROOM S	2	5
ROOM M	2	6
ROOM L	2	7
(ROOM)	2	16
(ROOM)	2	17
(ROOM)	2	18
(ROOM)	2	19
STAGE1	3	0
STAGE2	3	1
(STAGE)	3	16
(STAGE)	3	17
PLATE	4	0
GM PLATE	4	7
(PLATE)	4	16
(PLATE)	4	17
DELAY LCR	5	0
(DELAY LCR)	5	16
DELAY LR	6	0
ECHO	7	0
CROSS DELAY	8	0
ER1	9	0
ER2	9	1
GATE REVERB	10	0
REVERS GATE	11	0
WHITE ROOM	16	0
TUNNEL	17	0
CANYON	18	0
BASEMENT	19	0
KARAOKE1	20	0
KARAOKE2	20	1
KARAOKE3	20	2
TEMPO DELAY	21	0
TEMPO ECHO	21	8

XG Effect Name	MSB	LSB
TEMPO CROSS	22	0
CHORUS1	65	0
CHORUS2	65	1
CHORUS3	65	2
GM CHORUS1	65	3
GM CHORUS2	65	4
GM CHORUS3	65	5
GM CHORUS4	65	6
FB CHORUS	65	7
CHORUS4	65	8
CELESTE1	66	0
CELESTE2	66	1
CELESTE3	66	2
CELESTE4	66	8
(CELESTE)	66	16
(CELESTE)	66	17
(CELESTE)	66	18
FLANGER1	67	0
FLANGER2	67	1
GM FLANGER	67	7
FLANGER3	67	8
(FLANGER)	67	16
(FLANGER)	67	17
SYMPHONIC	68	0
(SYMPHONIC)	68	16
ROTARY SP	69	0
DST+ROT SP	69	1
OD+ROT SP	69	2
AMP+ROT SP	69	3
(ROTARY SP)	69	16
TREMOLO	70	0
(TREMOLO)	70	16
(TREMOLO)	70	17
(TREMOLO)	70	18
(TREMOLO)	70	19
AUTO PAN1	71	0
AUTO PAN2	71	1
(AUTO PAN)	71	16
(AUTO PAN)	71	17
(AUTO PAN)	71	18
(AUTO PAN)	71	19
(AUTO PAN)	71	20
(AUTO PAN)	71	21
(AUTO PAN)	71	22
PHASER1	72	0
PHASER2	72	8
(PHASER)	72	16
(PHASER)	72	17
(PHASER)	72	18
DISTORTION	73	0
COMP+DIST	73	1
STEREO DIST	73	8
(COMP+DIST)	73	16
OVERDRIVE	74	0
STEREO OD	74	8
AMP SIM1	75	0
AMP SIM2	75	1
STEREO AMP	75	8
(AMP SIM)	75	16
(AMP SIM)	75	17

XG Effect Name	MSB	LSB
(AMP SIM)	75	18
(AMP SIM)	75	19
(AMP SIM)	75	20
(AMP SIM)	75	21
(AMP SIM)	75	22
(AMP SIM)	75	23
(AMP SIM)	75	24
(AMP SIM)	75	25
(AMP SIM)	75	26
3BAND EQ	76	0
(3BAND EQ)	76	16
(3BAND EQ)	76	17
(3BAND EQ)	76	18
2BAND EQ	77	0
AUTO WAH	78	0
AT WAH+DST	78	1
AT WAH+OD	78	2
(AUTO WAH)	78	16
(AT WAH+DST)	78	17
(AT WAH+OD)	78	18
PITCH CHG	80	0
PITCH CHG2	80	1
(PITCH CHG)	80	16
HM ENHANCE	81	0
(HM ENHANCE)	81	16
TOUCH WAH	82	0
TC WAH+DST	82	1
TC WAH+OD	82	2
TOUCH WAH2	82	8
(TC WAH+DST)	82	16
(TC WAH+OD)	82	17
(TOUCH WAH2)	82	18
(TOUCH WAH)	82	19
COMPRESSOR	83	0
NOISE GATE	84	0
VCE CANCEL	85	0
2WAY ROT SP	86	0
DST+2ROT SP	86	1
OD+2ROT SP	86	2
AMP+2ROT SP	86	3
ENS DETUNE	87	0
AMBIENCE	88	0
TALKING MOD	93	0
LO-FI	94	0
DST+DELAY	95	0
OD+DELAY	95	1
(DST+DELAY)	95	16
(OD+DELAY)	95	17
CMP+DST+DLY	96	0
CMP+OD+DLY	96	1
(CMP+DST+DLY)	96	16
(CMP+OD+DLY)	96	17
WH+DST+DLY	97	0
WH+OD+DLY	97	1
(WH+DST+DLY)	97	16
(WH+OD+DLY)	97	17
V_DIST HARD	98	0
V_DIST H+DLY	98	1
V_DIST SOFT	98	2
V_DIST S+DLY	98	3

XG Effect Name	MSB	LSB
DUAL ROT SP1	99	0
DUAL ROT SP2	99	1
DST+TDLY	100	0
OD+TDLY	100	1
CMP+DST+TDL	101	0
CMP+OD+TDLY	101	1
(CMP+OD+TDLY)	101	16
(CMP+OD+TDLY)	101	17
(CMP+OD+TDLY)	101	18
(CMP+OD+TDLY)	101	19
(CMP+OD+TDLY)	101	20
WH+DST+TDLY	102	0
WH+OD+TDLY	102	1
(WH+OD+TDLY)	102	16
V_DIST H+TDLY	103	0
V_DIST S+TDLY	103	1
V_FLANGER	104	0
MBAND COMP	105	0
T_FLANGER	107	0
T_PHASER	108	0
DYN FILTER	109	0
DYN FLANGER	110	0
DYN PHASER	111	0
DYN RINGMOD	112	0
RING MOD	113	0
ISOLATOR	115	0
VIBE VIBRATE	119	0
NO EFFECT	0	0
THRU	64	0

仕様

製品名		CLP-380	
サイズ/質量	寸法	幅	1406mm
		高さ ()内は譜面立てを立てた場合	943mm (1037mm)
		奥行き	512mm
	質量	95kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	ナチュラルウッド(NW) 鍵盤象牙調仕上げ(白鍵に木材を使用)
		タッチ感度	Yes
	ペダル	ペダル数	3
		ハーフペダル	Yes
		ペダル機能	ダンパー (ハーフペダル対応)、ソステヌート、ソフト
	ディスプレイ	タイプ	LCD
		サイズ	24-Character x 2-line
		バックライト	Yes
		コントラスト	Yes
		言語	英語・カナ
パネル	言語	英語	
本体	鍵盤蓋	スライド式キーカバー	
	譜面立て	Yes	
	譜面止め	Yes	
音源/音色	音源	音源方式	5レベルAWMダイナミックステレオサンプリング
		ダイナミックステレオサンプリング	5
		サステインサンプリング	Yes
		キーオフサンプリング	Yes
		ストリングレゾナンス	Yes
	発音数	最大同時発音数	128
	プリセット	音色数	38、XG音色: 480+12ドラムキット
	音源フォーマット	XG	Yes
		GS	Yes
		GM	Yes
GM2		Yes	
効果	タイプ	リバーブ	5
		コーラス	3
		プリリアンス	7
		DSP	12
		iAFC	Yes
	ファンクション	デュアル	Yes
		スプリット	Yes
	録音再生	録音	録音曲数(最大)
録音トラック数			16
データ容量			フラッシュメモリー (内蔵): 1.47MB
互換性		再生フォーマット	SMF (Format 0 & 1)、ESEQ
		録音フォーマット	SMF (Format 0)

製品名		CLP-380	
ファンクション	内蔵曲数	デモ	ピアノ曲50
	全体設定	メトロノーム	Yes
		テンポ	Yes
		トランスポーズ	Yes
		チューニング	Yes
		スケール	7タイプ
メモリー / 接続端子	メモリー	フロッピーディスクドライブ	別売
		内蔵メモリー	Yes (1.47MB)
		外付けドライブ (USB記憶装置)	別売
	接続端子	ヘッドフォン	ヘッドフォン端子×2
		MIDI	[IN][OUT][THRU]
		AUX IN	[L/L+R][R]
		AUX OUT	[L/L+R][R]
		[AUX PEDAL]	Yes
		USB [TO DEVICE]	Yes
		USB [TO HOST]	Yes
[LAN]	Yes		
アンプ / スピーカー	アンプ出力	35W×2 + 20W×2 + 20W×2 + 12W×2	
	スピーカー	16cm×2、2.5cm (DOME)×2、8cm×4	
	トライ・アンプシステム	Yes	
電源	定格電源	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	75W	
サービス	インターネットダイレクトコネクション	Yes	
同梱ソフト	CD-ROM	アクセサリ CD-ROM	
付属品	同梱品	保証書、取扱説明書(本書)、インストールガイド(別冊)、ピアノで弾く名曲50選(楽譜集)、ヘッドフォン、電源コード、高低自在イス、ユーザー登録のご案内	

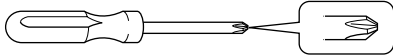
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

組み立て方

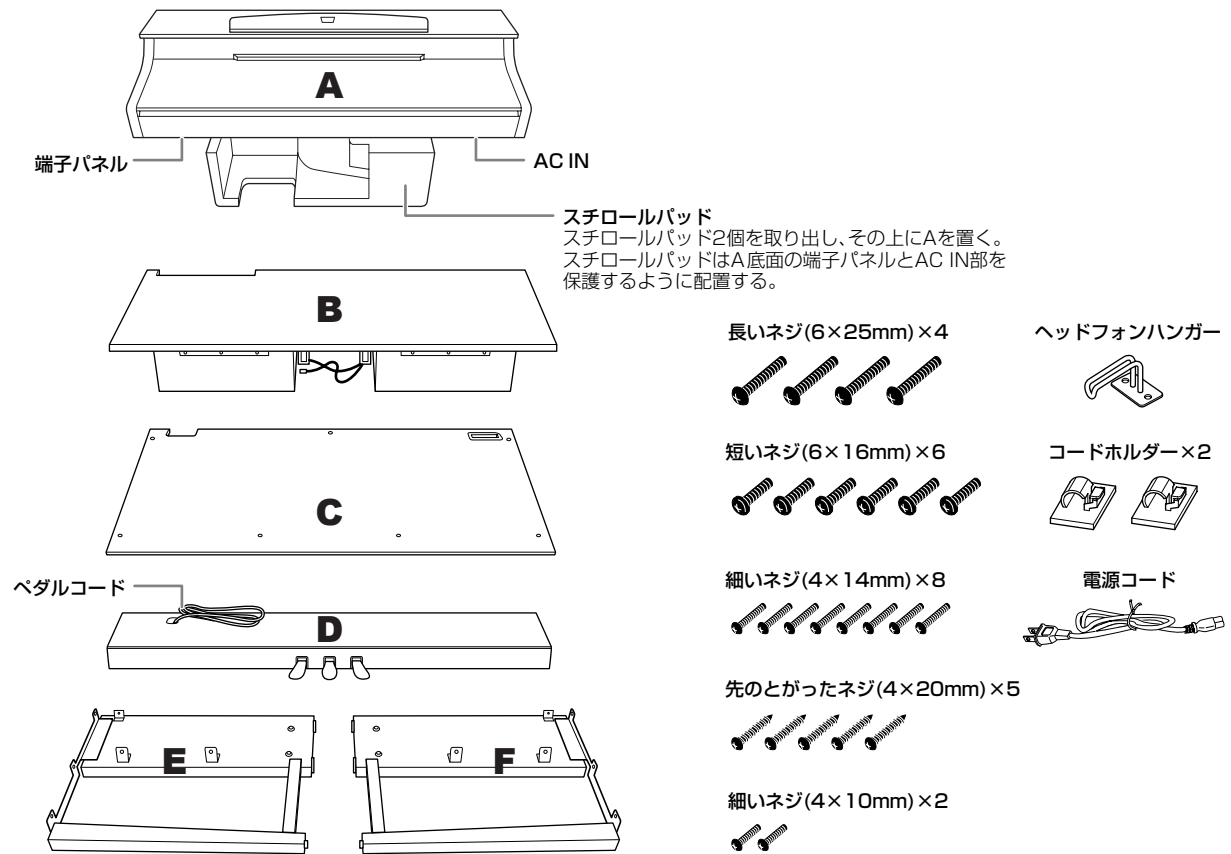
注意

- ❗ 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- ❗ 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ⊘ ネジは付属の指定サイズ以外のは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ❗ 組み立ては、平らな場所で行なってください。
- ❗ ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- ❗ 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

ネジのサイズに合ったプラス(+)⁺のドライバーを用意してください。

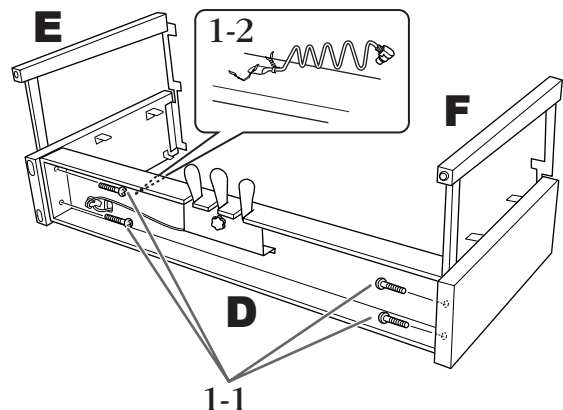


すべての部品を取り出し、部品がそろっているか確かめてください。



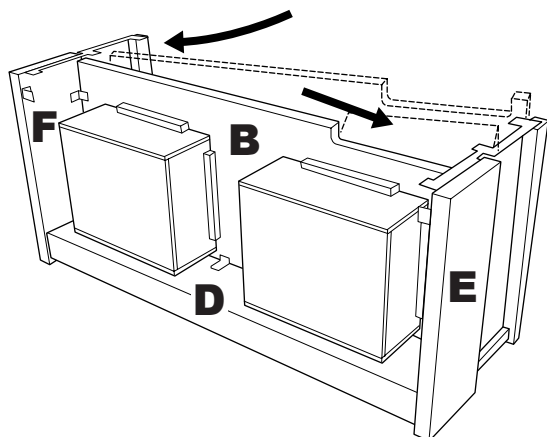
1. EとFをDに固定する。

- 1-1 長いネジ(6×25mm) 4本で固定する。
- 1-2 ペダルコードを束ねているビニールひもをほどく。穴のところ留めてあるものはほどかない。外したビニールひもは、手順6で使用する。



2. Bを固定する。

2-1 Bを図のようにEとFのあいだに入れる。



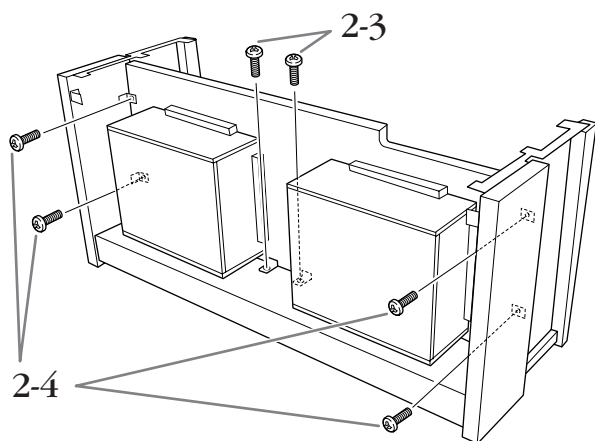
2-2 BをD/E/Fの前側に合わせてはめ込む。

2-3 細いネジ(4×14mm) 2本で固定する。

*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(2か所とも)。

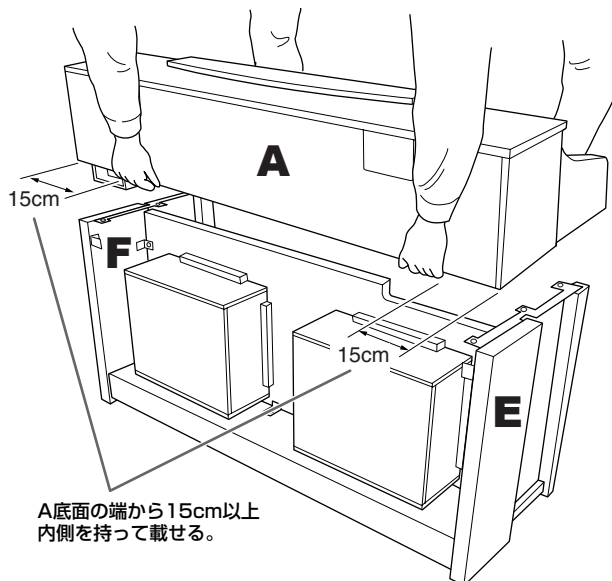
2-4 細いネジ(4×14mm) 4本で仮留めする。

*金具の小さい方の穴にネジを差し込む(4か所とも)。



3. Aを載せる。

A底面のネジ穴とE、Fのネジ穴の位置を合わせて、Aを載せる。



A底面の端から15cm以上内側を持って載せる。

❗ 指をはさんだり、本体を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

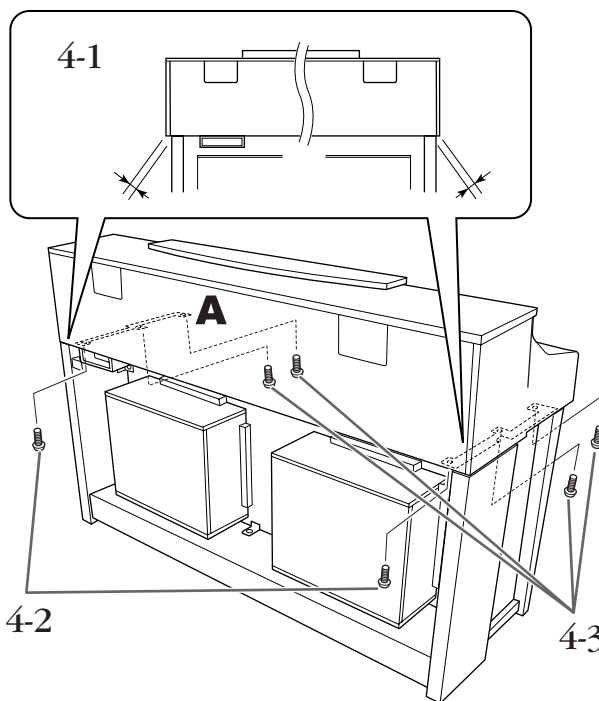
⊘ 指定した位置以外を持たないでください。

4. Aを固定する。

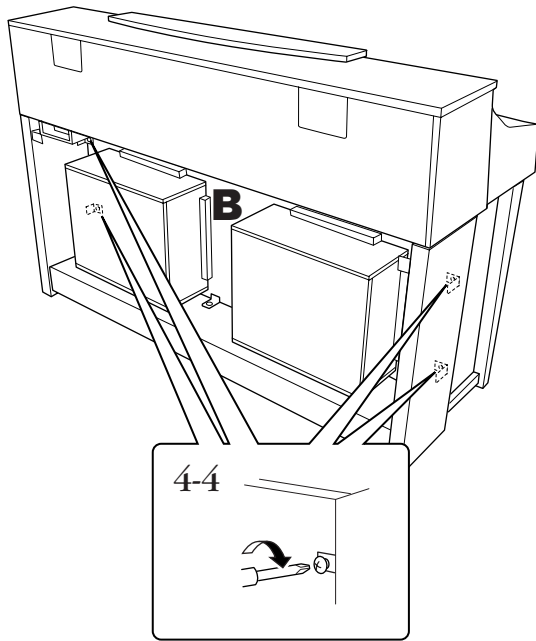
4-1 背面から見て、Aの張り出し部分が左右均等になるように調整する。

4-2 背面から、短いネジ(6×16mm) 2本で固定する。

4-3 前面から、短いネジ(6×16mm) 4本で固定する。

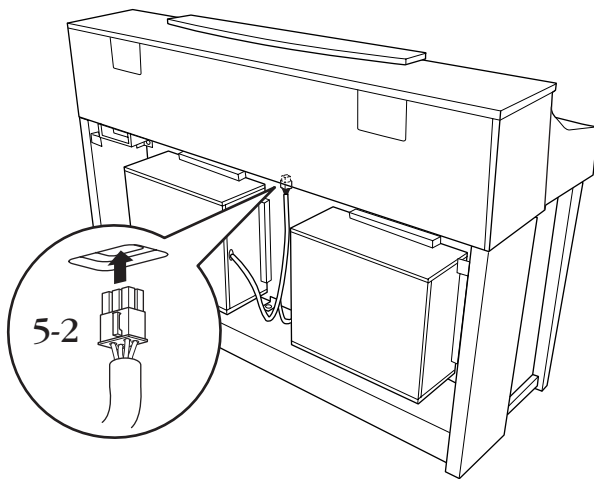


- 4-4 Bを仮留めしたネジ(手順 2-4)を上側→下側の順にきつく締め直す。



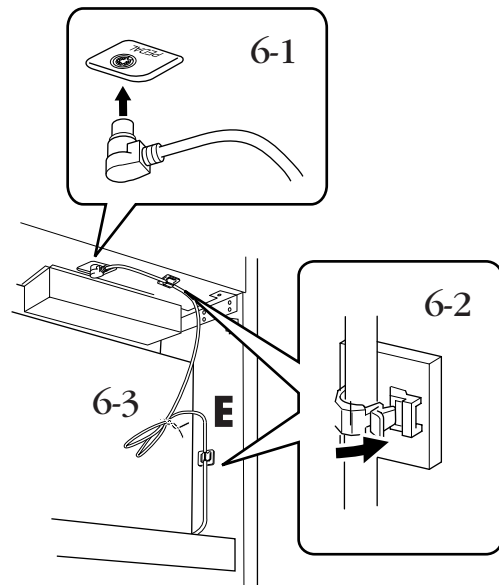
5. スピーカーコードを接続する。

- 5-1 スピーカーコードをほどく。
- 5-2 スピーカーコードのプラグを、つめが背面から見て手前にくる向きで、端子に差し込む。



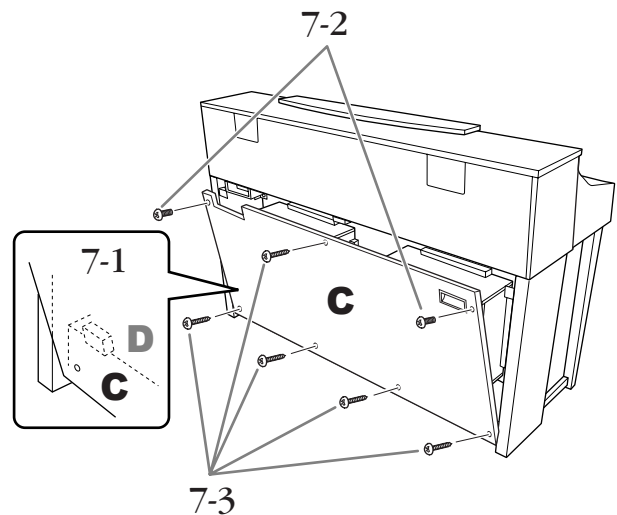
6. ペダルコードを接続する。

- 6-1 ペダルコードのプラグを[PEDAL]端子に差し込む。
- 6-2 コードホルダーを貼り付け、ペダルコードを固定する。このとき、プラグとコードホルダーの間でペダルコードがたるまないように注意する。
- 6-3 ペダルコードを、ビニールひもで束ねる。



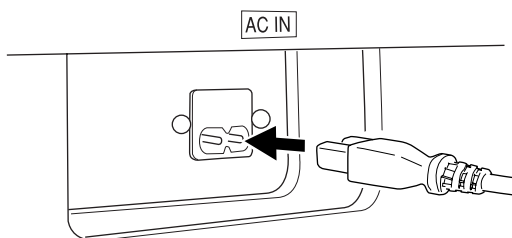
7. Cを固定する。

- 7-1 Cの下側にある留め木をDにのせてから、上側をはめる。
- 7-2 上側の左右を、細いネジ(4×14mm) 2本で固定する。
- 7-3 上側の中央と下側を、先のとがったネジ(4×20mm) 5本で固定する。



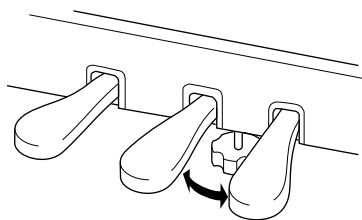
8. 電源コードを接続する。

電源コードのプラグを差し込む。



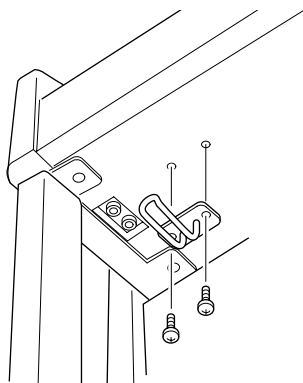
9. アジャスターを回す。

アジャスターを回して、床にぴったりつける。



10. ヘッドフォンハンガーを固定する。

付属のネジ(4×10mm) 2本で、図のように取り付けてください。

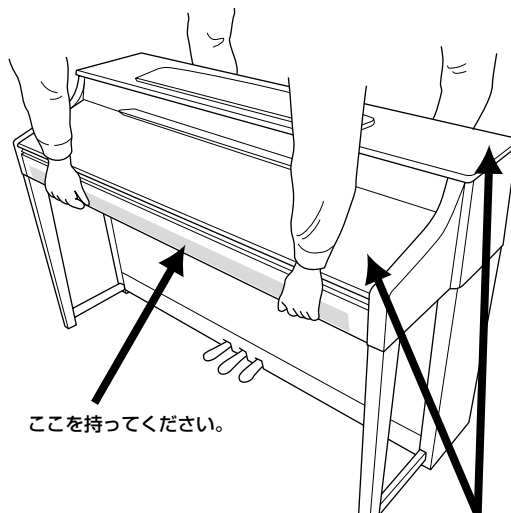


組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- 部品が余っていませんか？
→組み立て手順を再確認してください。
- 部屋のドアなどがクラビノーバにあたりませんか？
→クラビノーバを移動してください。
- クラビノーバがぐらぐらしませんか？
→ネジを確実に締めてください。
- ペダルを踏むと、ペダルボックスがガタガタしませんか？
→アジャスターを回して床にぴったりつけてください。
- スピーカーコード、ペダルコード、および電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？
→確認してください。
- 使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらぐらするなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

❗ 組み立て後、本体を移動するときは、必ず本体の底面と裏板の取っ手を持ってください。

⊘ キーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様がけがをしったりする原因になります。



ここを持ってください。

⊘ ここを持たないでください。

クラビノーバを設置したときや移動したあとは、iAFC機能の効果を最適にするために、以下のことを行なってください。

- クラビノーバの背面を壁から10cm以上離してください。
- iAFCの自動調整を行なってください。

USB [TO DEVICE]端子で使用上の注意

この楽器にはUSB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブなど)
- USBハブ
- USB無線LANアダプター

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上
の下記URLでご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/usb>

NOTE

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、
接続しても使えません。

■ USB機器の接続

- USB [TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して
差し込んでください。

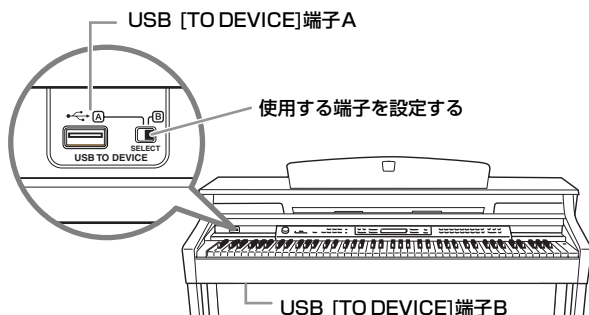
! トップパネルのUSB [TO DEVICE]端子にUSB機器を接続し
ている場合は、キーカバーを閉める前に外してください。
USB機器を接続したままキーカバーを閉じると、USB機器が
キーカバーに当たって破損するおそれがあります。

- 1つのUSB [TO DEVICE]端子に2台以上のUSB機器を同時に接続し
たい場合は、USBハブを使います。電源付き(セルフパワー)の
USBハブを、電源を入れてご使用ください。USBハブは1台のみ使
用可能です。USBハブの使用中にエラーメッセージが出た場合は、
この楽器からUSBハブを抜き、この楽器の電源を入れ直した上で、
再度USBハブを接続してください。
- この楽器はUSB 1.1に対応していますが、USB 2.0の機器でも使用
できます。ただし転送スピードはUSB 1.1相当になりますので、ご了
承ください。

USB記憶装置の取り扱いについて

この楽器にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本
体で再生したりできます。

この楽器には、USB [TO DEVICE]端子が2箇所(パネルの左と前板
の端子パネル)あります。



どちらも同じ端子ですが、2つの端子は同時に使用できません。
パネル左にある[SELECT]スイッチで、使用する端子を選んでくだ
さい。

[SELECT]スイッチを「A」に合わせると、パネル左のUSB [TO
DEVICE]端子が有効になります。「B」に合わせると、端子パネル
のUSB [TO DEVICE]端子が有効になります。

- !** [SELECT]スイッチの切り替えは、USB記憶装置を抜いて行
なってください。
- ⊘** 保存/コピー/削除/フォーマットなど、データのアクセス中に
[SELECT]スイッチを切り替えないでください。メディアが壊れ
たり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあり
ます。

■ 接続できるUSB記憶装置の数

同時に使用できるUSB記憶装置は、2台までです。(USBハブを使用
した場合でも、同時に使用できる記憶装置は2台までです。)また、
1台のUSB記憶装置について4ドライブまで認識ができます。

USB記憶装置をUSB [TO DEVICE]端子AとB両方に接続した状態だ
と、USB記憶装置の動作が不安定になることがあります。

■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要
なものがあります。USB [TO DEVICE]端子にUSB記憶装置を接
続したとき(またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメデ
ィアを挿入したとき)、フォーマットを促すメッセージが表示された
場合は、フォーマットを実行してください(45ページ)。

! フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されま
す。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマ
ットしてください。特に複数のUSB記憶装置を接続している
ときは、ご注意ください。

■ 誤消去防止

USB記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようライトプ
ロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場
合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆
にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSB記憶装
置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存/コピー/削除/フォーマットなど
データのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してく
ださい。

⊘ USB記憶装置の頻繁な電源のオン/オフや抜き差しをしないで
ください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。保存
/コピー/削除/フォーマットなどデータのアクセス中やUSB
記憶装置のマウント中は、USBケーブルを抜いたり、USB記
憶装置からメディア取り出したり(USBフラッシュメモリーを
抜いたり)、双方の電源を切ったりしないでください。メデ
ィアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするお
それがあります。

フロッピーディスクの取り扱いについて

別売のフロッピーディスクドライブを接続してフロッピーディスクを使用すると、本体で作ったデータをディスクに保存したり、ディスク内のデータを本体に読み込んだりできます。

フロッピーディスクをご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

■ 使用できるフロッピーディスクの種類

- ・ 3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクが使用できます。

■ フロッピーディスクのフォーマット

- ・ 新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使えない場合があります。この機器のドライブに入れてもディスクが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は45ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとディスク内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

NOTE

この機器でフォーマットしたフロッピーディスクは、そのままでは他の機器で使えない場合があります。

■ フロッピーディスクの挿入/取り出し

● フロッピーディスクの挿入

- ・ フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまで正しい向きに差し込みます。

● フロッピーディスクの取り出し

- ・ あらかじめフロッピーディスクにアクセス中*でないことを確認した上で(ディスク挿入口左下のユーズランプが消えたことを確認した上で)、ディスク挿入口の右上にあるイジェクトボタンをしっかりと奥まで押します。フロッピーディスクが押し出されるので、取り出して(引き抜いて)ください。フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとせず、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

*アクセス中: 録音や再生、データ削除などの作業中を指します。また、電源が入っている状態でフロッピーディスクを挿入したときも、楽器本体がディスクの内容を確認するために自動的にアクセス中になります。



アクセス中にフロッピーディスクを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、フロッピーディスクドライブの故障の原因になります。

- ・ 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

■ 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ・ ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ・ ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1カ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

NOTE

磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

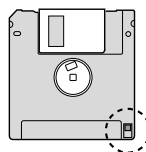
■ フロッピーディスクについてのご注意

● フロッピーディスクの取り扱いと保管

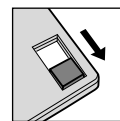
- ・ (持ち運び場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ・ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ・ 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ・ シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ・ フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

● 誤消去防止

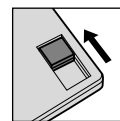
- ・ フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、データを保存する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏側



書き込み不可
(演奏を録音できません。)



書き込み可
(演奏を録音できます。)

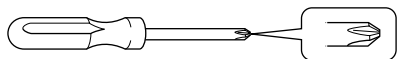
NOTE

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

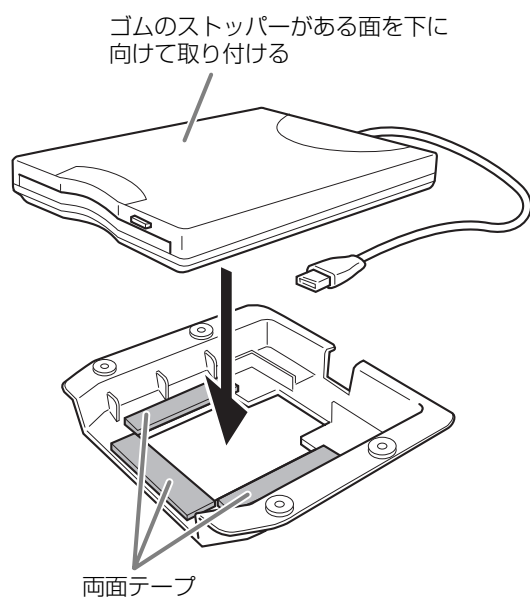
フロッピーディスクドライブ(別売)の 取り付け方

別売のフロッピーディスクドライブ UD-FD01は、付属のフロッピーディスクドライブケースとネジで楽器本体底面に
取り付けることができます。

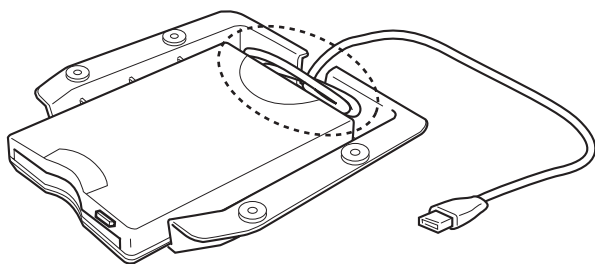
ネジのサイズに合ったプラス(+)
のドライバーを用意
してください。



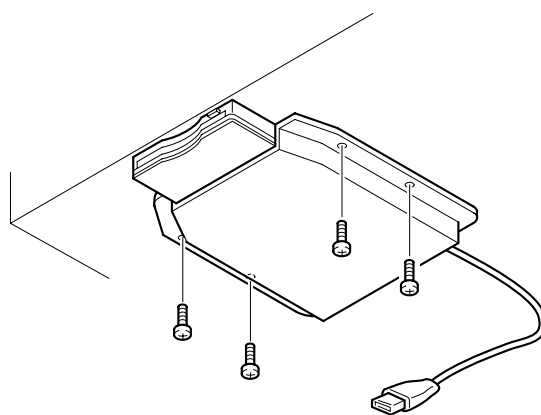
1. ケースの3か所の両面テープから、はくり紙をはがし、フロッピーディスクドライブをケースに取り付けます。



2. USBケーブルを、ケースに収まるように折りたたみます。



3. 付属のネジ(4×10 mm)4本で、本体底面の左側にフロッピーディスクドライブケースを固定します。



4. USBケーブルをUSB [TO DEVICE]端子に接続します。

別売品のご紹介

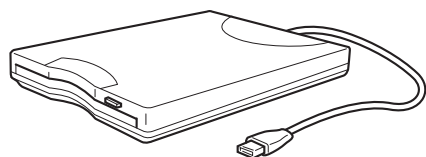
ヘッドフォン

ヤマハヘッドフォンHPE-160



フロッピーディスクドライブ

USB-FDDユニットUD-FD01



用語集

以下の用語は、本文ページの欄外に用語として説明しているものです。

以下に掲載されていない用語については、66ページの利用集(インターネットダイレクト接続機能)、目次、または索引から検索し、該当する本文の説明をご覧ください。

用語		説明	ページ
B	BAR (バー)	小節	19
C	CONTRAST (コントラスト)	明るさ、明暗	15
	Completed (コンプリーテッド)	完了	40
D	Detune (デチューン)	チューニングをずらす	85
E	Execute? (エグゼキュート)	実行しますか?	40
L	Layer (レイヤー)	重ね	84
M	MASTER VOLUME (マスターボリューム)	全体の音量	16
P	Pan (パン)	左右に動かす	85
	POWER (パワー)	電源	15
Q	Quantize (クオンタイズ)	音符のタイミングを補正する機能	81
R	Rotor (ローター)	電動機などの回転子	87
S	Scale (スケール)	音階	93
	SONG (ソング)	クラビノーバでは演奏データを総称して「ソング(SONG)」と呼びます。デモ曲やピアノ曲もソングです。	19
	StringResonance (ストリングレゾナンス)	弦共鳴音	96
	Sure? (シュア)	いいですか?	40
T	TimeSignature (タイムシグネチャー)	拍子記号	83
	Transpose (トランスポーズ)	移調する	92
V	VOICE (ボイス)	声、音	23
イ	イコライザー	音を2つの周波数帯域に分け、それぞれのバンドごとにゲイン値(増幅量)を上げ下げして好みの音質を作る機能です。	88
	移調	曲全体の音の高さを上げたり下げたりしてキー(調)を変えることです。	92
オ	音色配列フォーマット	音色を指定する番号の付け方の種類	49
カ	カレント	現在の	38
キ	基本画面	電源を入れた直後の画面のことで、音色を選択する画面のことで。	20
	キャラクターコード	文字の種類	38
シ	シンクロ	同時の、同時に起こる	21
	初期設定	初めて電源を入れたときの設定(工場出荷時の設定)のことで。	25
	シーケンスフォーマット	演奏データの記録方式の種類	49
	弱起の曲	小節の途中から始まる曲	81
ス	スプリット	分ける	27
セ	セーブ	保存する	38
テ	デュアル	2つの	26
	デリート	削除する	38

用語		説明	ページ
ト	ドライバー	コンピューターとそこに接続された機器との、データをやりとりするための仕組みを整えるソフトウェアのことです。コンピューターと楽器をUSBケーブルで接続する場合は、コンピューターにUSB-MIDIドライバーをインストールします。	73
フ	ファイル	あるデータのまとまりを1つの単位として保存したものです。曲データを曲番号単位で曲ファイルと言います。	38
	フォルダー	ファイルを種類別に分けて入れておく入れ物です。	47
	フォーマット(初期化)	USB記憶装置は、コンピューターなどのいろいろな機器で、いろいろなデータの収納場所として使われます。その際、データの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式に指定する必要があります。このことを「フォーマットする」と言います。(たとえば、白い紙に縦書きの線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。)	49
	プリセット	あらかじめセットされた	38
メ	メモリー	クラビノーバ内部の、データを保存したり作業をしたりする場所のことです。	38
モ	モード	ある機能を実行できる状態を意味します。	17
リ	リネーム	名前を付け替えます。	38
ル	ルート	階層構造のいちばん上の部分を表します。フォルダーに入っていない領域のことです。	43
□	「録音」と「記録」	カセットテープに録音するのとクラビノーバの録音機能を使って録音(記録)するのでは、録音されるデータの形式が異なります。カセットテープでは音そのものが「録音」されますが、クラビノーバの録音機能では音そのものではなく、「どの音をどのタイミングで弾き、音色はこれで、テンポはいくつで」という情報が「記録」されます。再生の際は記録された情報どおりに「音源」部が鳴ります。クラビノーバの録音機能を使った「録音」は、本来「記録」というべきですが、広義に捉えて、本書では一般的に理解しやすい「録音」という言葉を使います。ただし、特に区別してご理解いただきたい場合は、「記録」という場合もあります。	30

索引

A

A [-][+]ボタン	12
ABリピート	22
[AC IN]端子	15
AUX IN [L/L+R] [R]端子	71
AUX OUT [L/L+R] [R]端子	71
[AUX PEDAL]端子	70

B

B [- (NO)][+ (YES)]ボタン	12
BRILLIANCE [MELLOW][BRIGHT] (ブリリアンス メロー ブライト)ボタン	25

C

C [-][+]ボタン	12
CharacterCode (キャラクターコード)	46
[CHORUS] (コーラス)ボタン	26
[CONTRAST] (コントラスト)つまみ	15
Copy (コピー)	43

D

D [-][+]ボタン	12
Delete (デリート)	42
[DEMO] (デモ)ボタン	17
DOC (Disk Orchestra Collection)	110

E

ESEQ (イーシーク)	110
[EXIT] (エグジット)ボタン	13
[EXTRA PARTS] (エキストラパーツ)ボタン	30, 34

F

FactorySet (ファクトリーセット)	100
[FILE/SONG SETTING] (ファイル/ソングセッティング)ボタン	38, 75, 80
Format (フォーマット)	45
[FUNCTION] (ファンクション)ボタン	77, 92

G

GMシステムレベル1	110
GMシステムレベル2	110
GS	110

I

[iAFC SETTING] (iAFCセッティング)ボタン	76, 90
iAFCデモ	18
iAFCに関する詳細設定	90

L

[LAN]端子	71
Left (レフト)	84
[LEFT] (レフト)ボタン	21, 30, 34
Left×Layer (レフト×レイヤー)	84

M

Main (メイン)	84
Main×Layer (メイン×レイヤー)	84
MakeDir (メイクディレクトリ)	44
[MASTER VOLUME] (マスターボリューム)ダイヤル	16
METRONOME [SETTING] (メトロノームセッティング)ボタン	75, 83
METRONOME [ON/OFF] (メトロノームON/OFF)ボタン	29
MIDI [IN][OUT][THRU]端子	70
MIDIについて	70
MIDIの設定	97
Move (ムーブ)	44

P

[PHONES]端子	16
[PLAY/PAUSE] (プレイ/ポーズ)ボタン	19, 48
[POWER] (パワー)スイッチ	15

R

[REC] (レコード)ボタン	31
Rename (リネーム)	42
[REPEAT] (リピート)ボタン	22
[REVERB] (リバーブ)ボタン	25
[RIGHT] (ライト)ボタン	21, 30, 34

S

Save (セーブ)	41
SMF (スタンダードMIDIファイル)	110
[SONG BALANCE] (ソングバランス)スライダー	37
[SONG SELECT] (ソングセレクト)ボタン	19, 47
[SPLIT] (スプリット)ボタン	27
[STOP] (ストップ)ボタン	20, 48

T

TEMPO [DOWN][UP] (テンポ ダウン アップ)ボタン	29
-----------------------------------	----

U

USB [TO DEVICE]端子 (A/B)	70
USB [TO HOST]端子	70
USB記憶装置	72
USB記憶装置の取り扱い	133
USBソング	38

V

VOICE (ボイス)	23
[VOICE SETTING] (ボイスセッティング)ボタン	76, 84

X

XG	110
XGエフェクトタイプ一覧	125
XG音色一覧	119
XGドラムキット一覧	123

イ

移動	44
インターネットダイレクト接続機能	50

エ

エフェクト	25
-------	----

オ

音色	23
音色グループボタン	23
音色に関する詳細設定	84
音色の組み合わせ例(デュアルとスプリット)	118
音色の紹介	116
音色配列フォーマット	110
音律	93
音量	16

カ

片手練習	21
カット&ペースト	44
画面	12
画面の明るさ	15
カレントソング	38
カレントメモリー	38

キ

キーカバー	14
基本的な操作	12
キャリブレーション	91
曲データの種類	49
曲の録音/再生に関する詳細設定	80
曲名の変更	42

ク

組み立て方	129
繰り返し再生	22

コ

工場出荷時の状態	100
コピー	43
困ったときは	108

サ

再生	47
削除	42

シ

シーケンスフォーマット	110
仕様	127
詳細設定の操作	78
初期設定	25, 100
初期設定一覧	113
シンクロスタート	21

ス

スケール	93
スピーカーのOn/Off切り替え	97
スプリット	27
スプリットポイント	28

セ

接続(USB記憶装置)	72
接続(コンピューター)	73
設定項目一覧	75

ソ

ソステヌートペダル	24
その他の詳細設定	92
ソフトペダル	24

タ

タッチ	89, 92
ダンパーペダル	24

チ

チューニング	93
調律について	7

テ

ディスクオーケストラコレクション	110
データの互換性	110
デモ曲	17
デュアル	26
電源	15
テンポの調節	20

ト

ドライバーとは	73
トランスポーズ	92

ハ

バックアップ	99, 100
早送り	20

ヒ

ピアノ50曲	19
ピアノデモ	18
左手パート	21
左のペダル(ソフトペダル)	24
お引越しの際は	7
拍子	83
表示文字の種類を切り替える	46

フ

ファイル操作	38
ファクトリーセット	100
フォーマット	45
フォルダーを作る	44
付属品	7
譜面立て	14
譜面止め	14
プリセットソング	19
プリセットソングメモリー	38
フレーズマーク	80
フロッピーディスクドライブ(別売)の取り付け方	135
フロッピーディスクの取り扱い	134

ヘ

ペダル	24
ペダルの機能設定	94, 95, 96
ヘッドフォン	16
ヘッドフォンハンガー	16

ホ

保存	41
保存用メモリー	38

マ

巻き戻し	20
まん中のペダル(ソステヌートペダル)	24

ミ

右手パート	21
右のペダル(ダンパーペダル)	24
ミュージックデータ(別売)	112

メ

メッセージ一覧	101
メトロノームに関する詳細設定	83
メモリー	38
メモリーソング	38

モ

文字の種類を切り替える	46
-------------	----

ヨ

用語集	137
-----	-----

リ

リセット	12
リネーム	42
リピート	22

レ

連続再生	80
------	----

ロ

録音	30
録音(多重録音)	34
録音(上書き録音)	35
録音(記録)されるデータの種類	106
録音し直す	32
録音(デュアルやスプリットを使った録音)	37
録音パート	30
録音容量	106

メモ

メモ

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から本体は1年間、ヘッドフォンは6カ月です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00
土曜日 9:00～17:30
(祝祭日および弊社休業日を除く)

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK
ナビダイヤル ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合
TEL 053-460-4830)

FAX (053) 463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(浜松サービスステーションは 8:45～17:30)
(祝祭日および弊社休業日を除く)

*お電話は、ヤマハ電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション

〒064-8543

札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内

FAX (011) 512-6109

首都圏サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX (03) 5762-2125

浜松サービスステーション

〒435-0016

浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内

FAX (053) 462-9244

名古屋サービスセンター

〒454-0058

名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F

FAX (052) 652-0043

大阪サービスセンター

〒564-0052

吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F

FAX (06) 6330-5535

九州サービスステーション

〒812-8508

福岡市博多区博多駅前2丁目11-4

FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

国内営業本部 ピアノ企画部 企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-6795

PA・DMI事業部 EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TEL 053-460-3275

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

受付日: 月曜日～土曜日 (祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間: 10:00～18:00 (土曜日は10:00～17:00)

フリー
ダイヤル  **0120-834-808**

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合TEL 053-460-5272)

サポート: <http://www.yamaha.co.jp/support/>

電子ピアノ/キーボードのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート

ミュージックイー klub

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。